

---

平成28年度（2016年度）

## 吹田市市政モニタリング調査報告書

---

平成29年（2017年）3月

吹 田 市

# 目 次

調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査対象	1
4. 調査時期	1
5. 調査方法	1
6. 回収結果	1
調査結果	
標本構成	3
1. 居住地域（問2）	3
2. 性別（問49）	4
3. 年齢層（問48）	5
4. 職業（問50）	6
5. 通勤・通学地（問51）	7
6. 年間収入（問54）	9
(1) 回答者自身の年間収入	9
(2) 回答者の世帯の年間収入	10
7. 住宅の種類（問55）	11
8. 世帯構成（問52～問53）	12
地域との関わりについて	15
1. 居住年数（問4）	15
2. 直前の居住地（問5）	17
3. 永住意識（問6）	19
4. ふるさと意識（問7）	21
第1章 地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について	23
1. 地球温暖化の認知度と重要性（問8）	23
2. 生物多様性の認知度と重要性（問9）	26
3. 太陽光パネルの設置予定（問10）	29
4. エネファームの導入予定（問11）	30
5. 電力の契約先の変更予定（問12）	31
6. 電力会社の選択基準（問13）	32
7. 冷蔵庫の購入時期（問14）	34
8. テレビの購入時期（問15）	35
9. 行っている省エネ行動（問16）	36
10. エコドライブの認知度と実践有無（問17）	38

<b>第2章</b>	<b>大型複雑ごみの電話申込み制による収集及び雑がみの分別について</b> .....	<b>41</b>
1.	粗大ごみの電話申込み制の賛否（問18） .....	41
2.	資源ごみとしての分別の有無（問19） .....	43
<b>第3章</b>	<b>窓口等での手続きの効率化について</b> .....	<b>45</b>
1.	インターネットでできるとよい手続き（問20） .....	45
2.	マイナンバーカードでできるとよい手続き（問21） .....	47
3.	プッシュ型で提供してほしい情報（問22） .....	49
<b>第4章</b>	<b>ITの利用状況について</b> .....	<b>51</b>
1.	インターネットのサービスで今後さらなる充実を望むこと（問23） .....	51
<b>第5章</b>	<b>市の情報化を優先すべき分野について</b> .....	<b>53</b>
1.	市役所業務で優先して進めるべき分野（問24） .....	53
<b>第6章</b>	<b>文化・芸術活動について</b> .....	<b>55</b>
1.	関心のある芸術・文化の分野（問25） .....	55
2.	芸術・文化の満足度（問26） .....	56
3.	芸術・文化への関心を満たすうえで最も問題となること（問27） .....	57
4.	「吹田の文化」としてイメージするもの（問28） .....	59
5.	文化会館に最も望む役割・機能（問29） .....	61
6.	吹田市内の文化施設の満足度（問30） .....	62
7.	文化振興・文化活動のための文化会館の必要性（問31） .....	63
<b>第7章</b>	<b>図書館利用について</b> .....	<b>65</b>
1.	吹田市の図書館の利用状況（問32） .....	65
2.	一度も図書館を利用したことがない理由（問32-1） .....	67
3.	現在、図書館を利用していない理由（問32-2） .....	69
4.	図書館への要望（問33） .....	71
<b>第8章</b>	<b>市民自治について</b> .....	<b>73</b>
1.	「協働」という言葉の認知度（問34） .....	73
2.	吹田市自治基本条例の認知度（問35） .....	74
3.	市民から審議会委員の応募が少ない理由（問36） .....	75
4.	自治会の加入有無（問37） .....	76
5.	自治会活動への満足度（自治会加入者）（問37-1） .....	77
6.	自治会未加入の理由（問37-3） .....	78
7.	自治会の必要性（問38） .....	80
8.	自治会の必要性を感じる理由（問38-1） .....	82
9.	市民自治についての満足度・重要度（問39） .....	86

<b>第9章</b>	<b>住宅用火災警報器設置状況について</b>	<b>89</b>
1.	住宅用火災警報器の設置義務の認知度（問40）	89
2.	住宅用火災警報器設置義務の情報源について（問41）	91
3.	住宅用火災警報器の設置状況（問42）	93
4.	住宅用火災警報器の設置場所（問42-1）	95
5.	住宅用火災警報器の購入先（問42-2）	97
6.	住宅用火災警報器を設置していない理由（問42-3）	99
7.	火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（問43）	101
8.	住宅用火災警報器の定期点検の認知度（問44）	103
9.	最近半年以内の住宅用火災警報器の作動確認の有無（問45）	104
10.	住宅用火災警報器の作動確認の結果（問45-1）	105
<b>第10章</b>	<b>ひきこもりについて</b>	<b>107</b>
1.	家庭内のひきこもりの有無（問46）	107
2.	ひきこもっている人の年齢（問46-1）	108
3.	ひきこもっている人の性別（問46-2）	108
4.	ひきこもり期間（問46-3）	108
5.	ひきこもりになったきっかけ（問46-4）	109
6.	ひきこもり状態について相談する意思の有無（問46-5）	109
7.	相談機関への希望（問46-6）	110
8.	相談したくない理由（問46-7）	110
9.	知っている相談機関（問47）	111
<b>資料</b>	<b>調査に対する意見・感想</b>	<b>113</b>
<b>資料</b>	<b>調査票</b>	<b>115</b>



# 調査概要

## 1. 調査目的

市民参画のまちづくりのため、市民の意見をうかがうことにより、その声を市政に反映することを目的とする。

## 2. 調査項目

居住地域、居住地域の小学校区、居住年数、以前の居住地、永住意思、ふるさと意識、地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について、大型複雑ごみの電話申込み制による収集、及び雑がみの分別について、窓口等での手続きの効率化について、ITの利用状況について、市の情報化を優先すべき分野について、文化・芸術活動について、図書館利用について、市民自治について、住宅用火災警報器設置状況について、ひきこもりについて、属性（年齢、性別、職業、通勤・通学地、配偶者の有無、同居家族、家族数、年収、住宅の種類）、調査への感想

## 3. 調査対象

- (1) 調査地域：吹田市全域
- (2) 母集団：2016年7月1日現在18歳以上85歳未満の吹田市在住者294,592名  
(内訳：日本人290,203名、外国人4,389名)
- (3) 計画標本：2,000名
- (4) 抽出方法：層化系統無作為抽出法

## 4. 調査時期

2016年8月5日（金）～9月5日（月）

## 5. 調査方法

郵送調査法（お礼状兼督促状を1回送付）

## 6. 回収結果

- |             |              |
|-------------|--------------|
| (1) 回収票数    | 1,207        |
| (2) 無効票数    | 10           |
| (3) 有効票数（率） | 1,197（59.9%） |
| (4) 調査不能票数  | 793          |



# 調 査 結 果



## 標本構成



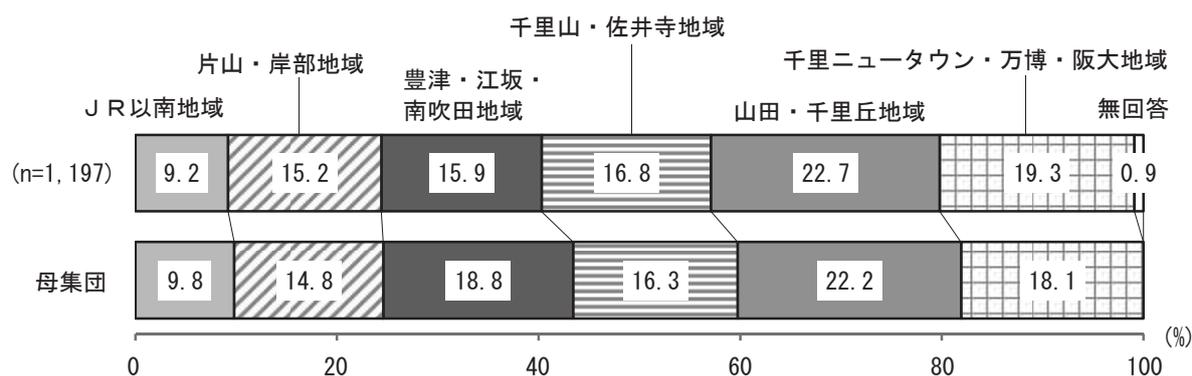
## 標本構成

ここでは、回答者の基本属性について集計し、回収標本の特徴を示す。また、母集団（2016年7月1日現在）と比較可能な項目についても示しておく。なお、無回答の算入や除外、四捨五入の処理などによって、百分率の合計が100%にならない場合もある。

### 1. 居住地域（問2）

本調査の回答者の居住地域は、「JR以南地域」9.2%、「片山・岸部地域」15.2%、「豊津・江坂・南吹田地域」15.9%、「千里山・佐井寺地域」16.8%、「山田・千里丘地域」22.7%、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」19.3%となっており、母集団と比較すると、「豊津・江坂・南吹田地域」は母集団より2.9ポイント低いほかは、大きな違いはみられない。

図表1 居住地域（単純回答）

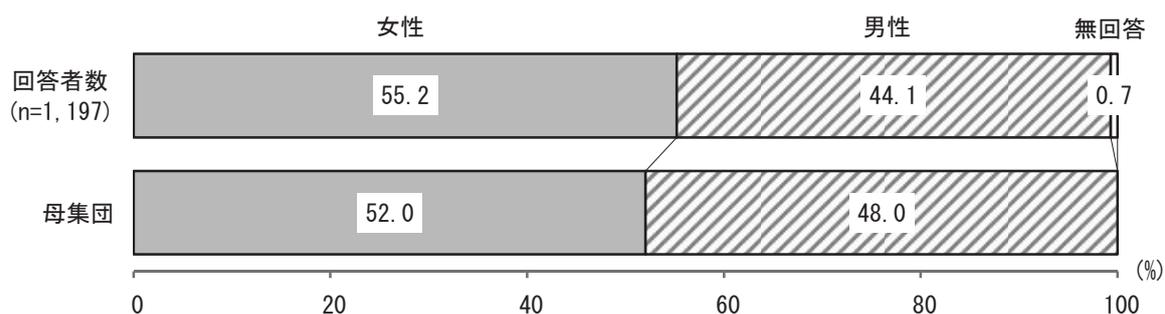


## 2. 性別（問49）

本調査の回答者の性別は、「女性」55.2%、「男性」44.1%であり、「女性」が「男性」を11.1ポイント上回っている。

母集団を性別にみると、「女性」52.0%、「男性」48.0%であり、「女性」が「男性」を4.0ポイント上回っている。

図表2 回答者の性別（単純回答）



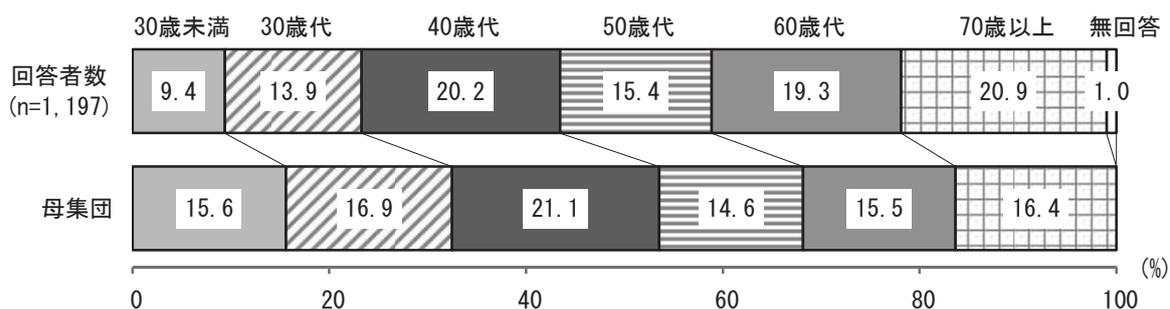
図表3 回答者の性別（居住地域別）

	標本				母集団		
	件数	女性	男性	無回答	人口	女性	男性
全体	1,197	55.2	44.1	0.7	294,592	153,292	141,300
JR以南	110	53.6	45.5	0.9	28,896	14,980	13,916
片山・岸部	182	56.6	42.9	0.5	43,548	22,320	21,228
豊津・江坂・南吹田	190	52.6	46.8	0.5	55,517	27,598	27,919
千里山・佐井寺	201	55.2	44.3	0.5	48,066	25,120	22,946
山田・千里丘	272	54.4	44.9	0.7	65,292	34,120	31,172
千里NT・万博・阪大	231	58.0	41.6	0.4	53,273	29,154	24,119

### 3. 年齢層（問48）

本調査の回答者の年齢層は、「70歳以上」が最も多く、20.9%である。次いで、「40歳代」の20.2%、「60歳代」の19.3%の順となっている。母集団と比較すると、「30歳未満」は6.2ポイント少なく、「60歳代」は3.8ポイント、「70歳以上」は4.5%多くなっているが、これら以外は3%までの相違となっている。

図表4 回答者の年齢層（単純回答）



図表3 回答者の性別（居住地域別）

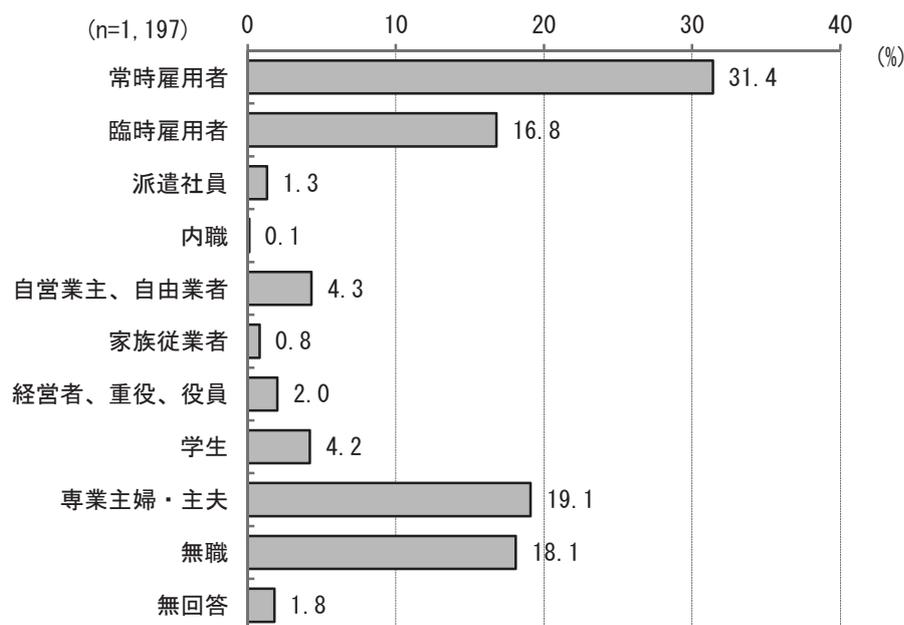
		件数	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		1,197	9.4	13.9	20.2	15.4	19.3	20.9	1.0
性別	女性	661	8.9	14.2	20.3	15.4	19.7	21.0	0.5
	男性	528	10.0	13.6	20.5	15.5	19.1	21.0	0.2
居住地域別	J R以南	110	7.3	11.8	14.5	16.4	20.0	29.1	0.9
	片山・岸部	182	9.3	13.7	17.6	15.9	19.8	22.5	1.1
	豊津・江坂・南吹田	190	12.6	15.3	23.7	14.2	17.4	16.3	0.5
	千里山・佐井寺	201	11.4	13.9	21.4	15.9	20.4	15.4	1.5
	山田・千里丘	272	8.8	15.1	21.3	15.1	20.2	18.8	0.7
	千里NT・万博・阪大	231	6.5	12.6	20.3	15.2	17.7	26.8	0.9

## 4. 職業（問50）

回答者の職業は、「常時雇用者」が最多であり、31.4%を占めている。次いで、「専業主婦・主夫」（19.1%）、「無職」（18.1%）、「臨時雇用者」（16.8%）が続いている。

これらの他は、「自営業主、自由業者」が4.3%、「学生」が4.2%であり、「派遣社員」「内職」「家族従業者」「経営者、重役、役員」は、いずれも3%未満となっている。

図表6 回答者の職業（単純回答）



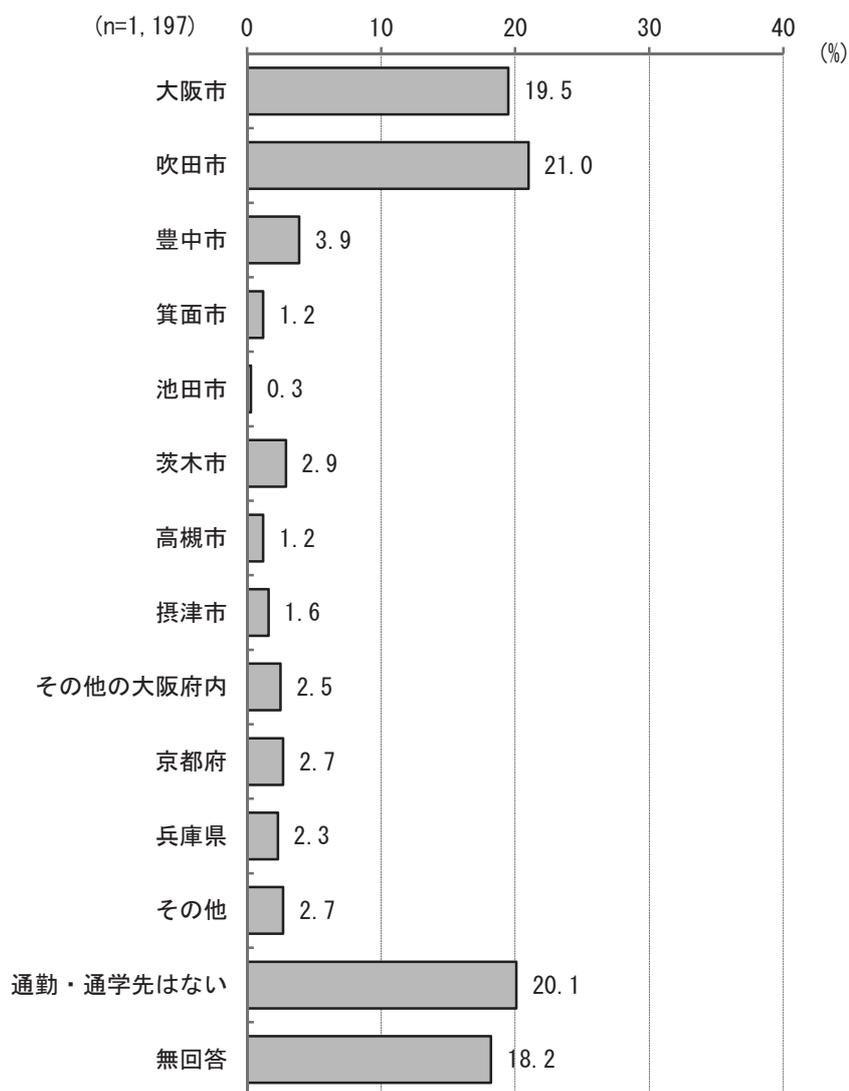
図表7 回答者の職業（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	常時雇用者	臨時雇用者	派遣社員	内職	自営業主、自由業者	家族従業者	経営者、重役、役員	学生	専業主婦・主夫	無職	無回答
全体		1,197	31.4	16.8	1.3	0.1	4.3	0.8	2.0	4.2	19.1	18.1	1.8
性別	女性	661	17.7	23.9	1.7	-	2.3	1.2	0.8	4.7	34.0	12.9	0.9
	男性	528	49.1	8.1	0.9	0.2	7.0	0.2	3.6	3.6	0.8	25.0	1.5
年齢別	30歳未満	112	42.9	7.1	-	-	-	-	-	42.0	3.6	4.5	-
	30歳代	166	53.0	15.7	3.0	0.6	3.0	1.8	0.6	0.6	18.7	3.0	-
	40歳代	242	52.5	22.3	2.5	-	4.5	0.8	0.8	-	12.8	3.3	0.4
	50歳代	184	44.0	23.9	1.6	-	5.4	-	4.9	0.5	13.0	6.0	0.5
	60歳代	231	11.3	23.4	0.4	-	7.4	0.9	2.6	0.4	26.0	26.4	1.3
	70歳以上	250	1.6	6.0	0.4	-	3.6	0.8	2.4	-	31.2	50.4	3.6
居住地域別	J R以南地域	110	22.7	18.2	4.5	-	4.5	0.9	2.7	1.8	17.3	23.6	3.6
	片山・岸部地域	182	33.5	17.0	0.5	-	3.8	1.6	2.2	3.8	17.6	17.6	2.2
	豊津・江坂・南吹田地域	190	38.4	18.9	1.1	-	3.7	1.1	2.6	4.2	14.7	14.2	1.1
	千里山・佐井寺地域	201	30.3	15.9	1.0	-	6.5	0.5	2.5	6.0	19.4	17.4	0.5
	山田・千里丘地域	272	33.1	17.3	1.1	0.4	3.7	-	1.1	3.7	21.3	17.3	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	231	27.3	14.7	1.3	-	4.3	0.9	1.7	4.8	20.8	21.2	3.0

## 5. 通勤・通学地（問51）

回答者の通勤・通学地は、無回答を除くと「吹田市」（21.0%）が最も多く、次いで「通勤・通学先はない」が20.1%、「大阪市」が19.5%となっている。「大阪市」「吹田市」以外の地域は、いずれも4%未満である。

図表8 回答者の通勤・通学地（単純回答）



通勤・通学地を職業別にみると、「常時雇用者」は「大阪市」が44.1%であり、「臨時雇用者」は「吹田市」が55.7%を占めている。

図表9 回答者の通勤・通学地（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

		件数	大阪市	吹田市	通勤・通学先はない	無回答
全体		1,197	19.5	21.0	20.1	18.2
性別	女性	661	12.6	24.8	25.7	21.5
	男性	528	28.4	16.5	13.3	12.9
年齢別	30歳未満	112	25.0	25.9	5.4	-
	30歳代	166	29.5	22.3	17.5	4.2
	40歳代	242	34.3	25.2	11.6	4.5
	50歳代	184	20.7	28.3	12.0	7.1
	60歳代	231	11.3	21.6	32.9	20.3
	70歳以上	250	3.2	8.8	31.2	52.4
居住地域別	J R以南地域	110	16.4	22.7	20.0	22.7
	片山・岸部地域	182	19.8	25.3	17.6	19.2
	豊津・江坂・南吹田地域	190	28.9	24.7	17.4	11.6
	千里山・佐井寺地域	201	20.9	25.9	20.9	15.9
	山田・千里丘地域	272	13.6	17.3	24.6	15.1
	千里NT・万博・阪大地域	231	18.6	14.7	18.2	25.1
職業別	常時雇用者	376	44.1	17.8	0.3	-
	臨時雇用者	201	18.9	55.7	1.5	-
	派遣社員	16	31.3	25.0	-	-
	内職	1	-	100.0	-	-
	自営業主、自由業者	52	17.3	48.1	7.7	1.9
	家族従業者	9	11.1	55.6	22.2	-
	経営者、重役、役員	24	37.5	33.3	-	-
	学生	50	6.0	36.0	2.0	2.0
	専業主婦・主夫	229	0.4	3.1	55.5	40.2
	無職	217	-	1.8	46.1	49.3

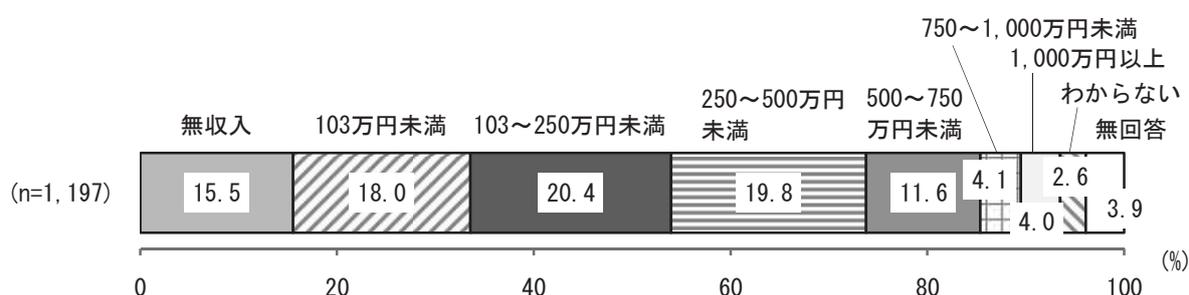
## 6. 年間収入（問54）

### （1）回答者自身の年間収入

回答者自身の年間収入は、「103～250万円未満」が最も多く、20.4%である。次いで、「250～500万円未満」（19.8%）、「103万円未満」（18.0%）の順である。「無収入」（15.5%）を含め、500万円までが73.7%を占めている。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者自身の平均年間収入は356.7万円となる。

図表10 回答者自身の年間収入（単純回答）



#### 注) 加重平均値

- 加重平均値は、値を単純に平均するのではなく、値の個数を加味して平均すること。
- 各年収層の中間値と回答者数を掛け、収入総額を算出する。例えば、「103万円未満」では、51.5万円×216人=11,124万円となる。
- 全年収層の収入総額を回答者数で割った値が加重平均値となる。このケースでは、332,815万円÷933人=356.7万円となる。
- なお、「無回答」や「わからない」は計算から除かれている。

図表11 回答者自身の年間収入

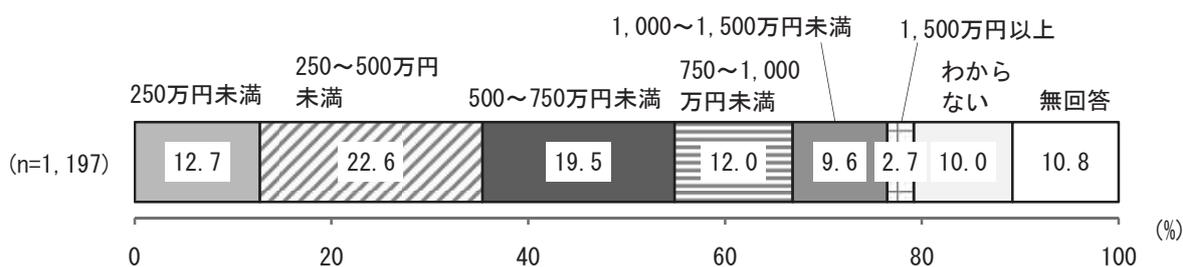
	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
無収入	186	15.5	-	-
103万円未満	216	18.0	51.5	11,124
103～250万円未満	244	20.4	176.5	43,066
250～500万円未満	237	19.8	375.0	88,875
500～750万円未満	139	11.6	625.0	86,875
750～1,000万円未満	49	4.1	875.0	42,875
1,000万円以上	48	4.0	1250.0	60,000
わからない	31	2.6	-	-
無回答	47	3.9	-	-
合計	1,197	100.0	-	-
有所得者数・収入総額	933	-	-	332,815
平均年間収入（加重平均値）	-	-	-	356.7

## (2) 回答者の世帯の年間収入

回答者の世帯の年間収入は「250～500万円未満」が最も多く、22.6%である。次いで、「500～750万円未満」(19.5%)、「250万円未満」(12.7%)の順であり、750万円までが60%近くを占めている。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者の世帯の平均年間収入は625.1万円となる。

図表12 回答者の世帯の年間収入（単純回答）



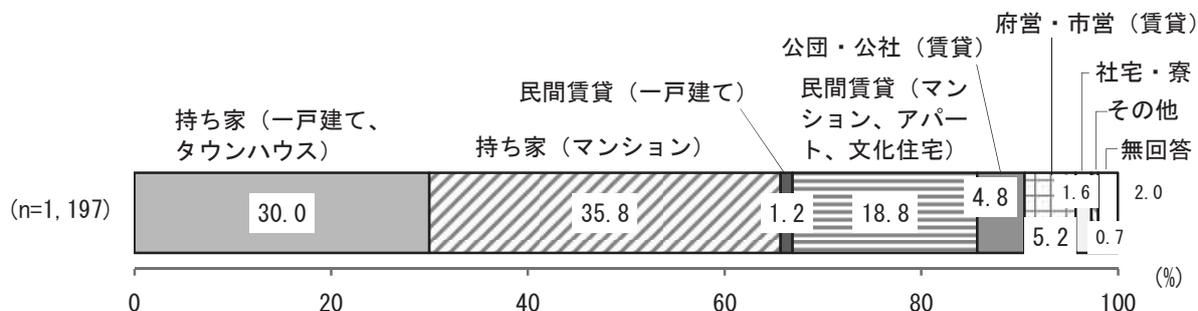
図表13 回答者の世帯の年間収入（単純回答）

	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
250万円未満	152	12.7	125.0	19,000
250～500万円未満	271	22.6	375.0	101,625
500～750万円未満	234	19.5	625.0	146,250
750～1,000万円未満	144	12.0	875.0	126,000
1,000～1,500万円未満	115	9.6	1,250.0	143,750
1,500万円以上	32	2.7	1,750.0	56,000
わからない	120	10.0	-	-
無回答	129	10.8	-	-
合計	1,197	100.0	-	-
有所得者数・収入総額	948	-	-	592,625
平均年間収入 (加重平均値)	-	-	-	625.1

## 7. 住宅の種類（問55）

回答者が住む住宅の種類は、「持ち家（マンション）」が最も多く、35.8%である。次いで、「持ち家（一戸建て、タウンハウス）」（30.0%）であり、持ち家比率は65.8%となっている。

図表14 回答者の住宅の種類（単純回答）



居住地域別にみると、「豊津・江坂・南吹田地域」は「民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）」が、「山田・千里丘地域」と「千里NT・万博・阪大地域」は「持ち家（マンション）」が最も多いが、それ以外の地域では「持ち家（一戸建て、タウンハウス）」が最も多くなっている。

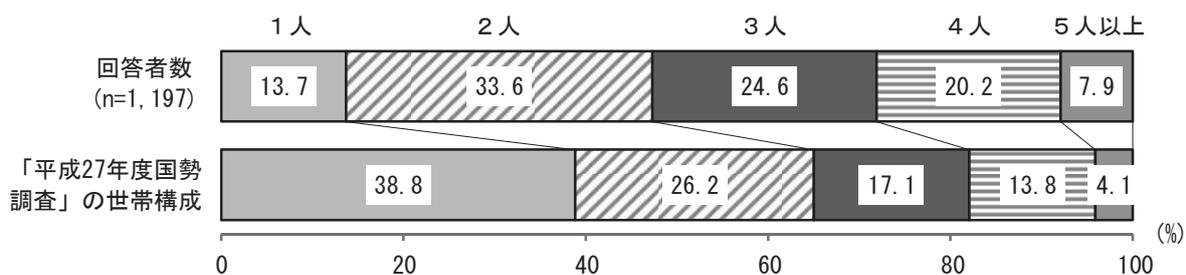
図表15 回答者の住宅の種類（性別・年齢別・居住地域別）

		件数	持ち家（一戸建て、タウンハウス）	持ち家（マンション）	民間賃貸（一戸建て）	民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	公団・公社（賃貸）	府営・市営（賃貸）	社宅・寮	その他	無回答
全体		1,197	30.0	35.8	1.2	18.8	4.8	5.2	1.6	0.7	2.0
性別	女性	661	31.0	34.6	0.9	18.5	4.8	7.1	1.1	0.6	1.4
	男性	528	29.2	37.7	1.5	19.5	4.7	2.8	2.3	0.8	1.5
年齢別	30歳未満	112	24.1	28.6	0.9	35.7	0.9	3.6	3.6	0.9	1.8
	30歳代	166	21.1	34.3	1.8	34.9	2.4	1.8	3.0	0.6	-
	40歳代	242	31.4	43.0	1.2	16.1	2.1	2.9	1.2	0.4	1.7
	50歳代	184	29.9	39.1	2.2	20.1	2.7	3.8	1.1	-	1.1
	60歳代	231	29.0	41.1	0.4	10.8	7.8	6.9	0.9	1.3	1.7
	70歳以上	250	38.4	27.2	0.8	10.4	9.6	10.0	1.2	0.8	1.6
居住地域別	J R以南地域	110	62.7	8.2	4.5	16.4	-	4.5	0.9	-	2.7
	片山・岸部地域	182	40.7	19.8	1.1	23.6	1.1	4.9	3.3	1.1	4.4
	豊津・江坂・南吹田地域	190	23.7	32.1	2.1	36.8	-	1.6	1.6	0.5	1.6
	千里山・佐井寺地域	201	30.3	36.3	1.5	23.9	3.0	1.5	2.0	-	1.5
	山田・千里丘地域	272	25.7	57.4	-	11.8	2.2	1.1	0.7	0.7	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	15.2	39.8	-	5.2	18.6	16.5	1.3	1.3	2.2

## 8. 世帯構成（問52～問53）

本調査の回答者の世帯人員は「1人」世帯が13.7%であり、平成27年度の国勢調査での本市の「1人世帯」の割合38.8%の半数以下である。一方、「2人」世帯（33.6%）、「3人」世帯（24.6%）、「4人」世帯（20.2%）及び「5人以上」世帯（7.9%）は、本市の平成27年度の国勢調査による世帯構成を上回っている。

図表16 回答者の世帯人員



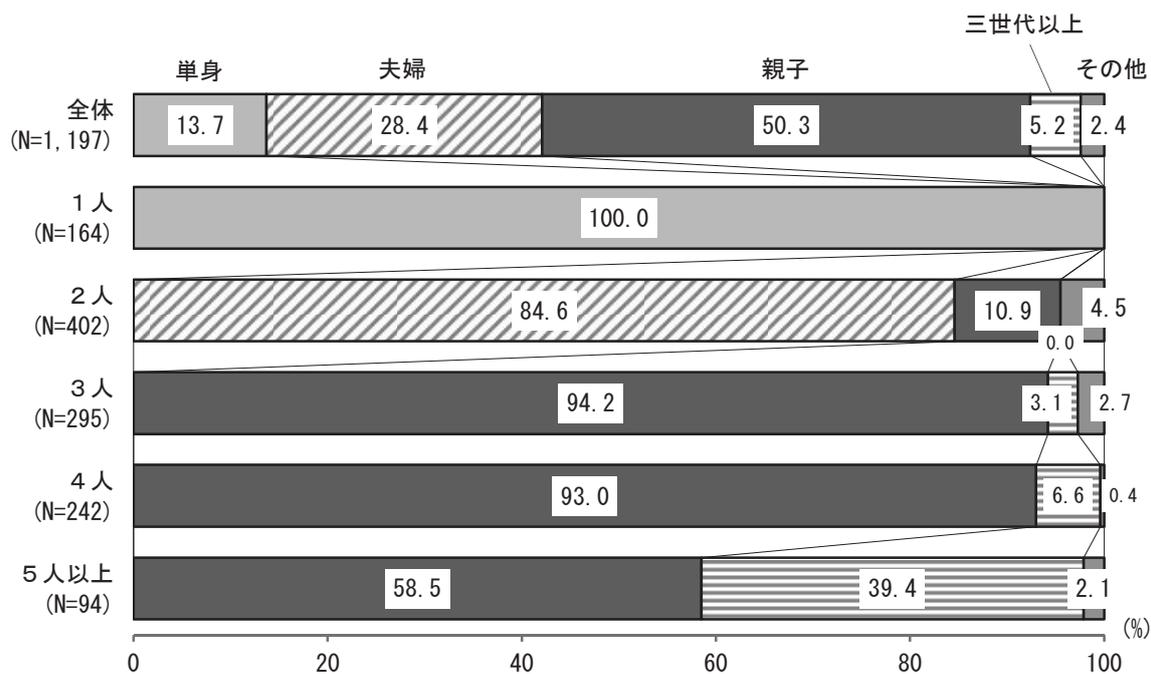
図表17 回答者の世帯人員

	アンケート調査		平成27年度国勢調査	
	回答者数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)
1人	164	13.7	65,350	38.8
2人	402	33.6	44,107	26.2
3人	295	24.6	28,718	17.1
4人	242	20.2	23,286	13.8
5人以上	94	7.9	6,902	4.1
合計	1,197	100.0	168,363	100.0
世帯人員	3,327	-	374,468	-
1世帯当たり人員	2.78	-	2.22	-

回答者の家族構成は、「親子」が約半数の50.3%を占めている。次いで、「夫婦」(28.4%)、「单身」(13.7%)の順となっている。

世帯人員別にみると、「2人」は「夫婦」が84.6%を占めており、「3人」「4人」は「親子」が90%を超えている。「5人以上」は「親子」が58.5%を占めており、「三世帯以上」は39.4%である。

図表18 回答者の家族構成





地域との関わりについて

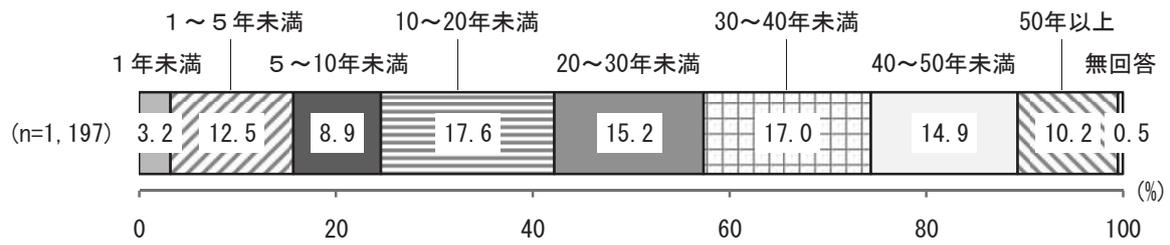


## 地域との関わりについて

### 1. 居住年数（問4）

本調査の回答者の居住年数は、「10～20年未満」が最も多く、17.6%である。次いで、「30～40年未満」の17.0%であり、「20～30年未満」（15.2%）、「40～50年未満」（14.9%）と続いている。

図表19 回答者の居住年数（単純回答）



年齢別にみると、「40歳代」は「10～20年未満」（33.5%）、「50歳代」は「20～30年未満」（24.5%）、「60歳代」は「30～40年未満」（29.9%）、「70歳代」は「50年以上」（30.4%）となっており、40歳代以上では、年齢層が高いほど居住年数が長い傾向がうかがえる。

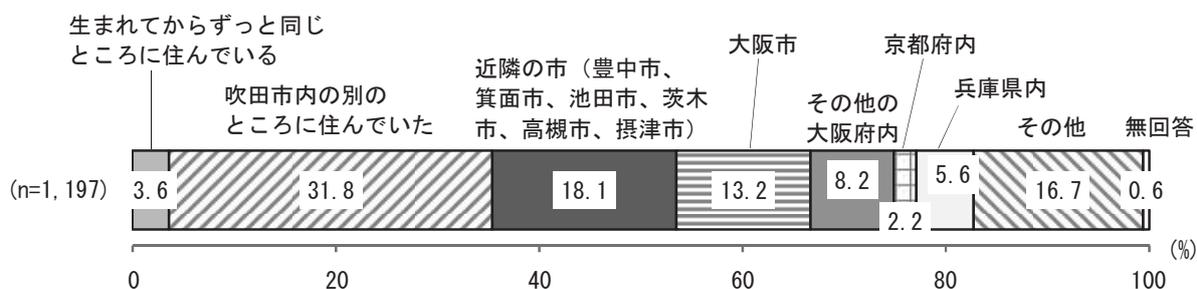
図表20 回答者の居住年数（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

		(%)									
		件数	1 年 未 満	1 ～ 5 年 未 満	5 ～ 1 0 年 未 満	1 0 ～ 2 0 年 未 満	2 0 ～ 3 0 年 未 満	3 0 ～ 4 0 年 未 満	4 0 ～ 5 0 年 未 満	5 0 年 以 上	無 回 答
今回調査		1,197	3.2	12.5	8.9	17.6	15.2	17.0	14.9	10.2	0.5
H24年度(2012年度)調査		1,092	3.5	10.5	10.9	17.1	15.5	19.7	13.2	8.6	1.0
H21年度(2009年度)調査		1,305	3.4	12.3	11.8	15.4	19.6	19.7	11.3	5.9	0.5
H20年度(2008年度)調査		1,260	3.5	12.2	11.3	16.0	20.5	17.4	12.2	6.5	0.5
H14年度(2002年度)調査		3,385	4.1	13.4	10.9	17.4	23.8	18.4	5.7	5.9	0.4
性別	女性	661	3.0	13.2	9.1	16.9	15.3	16.6	15.7	9.7	0.5
	男性	528	3.4	11.7	8.9	18.8	15.0	17.6	13.4	10.8	0.4
年齢別	30歳未満	112	11.6	22.3	6.3	21.4	36.6	0.9	-	-	0.9
	30歳代	166	9.6	33.1	20.5	8.4	10.8	16.3	0.6	-	0.6
	40歳代	242	2.5	13.2	13.2	33.5	11.2	12.4	13.6	-	0.4
	50歳代	184	1.6	7.1	8.2	19.6	24.5	14.7	10.3	13.6	0.5
	60歳代	231	-	5.6	6.5	12.6	13.4	29.9	23.4	8.7	-
	70歳以上	250	-	4.4	1.2	10.4	7.2	19.6	26.4	30.4	0.4
居住地別	J R以南地域	110	1.8	3.6	7.3	10.0	13.6	19.1	22.7	21.8	-
	片山・岸部地域	182	2.2	11.5	8.8	13.2	13.7	16.5	18.7	15.4	-
	豊津・江坂・南吹田地域	190	4.7	17.4	8.9	16.8	13.2	13.7	16.8	8.4	-
	千里山・佐井寺地域	201	3.0	11.9	10.9	22.4	15.4	17.9	9.0	8.0	1.5
	山田・千里丘地域	272	2.9	12.9	7.4	17.6	18.8	22.1	12.9	5.5	-
	千里NT・万博・阪大地域	231	3.9	14.3	9.5	21.6	13.9	12.6	14.3	9.1	0.9
職業別	常時雇用者	376	5.1	18.1	10.4	21.5	18.6	12.2	9.0	4.5	0.5
	臨時雇用者	201	1.0	10.9	9.0	18.4	19.4	21.9	12.9	6.0	0.5
	派遣社員	16	6.3	12.5	-	6.3	18.8	25.0	25.0	6.3	-
	内職	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	自営業主、自由業者	52	-	9.6	5.8	19.2	7.7	26.9	21.2	7.7	1.9
	家族従業者	9	-	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	-
	経営者、重役、役員	24	4.2	8.3	8.3	20.8	16.7	12.5	4.2	25.0	-
	学生	50	8.0	16.0	14.0	32.0	28.0	-	2.0	-	-
	専業主婦・主夫	229	3.9	11.4	12.2	11.4	8.3	20.1	18.3	14.4	-
	無職	217	0.9	6.5	3.2	12.0	12.0	19.4	24.0	21.7	0.5
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	0.8	3.9	8.4	16.2	12.8	21.2	17.3	19.5	-
	持ち家（マンション）	429	1.6	12.6	8.6	24.0	19.1	17.0	13.1	4.0	-
	民間賃貸（戸建て）	14	-	14.3	7.1	14.3	7.1	14.3	14.3	28.6	-
	民間賃貸（マンション）	225	10.7	28.0	13.8	11.6	13.3	8.9	8.0	4.4	1.3
	公団・公社（賃貸）	57	1.8	7.0	3.5	14.0	14.0	31.6	17.5	10.5	-
	府営・市営（賃貸）	62	-	3.2	-	12.9	17.7	19.4	30.6	14.5	1.6
	社宅・寮	19	10.5	52.6	15.8	-	10.5	-	10.5	-	-
	その他	8	12.5	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	25.0	-

## 2. 直前の居住地（問5）

本調査の回答者の直前の居住地は、「吹田市内の別のところに住んでいた」が31.8%で最も多い。次いで、「近隣の市」（18.1%）、「その他」（16.7%）、「大阪市」（13.2%）の順となっている。

図表21 回答者の直前の居住地（単純回答）



### 【その他の記述】（一部）

- 東京都
- 神奈川県
- 千葉県
- 愛知県
- 奈良県
- 広島県
- 福岡県
- 海外（アメリカ、カナダ） など

年齢別にみると、「30歳代」は「その他」が最も多く、23.5%である。「40歳代」以上の年齢層は「吹田市内の別のところに住んでいた」が最多となっている。

また、居住形態別では、「持ち家（戸建て）」、及び「持ち家（マンション）」、「民間賃貸（戸建て）」、「府営・市営（賃貸）」は「吹田市内の別のところに住んでいた」が最も多く、「民間賃貸（マンション）」及び「社宅」は「その他」が、「公団・公社（賃貸）」は「近隣の市」が最も多く、居住形態によって差異がみられる。

図表22 直前の居住地（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

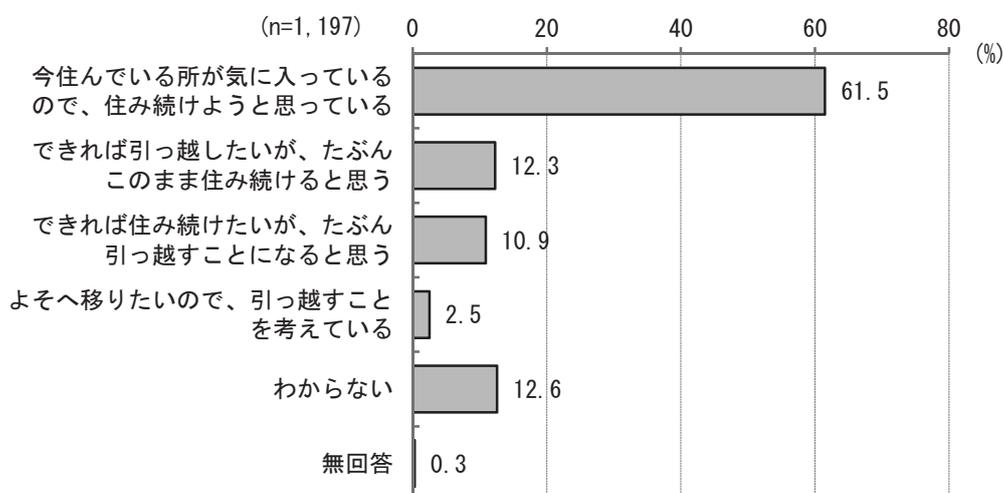
		件数	生 と ま れ て に か ら ず で い る 同 じ こ ろ	吹 住 に 田 市 内 の 別 の と こ ろ	近 隣 の 市	大 阪 市	そ の 他 の 大 阪 府 内	京 都 府 内	兵 庫 県 内	そ の 他	(%) 無 回 答
今回調査		1,197	3.6	31.8	18.1	13.2	8.2	2.2	5.6	16.7	0.6
H24年度(2012年度)調査		1,092	5.8	26.4	18.4	13.4	8.0	2.4	6.6	17.0	2.1
H21年度(2009年度)調査		1,305	6.8	25.6	18.2	15.9	7.8	2.1	6.5	16.8	0.2
H20年度(2008年度)調査		1,260	6.8	25.8	17.4	16.5	7.1	1.4	6.7	17.5	0.8
H19年度(2007年度)調査		1,222	7.0	24.3	19.8	16.0	7.9	2.1	7.4	15.2	0.3
H18年度(2006年度)調査		1,632	5.8	22.5	17.6	18.2	8.0	2.3	8.5	16.2	1.0
H14年度(2002年度)調査		3,385	9.2	35.8	15.1	13.7	5.6	1.6	5.6	13.0	0.4
性別	女性	661	3.2	28.4	18.2	14.7	9.5	2.7	5.7	16.8	0.8
	男性	528	4.2	36.6	17.8	11.4	6.6	1.5	5.1	16.7	0.2
年齢別	30歳未満	112	14.3	28.6	9.8	10.7	5.4	3.6	4.5	22.3	0.9
	30歳代	166	4.8	22.3	19.9	15.1	4.8	2.4	6.6	23.5	0.6
	40歳代	242	2.9	35.5	17.8	11.6	7.4	2.1	4.5	18.2	-
	50歳代	184	2.2	34.2	16.3	10.9	11.4	1.6	6.0	16.3	1.1
	60歳代	231	0.9	33.3	20.3	14.7	10.4	2.6	3.9	13.4	0.4
	70歳以上	250	2.4	32.8	20.0	15.2	8.4	1.6	7.2	12.0	0.4
居住地 地域別	J R以南地域	110	3.6	40.0	10.9	18.2	6.4	2.7	8.2	9.1	0.9
	片山・岸部地域	182	3.8	31.9	12.6	18.7	6.6	2.2	4.4	19.2	0.5
	豊津・江坂・南吹田地域	190	2.1	35.8	14.2	14.7	5.3	2.1	4.2	21.6	-
	千里山・佐井寺地域	201	4.5	29.9	14.9	12.9	9.0	1.5	6.0	21.4	-
	山田・千里丘地域	272	3.7	34.6	24.3	7.4	7.4	3.3	5.1	13.6	0.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	3.5	22.5	25.1	12.6	12.6	1.3	6.9	14.7	0.9
職業別	常時雇用者	376	4.5	32.7	17.6	14.6	7.2	1.3	4.8	17.3	-
	臨時雇用者	201	5.5	29.9	17.9	10.9	10.9	2.0	8.5	14.4	-
	派遣社員	16	6.3	43.8	18.8	6.3	6.3	6.3	-	12.5	-
	内職	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	自営業主、自由業者	52	3.8	32.7	23.1	15.4	11.5	-	3.8	7.7	1.9
	家族従業者	9	-	55.6	11.1	-	11.1	11.1	11.1	-	-
	経営者、重役、役員	24	4.2	25.0	8.3	16.7	12.5	12.5	-	20.8	-
	学生	50	10.0	32.0	12.0	8.0	4.0	6.0	2.0	24.0	2.0
	専業主婦・主夫	229	0.9	27.9	18.8	13.1	10.0	2.6	5.7	19.2	1.7
	無職	217	1.8	35.9	19.4	14.3	5.5	1.4	5.5	16.1	-
居住 形態別	持ち家（戸建て）	359	7.2	37.6	14.8	15.0	8.4	2.2	6.4	7.8	0.6
	持ち家（マンション）	429	1.9	32.2	24.9	13.1	7.5	2.1	5.4	12.6	0.5
	民間賃貸（戸建て）	14	-	42.9	14.3	-	-	7.1	-	35.7	-
	民間賃貸（マンション）	225	0.9	27.1	13.3	8.0	6.7	3.1	2.7	37.3	0.9
	公団・公社（賃貸）	57	1.8	21.1	22.8	14.0	12.3	1.8	10.5	15.8	-
	府営・市営（賃貸）	62	8.1	29.0	9.7	29.0	12.9	-	1.6	9.7	-
	社宅・寮	19	-	21.1	-	-	10.5	-	21.1	47.4	-
	その他	8	12.5	-	25.0	-	37.5	-	12.5	12.5	-

### 3. 永住意識（問6）

本調査の回答者の永住意識については、「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」が6割を超えており、61.5%となっている。次いで、「わからない」が12.6%、「できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う」（12.3%）が続いている。

「できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う」は10.9%、「よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている」は2.5%である。

図表23 回答者の永住意識（単純回答）



年齢別では、「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」は「30歳未満」が47.3%であるのに対し、「70歳以上」は70.8%であり、年齢層が高くなるほど永住の意向が強くなる傾向がうかがえる。

また、居住年数別にみると、「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」は「30～40年未満」は66.5%、「40～50年未満」69.1%、「50年以上」72.1%であり、居住年数が長いほど永住の意向が強くなる傾向がうかがえる。

「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」と「できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う」を合わせた永住意向「住み続けたい」は72.3%であり、前回調査より3.4ポイント増加している。

「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」と「できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う」を合わせた永住予定「住み続ける」は73.8%であり、前回調査より3.5ポイントの増加である。

永住意向「住み続けたい」、永住予定「住み続ける」とも調査の度に増加する傾向がうかがえる。

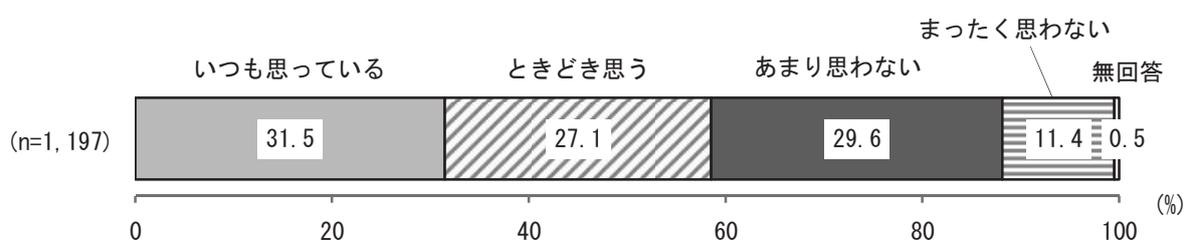
図表24 回答者の永住意識（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

			今住んでいて、住み続けようと思っている	引き続き住みたい	できれば引っ越したい	引っ越すことを考えている	引っ越すことはいらない	わからない	無回答	永住意向 （い） 住み続けた	永住意向 （い） 引っ越した	永住予定 （る） 住み続け	永住予定 （る） 引っ越す
		件数											(%)
今回調査		1,197	61.5	12.3	10.9	2.5	12.6	0.3	72.3	14.8	73.8	13.4	
H24年度(2012年度)調査		1,092	57.1	13.2	11.8	3.3	12.8	1.8	68.9	16.5	70.3	15.1	
H21年度(2009年度)調査		1,305	52.6	17.1	13.2	4.8	11.4	0.9	65.8	21.9	69.7	18.0	
H20年度(2008年度)調査		1,260	50.7	16.7	13.9	5.9	12.0	0.8	64.6	22.6	67.4	19.8	
H19年度(2007年度)調査		1,222	54.9	14.3	12.1	5.8	12.7	0.2	67.0	20.1	69.2	17.9	
H18年度(2006年度)調査		1,632	51.2	16.2	13.1	4.8	13.8	0.9	64.3	21.0	67.4	17.9	
H14年度(2002年度)調査		3,385	53.8	13.4	11.5	9.9	11.1	0.3	65.3	23.3	67.2	21.4	
性別	女性	661	62.0	11.6	10.9	2.1	13.3	-	72.9	13.8	73.7	13.0	
	男性	528	61.0	13.1	11.0	2.8	11.6	0.6	72.0	15.9	74.1	13.8	
年齢別	30歳未満	112	47.3	5.4	22.3	4.5	20.5	-	69.6	9.8	52.7	26.8	
	30歳代	166	57.2	6.0	13.3	3.0	20.5	-	70.5	9.0	63.3	16.3	
	40歳代	242	62.8	12.4	11.2	3.3	9.9	0.4	74.0	15.7	75.2	14.5	
	50歳代	184	57.6	14.1	12.5	2.2	13.0	0.5	70.1	16.3	71.7	14.7	
	60歳代	231	64.1	16.5	8.2	1.3	9.5	0.4	72.3	17.7	80.5	9.5	
	70歳以上	250	70.8	14.0	5.6	1.6	8.0	-	76.4	15.6	84.8	7.2	
居住地別	J R以南地域	110	60.0	18.2	7.3	3.6	10.9	-	67.3	21.8	78.2	10.9	
	片山・岸部地域	182	63.7	13.2	11.0	1.1	10.4	0.5	74.7	14.3	76.9	12.1	
	豊津・江坂・南吹田地域	190	46.8	15.8	18.9	3.2	14.7	0.5	65.8	18.9	62.6	22.1	
	千里山・佐井寺地域	201	55.2	15.4	11.9	5.0	11.9	0.5	67.2	20.4	70.6	16.9	
	山田・千里丘地域	272	69.1	8.5	6.3	2.2	14.0	-	75.4	10.7	77.6	8.5	
	千里NT・万博・阪大地域	231	69.3	7.8	10.8	0.9	11.3	-	80.1	8.7	77.1	11.7	
居住年数別	1年未満	38	44.7	2.6	18.4	7.9	26.3	-	63.2	10.5	47.4	26.3	
	1～5年未満	150	42.0	8.0	20.7	4.0	24.7	0.7	62.7	12.0	50.0	24.7	
	5～10年未満	107	60.7	5.6	15.9	3.7	13.1	0.9	76.6	9.3	66.4	19.6	
	10～20年未満	211	62.6	14.2	9.0	2.8	10.9	0.5	71.6	17.1	76.8	11.8	
	20～30年未満	182	61.5	12.6	11.5	3.8	10.4	-	73.1	16.5	74.2	15.4	
	30～40年未満	203	66.5	16.3	5.9	0.5	10.8	-	72.4	16.7	82.8	6.4	
	40～50年未満	178	69.1	12.9	6.7	1.7	9.6	-	75.8	14.6	82.0	8.4	
	50年以上	122	72.1	14.8	8.2	-	4.9	-	80.3	14.8	86.9	8.2	
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	73.5	9.7	5.0	1.9	9.7	-	78.6	11.7	83.3	7.0	
	持ち家（マンション）	429	71.1	12.8	4.7	0.9	10.5	-	75.8	13.8	83.9	5.6	
	民間賃貸（戸建て）	14	28.6	35.7	14.3	7.1	14.3	-	42.9	42.9	64.3	21.4	
	民間賃貸（マンション）	225	31.1	12.9	29.3	5.3	20.4	0.9	60.4	18.2	44.0	34.7	
	公団・公社（賃貸）	57	50.9	21.1	12.3	5.3	10.5	-	63.2	26.3	71.9	17.5	
	府営・市営（賃貸）	62	71.0	9.7	9.7	1.6	8.1	-	80.6	11.3	80.6	11.3	
	社宅・寮	19	10.5	5.3	52.6	5.3	26.3	-	63.2	10.5	15.8	57.9	
	その他	8	62.5	-	12.5	-	25.0	-	75.0	-	62.5	12.5	

#### 4. ふるさと意識（問7）

回答者の吹田市に対するふるさと意識については、「いつも思っている」が最も多く、31.5%を占めている。次いで、「あまり思わない」(29.6%)、「ときどき思う」(27.1%)の順となっている。

図表25 回答者のふるさと意識（単純回答）



ふるさと意識を居住年数別にみると、「いつも思っている」と「ときどき思う」を合わせた「ふるさと意識がある」は「1年未満」が13.2%であるのに対し、「50年以上」は77.9%を占めており、居住年数が長いほど「ふるさと意識がある」比率は高くなっている。

同様に、永住意識別にみると、「ふるさと意識がある」は「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」が67.0%を占めているのに対し、「よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている」は43.3%と少なく、永住の意向が強いほど「ふるさと意識がある」比率は高くなる傾向がうかがえる。

「ふるさと意識がある」比率は58.6%であり、「あまり思わない」「まったく思わない」を合わせた「ふるさと意識を持たない」比率41.0%を17.6ポイント上回っている。ただし、前回調査と比較すると、53.5%から5.1ポイント上昇している。

図表26 回答者のふるさと意識（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

		(%)						
		件数	いつも思っている	ときどき思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	ある「ふるさと意識」合計
今回調査		1,197	31.5	27.1	29.6	11.4	0.5	58.6
H24年度(2012年度)調査		1,092	28.5	25.0	33.7	10.3	2.5	53.5
H21年度(2009年度)調査		1,305	31.1	25.2	28.7	14.4	0.5	56.3
H20年度(2008年度)調査		1,260	29.4	25.4	31.7	12.9	0.6	54.8
H19年度(2007年度)調査		1,222	29.7	24.9	33.4	11.5	0.5	54.6
H18年度(2006年度)調査		1,632	28.1	26.5	32.7	11.6	1.1	54.6
H17年度(2005年度)調査		3,386	20.1	30.0	35.6	12.5	1.8	50.1
性別	女性	661	33.0	26.8	29.0	10.4	0.8	59.8
	男性	528	29.4	27.8	30.3	12.3	0.2	57.2
年齢別	30歳未満	112	34.8	25.9	25.0	14.3	-	60.7
	30歳代	166	24.7	25.3	34.9	15.1	-	50.0
	40歳代	242	27.7	25.6	32.6	13.6	0.4	53.3
	50歳代	184	28.3	29.9	34.8	7.1	-	58.2
	60歳代	231	30.3	29.4	28.1	10.8	1.3	59.7
	70歳以上	250	40.8	27.2	22.4	8.8	0.8	68.0
居住地別	J R以南地域	110	42.7	29.1	20.9	7.3	-	71.8
	片山・岸部地域	182	37.4	23.6	31.3	6.6	1.1	61.0
	豊津・江坂・南吹田地域	190	30.5	24.7	27.4	17.4	-	55.3
	千里山・佐井寺地域	201	27.4	27.9	30.8	13.4	0.5	55.2
	山田・千里丘地域	272	26.5	27.9	33.5	11.8	0.4	54.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	31.2	29.4	28.6	10.0	0.9	60.6
居住年数別	1年未満	38	5.3	7.9	47.4	39.5	-	13.2
	1～5年未満	150	7.3	20.7	39.3	32.7	-	28.0
	5～10年未満	107	10.3	25.2	47.7	16.8	-	35.5
	10～20年未満	211	17.5	35.5	38.4	8.1	0.5	53.1
	20～30年未満	182	36.8	28.0	29.7	5.5	-	64.8
	30～40年未満	203	41.9	34.5	18.7	3.9	1.0	76.4
	40～50年未満	178	51.7	24.7	17.4	6.2	-	76.4
	50年以上	122	59.0	18.9	17.2	3.3	1.6	77.9
永住意識別	住み続ける	736	38.7	28.3	26.0	6.7	0.4	67.0
	たぶん住み続ける	147	23.1	30.6	32.7	13.6	-	53.7
	たぶん引っ越す	130	23.8	24.6	33.1	18.5	-	48.5
	引っ越す	30	16.7	26.7	20.0	36.7	-	43.3
	わからない	151	14.6	20.5	43.0	20.5	1.3	35.1
居住形態別	持ち家(戸建て)	359	39.6	29.8	23.4	6.7	0.6	69.4
	持ち家(マンション)	429	26.8	29.1	34.5	9.1	0.5	55.9
	民間賃貸(戸建て)	14	42.9	14.3	28.6	14.3	-	57.1
	民間賃貸(マンション)	225	20.4	21.8	36.9	20.9	-	42.2
	公団・公社(賃貸)	57	26.3	36.8	24.6	12.3	-	63.2
	府営・市営(賃貸)	62	59.7	24.2	11.3	4.8	-	83.9
	社宅・寮	19	5.3	10.5	42.1	42.1	-	15.8
その他	8	50.0	-	12.5	37.5	-	50.0	

# 第1章 地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について



# 第1章 地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について

## 1. 地球温暖化の認知度と重要性（問8）

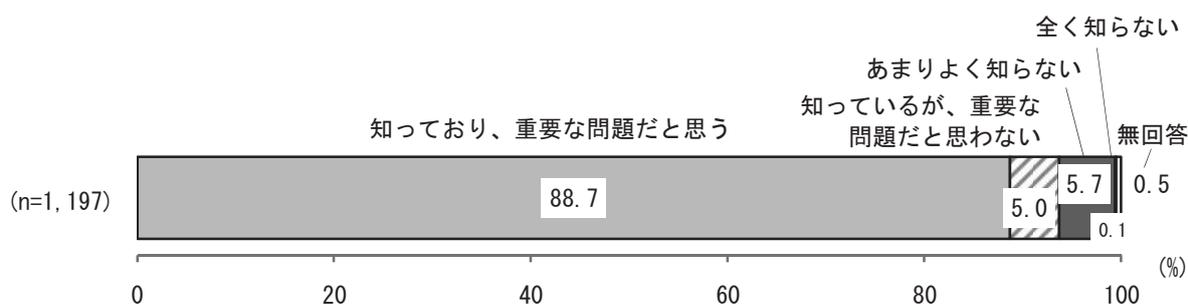
地球温暖化の認知度と重要性については、「知っており、重要な問題だと思う」が88.7%で最も多く、「知っているが、重要な問題だと思わない」を合わせた認知度は93.7%と高い。

性別にみると、「知っており、重要な問題だと思う」は「男性」（86.4%）より「女性」（91.1%）のほうが4.7ポイント高くなっている。

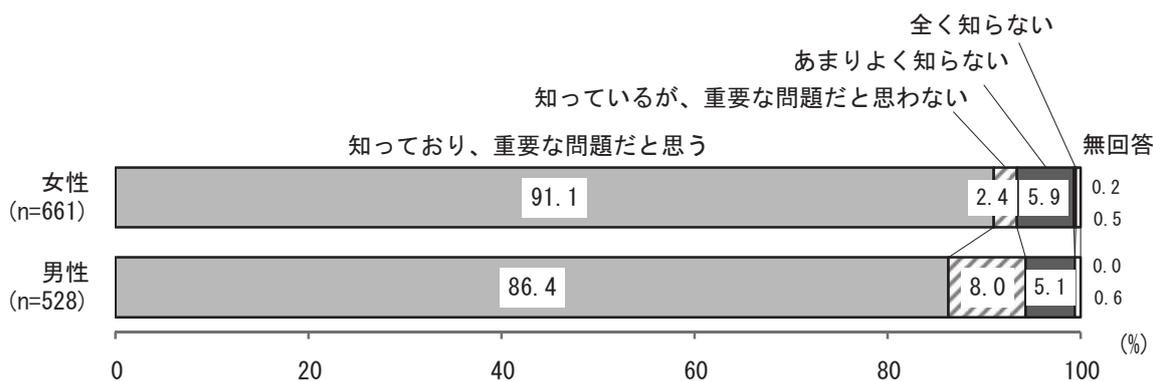
年齢別にみると、「知っており、重要な問題だと思う」は「30歳代」で最も低く、82.5%である。一方、「40歳代」～「60歳代」では9割以上と高い。

居住地別にみると、「知っており、重要な問題だと思う」は「JR以南地域」（90.9%）と「片山・岸部地域」（91.2%）で9割以上となっている。

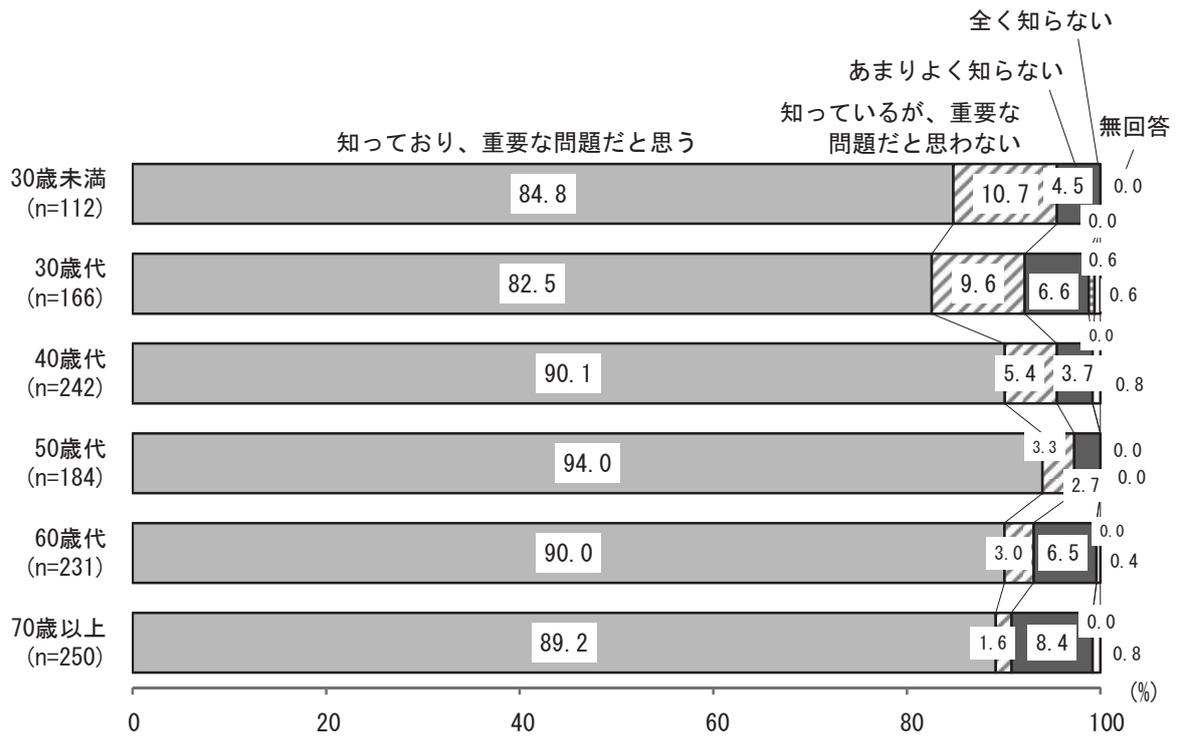
図表1-1 地球温暖化の認知度と重要性（単純回答）



図表1-2 地球温暖化の認知度と重要性（性別）



図表 1 - 3 地球温暖化の認知度と重要性（年齢別）



図表 1 - 4 地球温暖化の認知度と重要性（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

			(%)				
		件数	問題だ とお 思う、 重要 な	な 問題 だ と 思 わ な い	あ ま り よ く 知 ら な い	全 く 知 ら な い	無 回 答
全体		1,197	88.7	5.0	5.7	0.1	0.5
性別	女性	661	91.1	2.4	5.9	0.2	0.5
	男性	528	86.4	8.0	5.1	-	0.6
年齢別	30歳未満	112	84.8	10.7	4.5	-	-
	30歳代	166	82.5	9.6	6.6	0.6	0.6
	40歳代	242	90.1	5.4	3.7	-	0.8
	50歳代	184	94.0	3.3	2.7	-	-
	60歳代	231	90.0	3.0	6.5	-	0.4
	70歳以上	250	89.2	1.6	8.4	-	0.8
居住 地域別	J R以南地域	110	90.9	0.9	8.2	-	-
	片山・岸部地域	182	91.2	2.2	4.9	0.5	1.1
	豊津・江坂・南吹田地域	190	86.3	7.4	6.3	-	-
	千里山・佐井寺地域	201	89.1	5.5	4.0	-	1.5
	山田・千里丘地域	272	89.7	5.5	4.8	-	-
	千里NT・万博・阪大地域	231	87.0	5.6	6.9	-	0.4
職業別	常時雇用者	376	87.5	7.7	4.0	0.3	0.5
	臨時雇用者	201	88.6	4.5	7.0	-	-
	派遣社員	16	68.8	18.8	12.5	-	-
	内職	1	-	100.0	-	-	-
	自営業主、自由業者	52	96.2	1.9	1.9	-	-
	家族従業者	9	88.9	-	-	-	11.1
	経営者、重役、役員	24	100.0	-	-	-	-
	学生	50	90.0	8.0	2.0	-	-
	専業主婦・主夫	229	95.2	1.3	3.5	-	-
	無職	217	85.3	3.7	10.1	-	0.9

## 2. 生物多様性の認知度と重要性（問9）

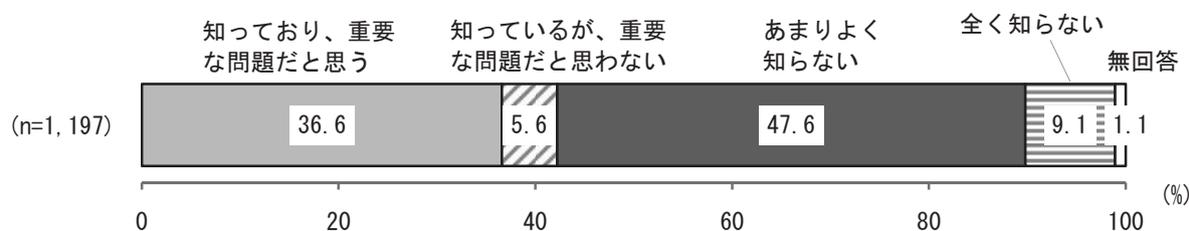
生物多様性の認知度と重要性については、「あまりよく知らない」が最も多く、47.6%である。次いで「知っており、重要な問題だと思う」が36.6%であり、「知っているが、重要な問題だと思わない」をあわせた認知度は42.2%となっている。

性別にみると、「知っており、重要な問題だと思う」は「女性」（30.9%）より「男性」（43.8%）のほうが12.9ポイント高い。

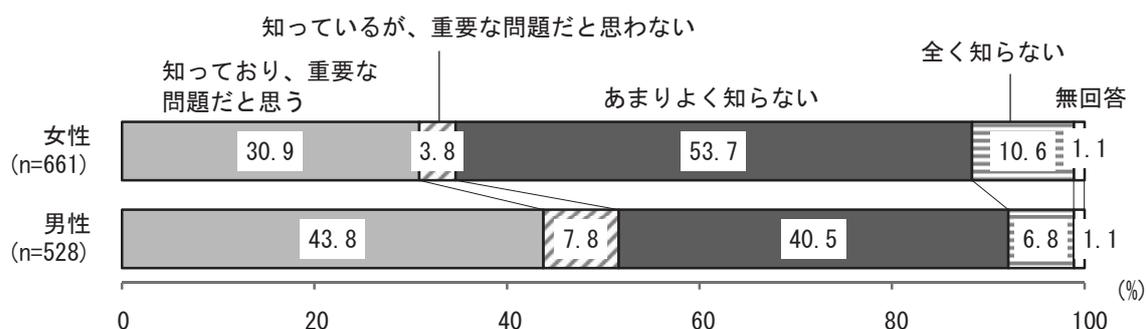
年齢別にみると、「知っており、重要な問題だと思う」は「70歳以上」で最も高く、39.6%である。

職業別にみると、「知っており、重要な問題だと思う」は「経営者、重役、役員」が50.0%で最も高く、次いで「自営業主、自由業者」が44.4%となっている。

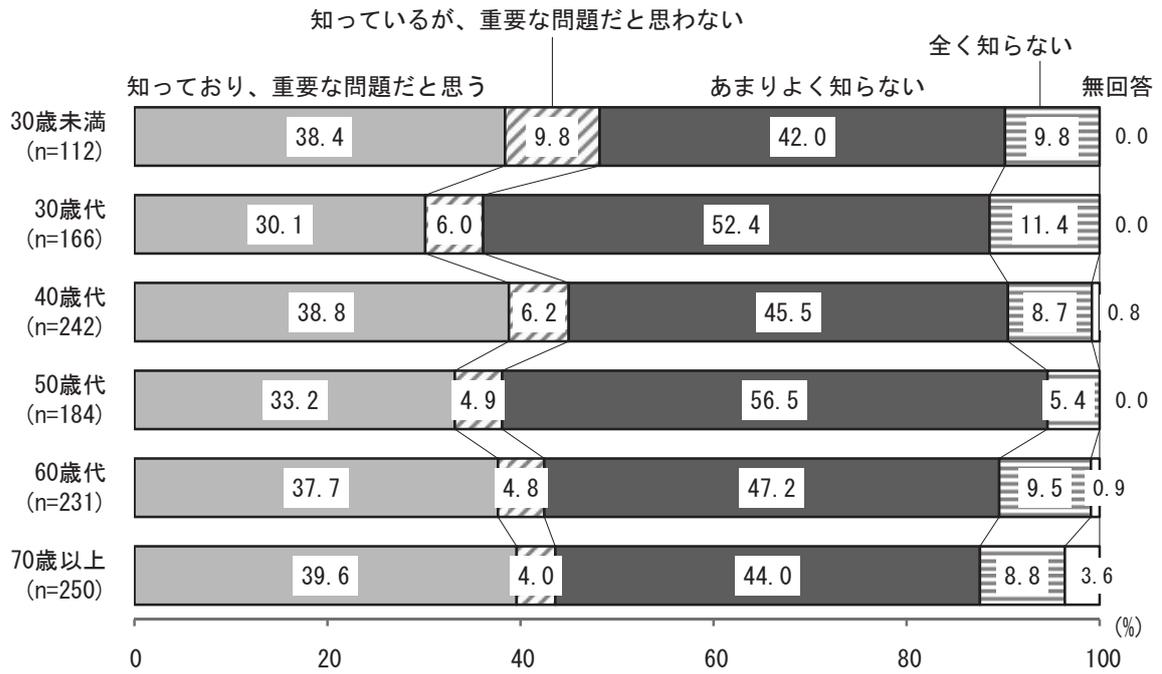
図表1-5 生物多様性の認知度と重要性（単純回答）



図表1-6 生物多様性の認知度と重要性（性別）



図表 1 - 7 生物多様性の認知度と重要性 (年齢別)



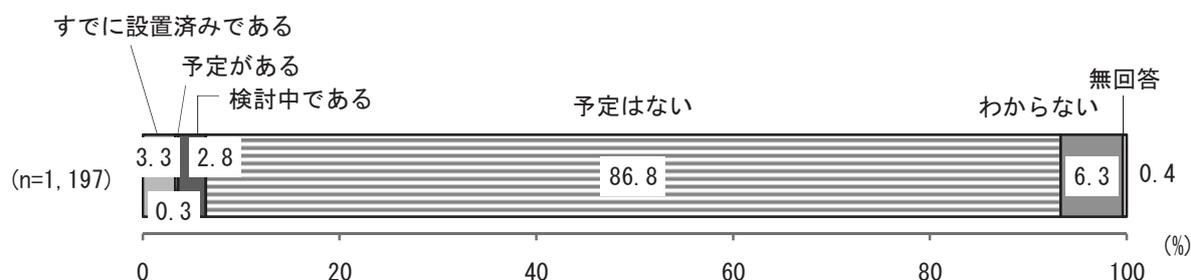
図表 1 - 8 生物多様性の認知度と重要性（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

			(%)				
		件数	題知 だっ てお り、 重 要 な 問	問知 題っ だて いる が、 重 要 な	あ ま り よ く 知 ら な い	全 く 知 ら な い	無 回 答
全体		1,197	36.6	5.6	47.6	9.1	1.1
性別	女性	661	30.9	3.8	53.7	10.6	1.1
	男性	528	43.8	7.8	40.5	6.8	1.1
年齢別	30歳未満	112	38.4	9.8	42.0	9.8	-
	30歳代	166	30.1	6.0	52.4	11.4	-
	40歳代	242	38.8	6.2	45.5	8.7	0.8
	50歳代	184	33.2	4.9	56.5	5.4	-
	60歳代	231	37.7	4.8	47.2	9.5	0.9
	70歳以上	250	39.6	4.0	44.0	8.8	3.6
居住 地域別	J R以南地域	110	27.3	7.3	50.9	13.6	0.9
	片山・岸部地域	182	35.7	6.0	45.1	12.1	1.1
	豊津・江坂・南吹田地域	190	34.7	7.9	46.3	10.5	0.5
	千里山・佐井寺地域	201	41.3	5.5	43.3	7.5	2.5
	山田・千里丘地域	272	35.7	4.0	51.8	8.1	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	41.1	4.3	48.1	5.2	1.3
職業別	常時雇用者	376	39.9	7.2	44.7	7.7	0.5
	臨時雇用者	201	29.9	4.5	58.7	7.0	-
	派遣社員	16	18.8	18.8	62.5	-	-
	内職	1	-	100.0	-	-	-
	自営業主、自由業者	52	44.2	3.8	42.3	7.7	1.9
	家族従業者	9	33.3	-	44.4	22.2	-
	経営者、重役、役員	24	50.0	4.2	37.5	4.2	4.2
	学生	50	40.0	10.0	44.0	6.0	-
	専業主婦・主夫	229	35.4	3.5	48.0	11.4	1.7
	無職	217	36.4	4.1	45.6	12.0	1.8

### 3. 太陽光パネルの設置予定（問10）

太陽光パネルの設置予定については、「予定はない」が最も多く、86.8%である。次いで「すでに設置済みである」が3.3%となっている。

図表 1 - 9 太陽光パネルの設置予定（単純回答）



居住地域別にみると、いずれも「予定はない」が8割以上を占めている。「すでに設置済みである」は「千里NT・万博・阪大地域」が5.2%で最も高い。

居住形態別にみると、「すでに設置済みである」は「持ち家（戸建て）」が8.1%で最も高く、次いで「社宅・寮」が5.3%となっている。

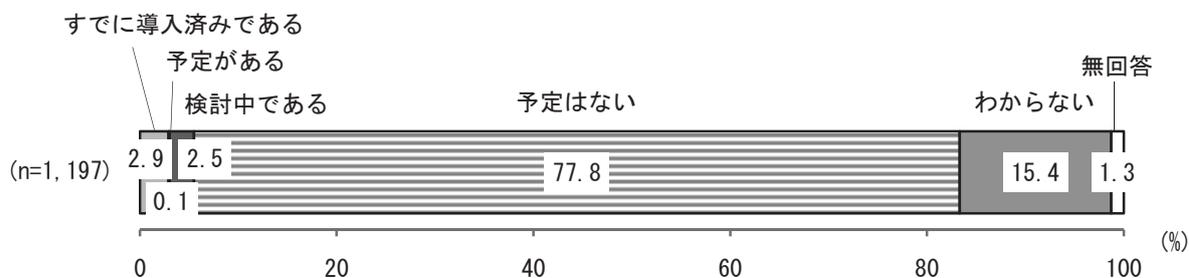
図表 1 - 10 太陽光パネルの設置予定（居住地域別、居住形態別）

		件数	すでに設置済みである	予定がある	検討中である	予定はない	わからない	無回答
全体		1,197	3.3	0.3	2.8	86.8	6.3	0.4
居住地域別	JR以南地域	110	2.7	-	2.7	86.4	7.3	0.9
	片山・岸部地域	182	3.8	0.5	4.4	83.0	7.7	0.5
	豊津・江坂・南吹田地域	190	4.2	-	2.6	86.3	6.8	-
	千里山・佐井寺地域	201	3.0	-	4.0	86.6	6.0	0.5
	山田・千里丘地域	272	1.5	-	2.6	90.8	4.8	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	5.2	0.9	1.3	85.7	6.5	0.4
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	8.1	-	6.7	77.2	8.1	-
	持ち家（マンション）	429	2.1	0.2	0.2	93.5	4.0	-
	民間賃貸（戸建て）	14	-	7.1	-	85.7	7.1	-
	民間賃貸（マンション）	225	0.4	0.4	3.6	87.1	7.6	0.9
	公団・公社（賃貸）	57	-	-	1.8	93.0	5.3	-
	府営・市営（賃貸）	62	-	-	-	93.5	4.8	1.6
	社宅・寮	19	5.3	-	-	89.5	5.3	-
	その他	8	-	-	-	62.5	37.5	-

#### 4. エネファームの導入予定（問11）

エネファームの導入予定については、「予定はない」が最も多く、77.8%となっている。次いで「わからない」が15.4%、「すでに導入済みである」が2.9%となっている。

図表 1-11 エネファームの導入予定（単純回答）



居住地域別にみると、いずれも「予定はない」が7割以上を占めており、「豊津・江坂・南吹田地域」が81.6%で最も高い。「すでに導入済みである」は「千里山・佐井寺地域」が4.0%で最も高い。

居住形態別にみると、「すでに導入済みである」は「持ち家（戸建て）」が8.1%で最も高く、次いで「社宅・寮」が5.3%となっている。

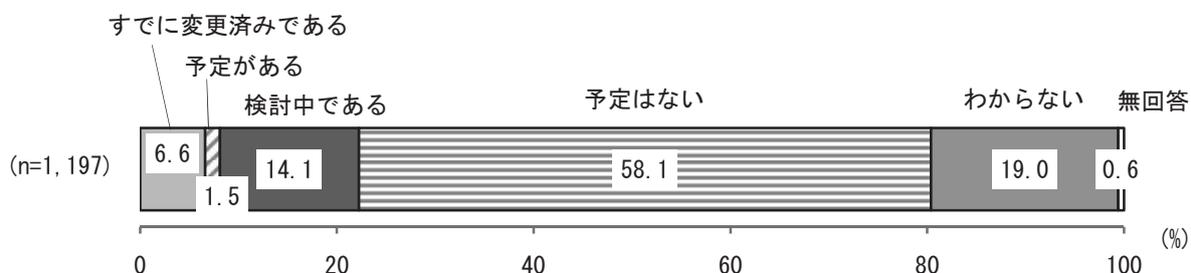
図表 1-12 エネファームの導入予定（居住地域別、居住形態別）

		件数	すでに導入済みである (%)	予定がある (%)	検討中である (%)	予定はない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,197	2.9	0.1	2.5	77.8	15.4	1.3
居住地域別	J R以南地域	110	1.8	-	2.7	73.6	20.9	0.9
	片山・岸部地域	182	2.7	-	3.3	74.7	17.0	2.2
	豊津・江坂・南吹田地域	190	3.2	-	2.1	81.6	12.6	0.5
	千里山・佐井寺地域	201	4.0	-	3.5	77.1	13.9	1.5
	山田・千里丘地域	272	2.6	-	2.9	78.7	14.7	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	231	3.0	0.4	0.9	79.2	14.7	1.7
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	8.1	-	5.8	65.7	18.9	1.4
	持ち家（マンション）	429	0.9	-	0.9	83.0	14.5	0.7
	民間賃貸（戸建て）	14	-	-	-	85.7	14.3	-
	民間賃貸（マンション）	225	-	0.4	2.2	83.1	13.3	0.9
	公団・公社（賃貸）	57	-	-	-	84.2	12.3	3.5
	府営・市営（賃貸）	62	-	-	-	83.9	14.5	1.6
	社宅・寮	19	5.3	-	-	89.5	5.3	-
その他	8	-	-	-	62.5	37.5	-	

## 5. 電力の契約先の変更予定（問12）

電力の契約先の変更予定については、「予定はない」が最も高く、58.1%である。次いで「わからない」が19.0%、「検討中である」が14.1%となっている。

図表 1-13 電力の契約先の変更予定（単純回答）



居住地域別にみると、いずれも「予定はない」が5割以上を占めており、「JR以南地域」が63.6%で最も高い。「すでに変更済みである」は「山田・千里丘地域」が9.9%で最も高い。

居住形態別にみると、「すでに変更済みである」は「民間賃貸（戸建て）」が14.3%で最も高く、次いで「持ち家（マンション）」が9.8%となっている。

図表 1-14 電力の契約先の変更予定（居住地域別、居住形態別）

		件数	すでに変更済みである	予定がある	検討中である	予定はない	わからない	無回答
全体		1,197	6.6	1.5	14.1	58.1	19.0	0.6
居住地域別	JR以南地域	110	2.7	1.8	11.8	63.6	19.1	0.9
	片山・岸部地域	182	3.3	2.2	14.8	57.1	22.0	0.5
	豊津・江坂・南吹田地域	190	5.8	2.1	13.2	60.5	17.9	0.5
	千里山・佐井寺地域	201	6.5	1.0	16.9	53.7	20.9	1.0
	山田・千里丘地域	272	9.9	1.5	14.3	54.0	20.2	-
	千里NT・万博・阪大地域	231	7.8	0.9	13.0	62.8	14.7	0.9
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	7.0	2.5	15.0	55.4	19.8	0.3
	持ち家（マンション）	429	9.8	1.2	15.4	55.0	18.2	0.5
	民間賃貸（戸建て）	14	14.3	-	21.4	50.0	14.3	-
	民間賃貸（マンション）	225	3.1	0.9	12.0	63.6	20.0	0.4
	公団・公社（賃貸）	57	1.8	-	12.3	68.4	17.5	-
	府営・市営（賃貸）	62	3.2	1.6	11.3	62.9	19.4	1.6
	社宅・寮	19	-	5.3	15.8	68.4	10.5	-
	その他	8	-	-	12.5	62.5	25.0	-

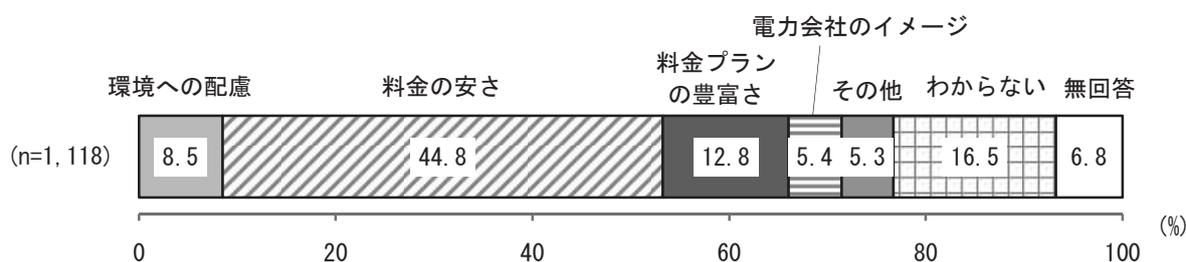
## 6. 電力会社の選択基準（問13）

電力の契約先を変更する場合の電力会社の選択基準については、「料金の安さ」が最も多く、44.8%である。次いで「わからない」が16.5%、「料金プランの豊富さ」が12.8%となっている。

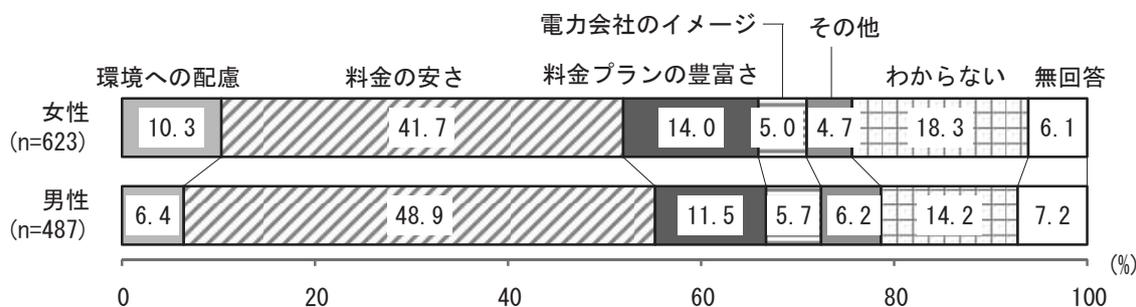
性別にみると、「環境への配慮」は「男性」（6.4%）より「女性」（10.3%）のほうが3.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「環境への配慮」は「30歳未満」（1.8%）、「30歳代」（1.9%）で低く、「50歳代」～「70歳以上」では10%以上と高くなっている。

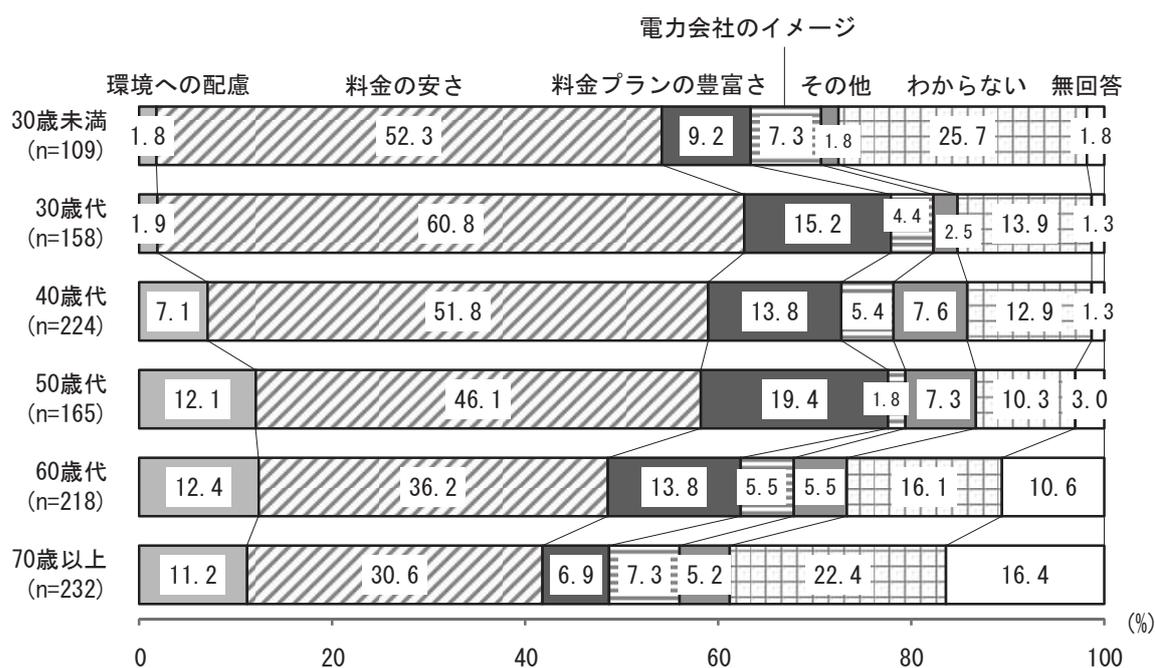
図表 1 - 15 電力会社の選択基準（単純回答）



図表 1 - 16 電力会社の選択基準（性別）



図表 1-17 電力会社の選択基準（年齢別）



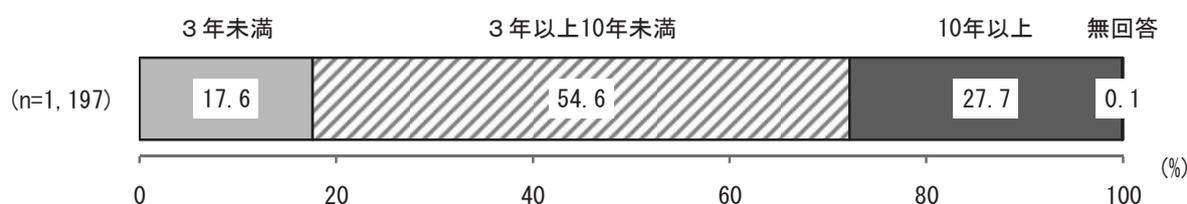
図表 1-18 電力会社の選択基準（性別、年齢別、居住地域別、居住形態別）

		件数	環境への配慮	料金の安さ	料金プランの豊富さ	電力会社のイメージ	その他	わからない	無回答
全体		1,118	8.5	44.8	12.8	5.4	5.3	16.5	6.8
性別	女性	623	10.3	41.7	14.0	5.0	4.7	18.3	6.1
	男性	487	6.4	48.9	11.5	5.7	6.2	14.2	7.2
年齢別	30歳未満	109	1.8	52.3	9.2	7.3	1.8	25.7	1.8
	30歳代	158	1.9	60.8	15.2	4.4	2.5	13.9	1.3
	40歳代	224	7.1	51.8	13.8	5.4	7.6	12.9	1.3
	50歳代	165	12.1	46.1	19.4	1.8	7.3	10.3	3.0
	60歳代	218	12.4	36.2	13.8	5.5	5.5	16.1	10.6
	70歳以上	232	11.2	30.6	6.9	7.3	5.2	22.4	16.4
居住地域別	J R以南地域	107	7.5	43.0	9.3	5.6	4.7	25.2	4.7
	片山・岸部地域	176	7.4	48.9	13.1	5.1	5.1	15.3	5.1
	豊津・江坂・南吹田地域	179	7.3	53.1	11.2	4.5	3.9	12.8	7.3
	千里山・佐井寺地域	188	6.9	42.6	18.1	4.3	8.0	14.9	5.3
	山田・千里丘地域	245	11.0	45.7	12.7	5.3	4.5	15.1	5.7
	千里NT・万博・阪大地域	213	9.9	37.6	10.8	7.0	5.6	17.8	11.3
居住形態別	持ち家（戸建て）	334	10.2	42.5	9.9	6.6	4.2	20.1	6.6
	持ち家（マンション）	387	9.0	43.9	17.1	4.9	7.2	12.1	5.7
	民間賃貸（戸建て）	12	8.3	66.7	25.0	-	-	-	-
	民間賃貸（マンション）	218	3.7	55.5	11.5	4.6	4.6	16.5	3.7
	公団・公社（賃貸）	56	14.3	37.5	12.5	5.4	1.8	12.5	16.1
	府営・市営（賃貸）	60	8.3	36.7	6.7	1.7	8.3	28.3	10.0
	社宅・寮	19	21.1	42.1	21.1	5.3	-	5.3	5.3
その他	8	-	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	-	

## 7. 冷蔵庫の購入時期（問14）

冷蔵庫の購入時期については、「3年以上10年未満」が最も多く、54.6%である。次いで「10年以上」が27.7%、「3年未満」が17.6%となっている。

図表 1 - 19 冷蔵庫の購入時期（単純回答）



家族構成別にみると、「3年未満」は「その他」の世帯が27.6%で最も高く、次いで「単身」が23.2%となっている。「10年以上」は「夫婦」が最も高く、30.0%である。

居住形態別にみると、「10年以上」は「民間賃貸（戸建て）」が最も高く、35.7%である。

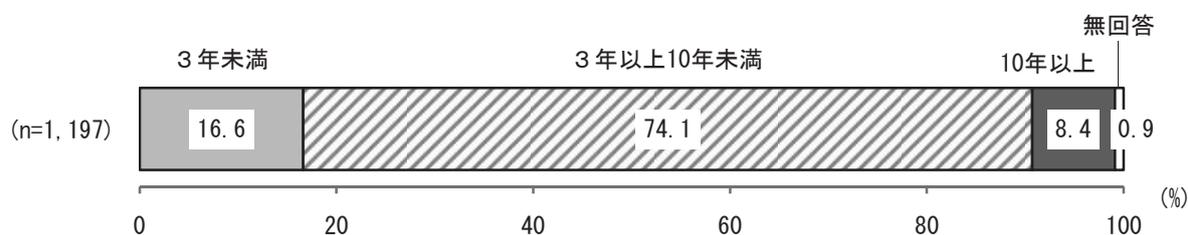
図表 1 - 20 冷蔵庫の購入時期（居住地域別、家族構成別、居住形態別）

		件数	3年未満	3年以上10年未満	10年以上	無回答
全体		1,197	17.6	54.6	27.7	0.1
居住地域別	J R以南地域	110	19.1	53.6	27.3	-
	片山・岸部地域	182	13.7	55.5	30.8	-
	豊津・江坂・南吹田地域	190	17.9	50.0	31.6	0.5
	千里山・佐井寺地域	201	17.4	59.2	23.4	-
	山田・千里丘地域	272	18.4	52.6	29.0	-
	千里NT・万博・阪大地域	231	18.2	57.1	24.7	-
家族構成別	単身	164	23.2	43.9	32.3	0.6
	夫婦	340	17.1	52.9	30.0	-
	親子	602	15.9	57.8	26.2	-
	三世代以上	62	17.7	61.3	21.0	-
	その他	29	27.6	55.2	17.2	-
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	15.0	56.8	27.9	0.3
	持ち家（マンション）	429	17.0	52.9	30.1	-
	民間賃貸（戸建て）	14	14.3	50.0	35.7	-
	民間賃貸（マンション）	225	24.0	51.1	24.9	-
	公団・公社（賃貸）	57	19.3	52.6	28.1	-
	府営・市営（賃貸）	62	9.7	66.1	24.2	-
	社宅・寮	19	31.6	52.6	15.8	-
	その他	8	12.5	62.5	25.0	-

## 8. テレビの購入時期（問15）

テレビの購入時期については、「3年以上10年未満」が最も多く、74.1%である。次いで「3年未満」が16.6%、「10年以上」が8.4%となっている。

図表 1-21 テレビの購入時期（単純回答）



居住地域別にみると、「10年以上」は「JR以南地域」が11.8%で最も高く、次いで「豊津・江坂・南吹田地域」が10.5%となっている。

家族構成別にみると、「10年以上」は「三世代以上」が12.9%で最も高く、次いで「単身」が11.6%となっている。

居住形態別にみると、「10年以上」は「公団・公社（賃貸）」が12.3%で最も高くなっている。

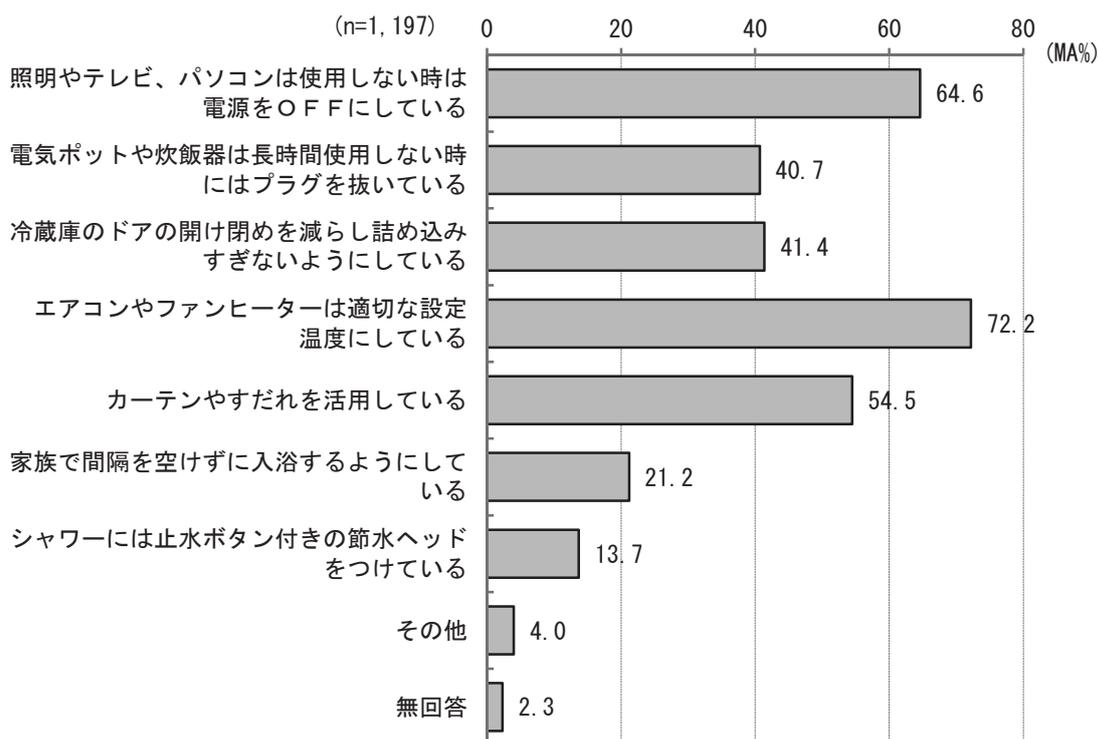
図表 1-22 テレビの購入時期（居住地域別、家族構成別、居住形態別）

		件数	3年未満	3年以上10年未満	10年以上	無回答
全体		1,197	16.6	74.1	8.4	0.9
居住地域別	JR以南地域	110	16.4	71.8	11.8	-
	片山・岸部地域	182	18.7	71.4	8.2	1.6
	豊津・江坂・南吹田地域	190	16.3	70.5	10.5	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	14.9	77.6	7.0	0.5
	山田・千里丘地域	272	16.9	75.0	8.1	-
	千里NT・万博・阪大地域	231	15.6	77.5	6.1	0.9
家族構成別	単身	164	21.3	62.8	11.6	4.3
	夫婦	340	16.2	74.4	8.8	0.6
	親子	602	15.6	77.4	6.6	0.3
	三世代以上	62	19.4	67.7	12.9	-
	その他	29	10.3	79.3	10.3	-
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	19.2	71.9	8.4	0.6
	持ち家（マンション）	429	14.2	77.6	7.9	0.2
	民間賃貸（戸建て）	14	7.1	85.7	7.1	-
	民間賃貸（マンション）	225	18.2	72.0	8.0	1.8
	公団・公社（賃貸）	57	19.3	68.4	12.3	-
	府営・市営（賃貸）	62	9.7	77.4	11.3	1.6
	社宅・寮	19	26.3	57.9	10.5	5.3
	その他	8	12.5	87.5	-	-

## 9. 行っている省エネ行動（問16）

家庭で行っている省エネ行動については、「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」が72.2%で最も多く、次いで「照明やテレビ、パソコンは使用しない時は電源をOFFにしている」が64.6%、「カーテンやすだれを活用している」が54.5%となっている。

図表1-23 行っている省エネ行動（単純回答）



性別にみると、いずれの項目も男性より女性のほうが割合が高くなっている。

年齢別にみると、「電気ポットや炊飯器は長時間使用しない時にはプラグを抜いている」は40歳代以上が4割台、「冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし詰め込みすぎないようにしている」は50歳代以上が4割台、「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」は30歳代と60歳代以上が7割台と高く、「30歳未満」で最も低くなっている。

家族構成別にみると、「電気ポットや炊飯器は長時間使用しない時にはプラグを抜いている」や「冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし詰め込みすぎないようにしている」「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」「カーテンやすだれを活用している」「家族で間隔を空けずに入浴するようにしている」はいずれも「夫婦」世帯で最も高くなっている。

居住形態別にみると、「電気ポットや炊飯器は長時間使用しない時にはプラグを抜いている」や「冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし詰め込みすぎないようにしている」「家族で間隔を空けずに入浴するようにしている」は「府営・市営（賃貸）」で最も高くなっている。



## 10. エコドライブの認知度と実践有無（問17）

エコドライブの認知度と実践有無については、「知らない」が36.9%で最も多く、次いで「知っており、実践している」が30.3%、「知っているが、実践していない」が27.8%となっている。

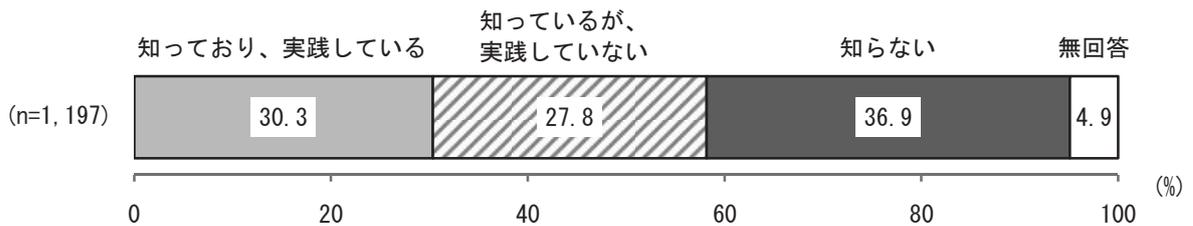
性別にみると、「知らない」は男性（26.7%）より女性（45.1%）のほうが18.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っており、実践している」は「50歳代」が41.8%で最も高く、「知らない」は「30歳未満」（45.5%）と「70歳以上」（46.8%）で4割台と高くなっている。

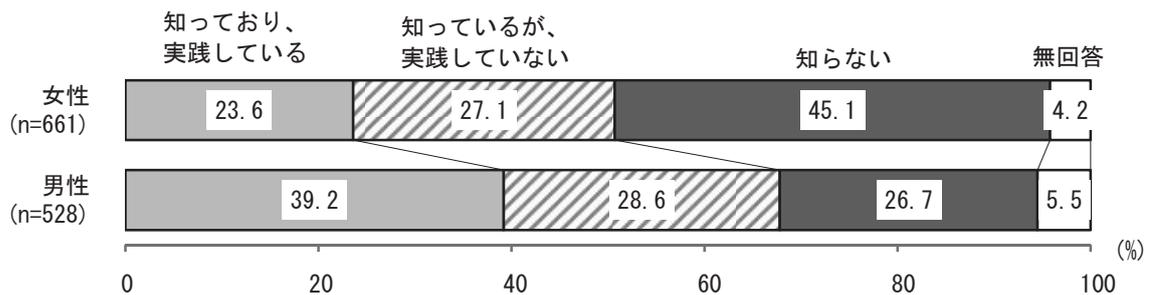
居住地域別にみると、「知らない」は「JR以南地域」が48.2%で最も高くなっている。

居住形態別にみると、「知っており、実践している」は「民間賃貸（戸建て）」が57.1%で最も高く、次いで「社宅・寮」が42.1%となっている。

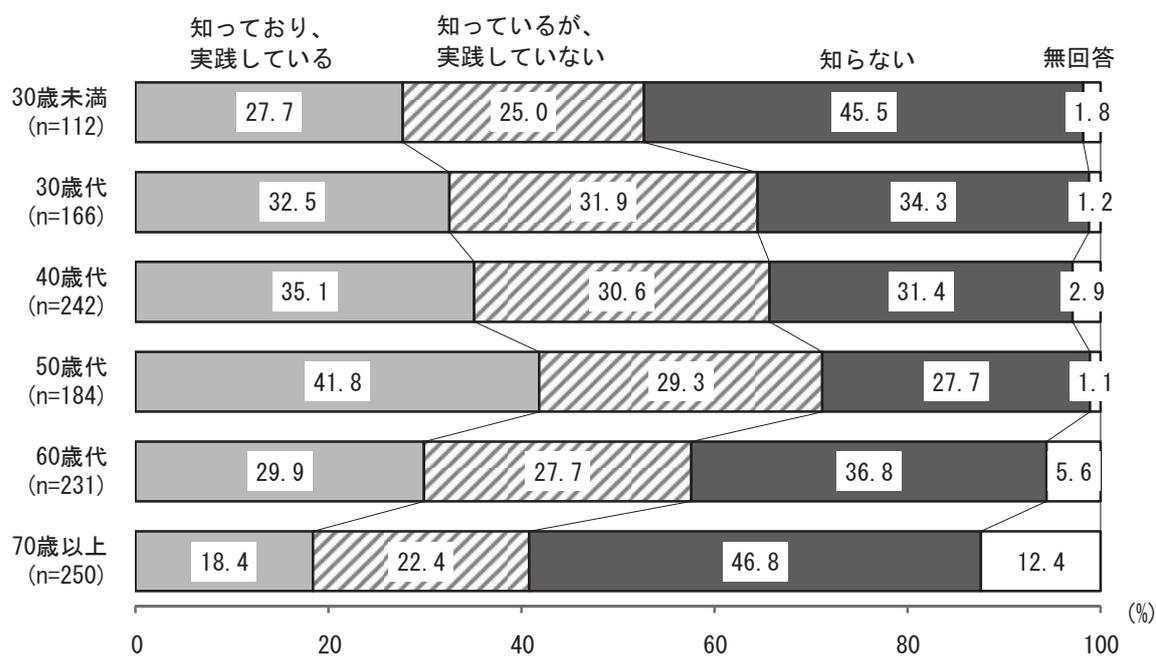
図表 1-25 エコドライブの認知度と実践有無（単純回答）



図表 1-26 エコドライブの認知度と実践有無（性別）



図表 1-27 エコドライブの認知度と実践有無（年齢別）



図表1-28 エコドライブの認知度と実践有無（性別、年齢別、居住地域別、職業別、家族構成別、居住形態別）

			(%)			
		件数	実知 実践 しており る	実知 実践 している が、 ない	知 ら な い	無 回 答
全体		1,197	30.3	27.8	36.9	4.9
性別	女性	661	23.6	27.1	45.1	4.2
	男性	528	39.2	28.6	26.7	5.5
年齢別	30歳未満	112	27.7	25.0	45.5	1.8
	30歳代	166	32.5	31.9	34.3	1.2
	40歳代	242	35.1	30.6	31.4	2.9
	50歳代	184	41.8	29.3	27.7	1.1
	60歳代	231	29.9	27.7	36.8	5.6
	70歳以上	250	18.4	22.4	46.8	12.4
居住 地域別	J R以南地域	110	29.1	19.1	48.2	3.6
	片山・岸部地域	182	29.7	28.0	36.8	5.5
	豊津・江坂・南吹田地域	190	27.4	28.9	38.4	5.3
	千里山・佐井寺地域	201	30.8	29.4	34.8	5.0
	山田・千里丘地域	272	37.5	24.3	34.9	3.3
千里NT・万博・阪大地域	231	25.5	33.8	33.8	6.9	
職業別	常時雇用者	376	40.4	28.5	29.3	1.9
	臨時雇用者	201	29.4	29.9	34.8	6.0
	派遣社員	16	25.0	25.0	50.0	-
	内職	1	-	-	100.0	-
	自営業主、自由業者	52	40.4	28.8	26.9	3.8
	家族従業者	9	33.3	11.1	55.6	-
	経営者、重役、役員	24	16.7	54.2	20.8	8.3
	学生	50	26.0	26.0	46.0	2.0
	専業主婦・主夫	229	22.7	27.1	46.3	3.9
無職	217	24.4	24.9	41.0	9.7	
家族 構成別	単身	164	19.5	31.1	42.7	6.7
	夫婦	340	35.3	24.4	34.1	6.2
	親子	602	31.4	29.6	35.7	3.3
	三世代以上	62	29.0	30.6	37.1	3.2
	その他	29	13.8	6.9	62.1	17.2
居住 形態別	持ち家（戸建て）	359	31.5	29.0	36.8	2.8
	持ち家（マンション）	429	34.3	28.7	32.2	4.9
	民間賃貸（戸建て）	14	57.1	7.1	28.6	7.1
	民間賃貸（マンション）	225	25.8	28.0	42.7	3.6
	公団・公社（賃貸）	57	21.1	36.8	33.3	8.8
	府営・市営（賃貸）	62	17.7	21.0	48.4	12.9
	社宅・寮	19	42.1	21.1	31.6	5.3
その他	8	25.0	25.0	50.0	-	

## 第2章 大型複雑ごみの電話申込み制による収集 及び雑がみの分別について

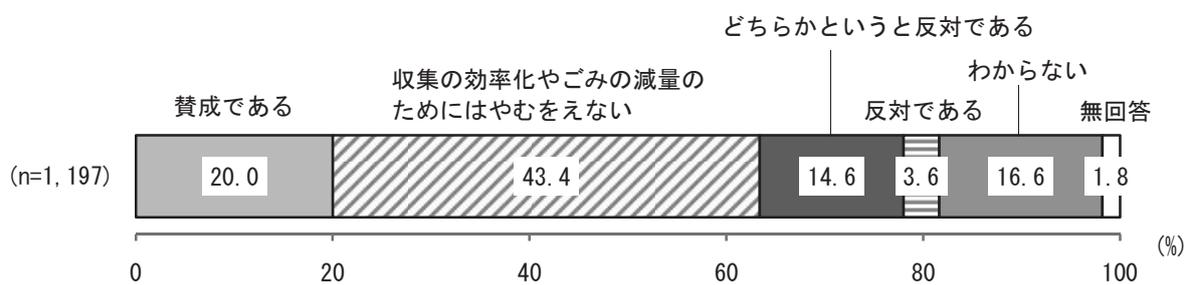


## 第2章 大型複雑ごみの電話申込み制による収集及び雑がみの分別について

### 1. 粗大ごみの電話申込み制の賛否（問18）

粗大ごみの電話申込み制による収集については、「収集の効率化やごみの減量のためにはやむをえない」が43.4%で最も多く、次いで「賛成である」が20.0%、「わからない」が16.6%となっている。

図表2-1 粗大ごみの電話申込み制の賛否（単純回答）



年齢別にみると、「収集の効率化やごみの減量のためにはやむをえない」は40歳代以上で4割台と高くなっている。

居住形態別にみると、「収集の効率化やごみの減量のためにはやむをえない」は「持ち家（戸建て）」「持ち家（マンション）」「民間賃貸（戸建て）」「民間賃貸（マンション）」「公団・公社（賃貸）」で4割以上となっている。

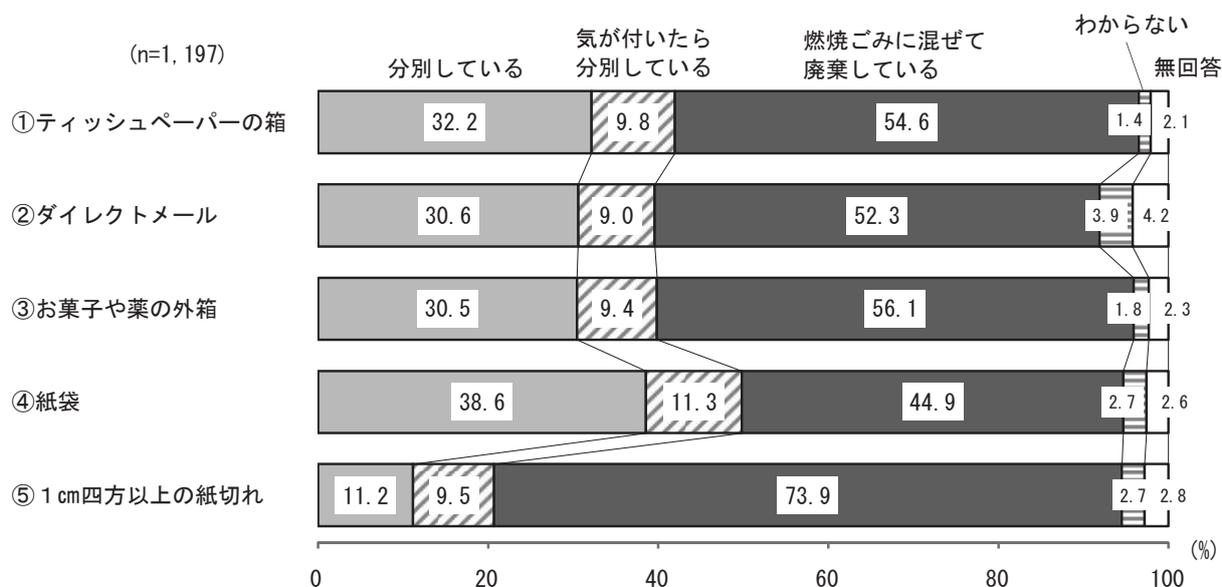
図表 2-2 粗大ごみの電話申込み制の賛否（性別、年齢別、居住地域別、居住形態別）

		件数	賛成である	はみ取 やの集 む減の を量効 えの率 な化や いめご	反ど 対ち であ らか とい うと	反対である	わからない	無回答
			(%)					
全体		1,197	20.0	43.4	14.6	3.6	16.6	1.8
性別	女性	661	18.5	45.7	15.3	3.0	16.2	1.4
	男性	528	22.0	40.7	13.8	4.4	17.0	2.1
年齢別	30歳未満	112	14.3	33.0	9.8	1.8	40.2	0.9
	30歳代	166	15.7	36.7	19.3	4.8	21.7	1.8
	40歳代	242	18.6	46.7	12.8	5.4	15.7	0.8
	50歳代	184	19.0	46.7	19.6	4.9	7.6	2.2
	60歳代	231	21.2	46.3	16.5	2.2	13.4	0.4
	70歳以上	250	26.4	44.8	10.0	2.4	12.8	3.6
居住地域別	J R以南地域	110	19.1	44.5	12.7	2.7	17.3	3.6
	片山・岸部地域	182	24.7	41.8	12.6	0.5	15.4	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	18.9	48.9	13.2	1.6	16.3	1.1
	千里山・佐井寺地域	201	15.9	45.8	18.9	4.5	13.4	1.5
	山田・千里丘地域	272	21.0	40.8	12.9	5.9	19.1	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	20.3	40.7	16.5	4.8	16.9	0.9
居住形態別	持ち家（戸建て）	359	18.1	44.8	15.0	3.3	16.7	1.9
	持ち家（マンション）	429	20.7	41.0	16.1	5.4	15.2	1.6
	民間賃貸（戸建て）	14	7.1	50.0	21.4	-	21.4	-
	民間賃貸（マンション）	225	21.8	47.1	13.8	0.9	14.7	1.8
	公団・公社（賃貸）	57	24.6	47.4	8.8	7.0	12.3	-
	府営・市営（賃貸）	62	17.7	37.1	12.9	1.6	29.0	1.6
	社宅・寮	19	31.6	36.8	15.8	5.3	10.5	-
	その他	8	25.0	50.0	-	-	25.0	-

## 2. 資源ごみとしての分別の有無（問19）

資源ごみとしての分別の有無については、いずれも「燃焼ゴミに混ぜて廃棄している」が最も多くなっている。「分別している」は「④紙袋」が38.6%で最も高く、「⑤1 cm四方以上の紙切れ」(11.2%)が最も低くなっている。

図表 2-3 資源ごみとしての分別の有無（単純回答）



性別にみると、「分別している」はいずれの項目も男性より女性のほうが高く、年齢別では、「70歳以上」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、「分別している」はいずれの項目も「千里NT・万博・阪大地域」が最も高くなっている。

図表 2 - 4 資源ごみとしての分別の有無（性別、年齢別、居住地域別）

①ティッシュペーパーの箱

		件数	分別している	し気が付いたら分別	廃棄して混ざっている	わからない	無回答
全体		1,197	32.2	9.8	54.6	1.4	2.1
性別	女性	661	34.8	10.7	52.3	0.5	1.7
	男性	528	29.2	8.5	57.2	2.7	2.5
年齢別	30歳未満	112	18.8	6.3	68.8	4.5	1.8
	30歳代	166	24.7	9.6	63.9	-	1.8
	40歳代	242	33.1	9.9	52.1	2.5	2.5
	50歳代	184	27.7	12.0	57.6	1.1	1.6
	60歳代	231	34.6	10.4	52.8	0.9	1.3
	70歳以上	250	43.6	8.8	44.0	0.8	2.8
居住地域別	J R以南地域	110	30.9	9.1	54.5	2.7	2.7
	片山・岸部地域	182	31.9	9.3	53.8	1.6	3.3
	豊津・江坂・南吹田地域	190	27.4	8.9	60.0	1.1	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	27.9	9.5	59.2	1.0	2.5
	山田・千里丘地域	272	34.9	9.2	54.4	0.7	0.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	38.5	10.8	47.2	1.7	1.7

②ダイレクトメール

		件数	分別している	し気が付いたら分別	廃棄して混ざっている	わからない	無回答
全体		1,197	30.6	9.0	52.3	3.9	4.2
性別	女性	661	33.6	10.0	50.2	2.7	3.5
	男性	528	27.3	8.0	54.5	5.5	4.7
年齢別	30歳未満	112	17.0	7.1	66.1	8.9	0.9
	30歳代	166	21.1	9.0	67.5	1.2	1.2
	40歳代	242	28.1	8.7	57.4	3.3	2.5
	50歳代	184	26.6	8.7	62.0	1.6	1.1
	60歳代	231	36.4	11.7	45.5	3.5	3.0
	70歳以上	250	44.0	8.0	30.0	6.0	12.0
居住地域別	J R以南地域	110	26.4	7.3	51.8	6.4	8.2
	片山・岸部地域	182	26.9	7.1	54.4	4.4	7.1
	豊津・江坂・南吹田地域	190	27.9	8.4	55.3	4.2	4.2
	千里山・佐井寺地域	201	29.4	8.5	54.7	4.0	3.5
	山田・千里丘地域	272	31.3	11.4	54.0	1.8	1.5
	千里NT・万博・阪大地域	231	39.0	9.1	43.7	4.8	3.5

③お菓子や菓の外箱

		件数	分別している	し気が付いたら分別	廃棄して混ざっている	わからない	無回答
全体		1,197	30.5	9.4	56.1	1.8	2.3
性別	女性	661	33.1	10.1	54.2	0.8	1.8
	男性	528	27.5	8.3	58.5	3.2	2.5
年齢別	30歳未満	112	14.3	8.9	71.4	4.5	0.9
	30歳代	166	22.9	10.2	64.5	1.2	1.2
	40歳代	242	32.2	9.5	52.9	3.3	2.1
	50歳代	184	26.1	10.9	60.9	1.1	1.1
	60歳代	231	37.2	8.2	51.9	1.3	1.3
	70歳以上	250	38.4	8.8	47.2	0.8	4.8
居住地域別	J R以南地域	110	32.7	3.6	55.5	3.6	4.5
	片山・岸部地域	182	29.1	10.4	53.8	1.6	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	25.3	10.0	61.1	1.1	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	33.3	9.0	54.2	1.5	2.0
	山田・千里丘地域	272	29.0	10.7	58.5	1.5	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	35.5	9.5	51.5	2.2	1.3

④紙袋

		件数	分別している	し気が付いたら分別	廃棄して混ざっている	わからない	無回答
全体		1,197	38.6	11.3	44.9	2.7	2.6
性別	女性	661	41.6	12.9	42.7	1.1	1.8
	男性	528	35.2	9.3	47.5	4.7	3.2
年齢別	30歳未満	112	25.9	9.8	55.4	8.0	0.9
	30歳代	166	27.1	10.8	59.0	1.8	1.2
	40歳代	242	42.1	9.9	42.6	3.3	2.1
	50歳代	184	33.7	10.9	52.7	1.6	1.1
	60歳代	231	43.3	14.3	39.4	1.7	1.3
	70歳以上	250	48.0	10.8	32.8	2.0	6.4
居住地域別	J R以南地域	110	42.7	5.5	43.6	3.6	4.5
	片山・岸部地域	182	33.5	11.0	47.3	3.3	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	33.7	14.7	46.8	2.1	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	37.8	10.0	48.3	1.5	2.5
	山田・千里丘地域	272	37.9	12.9	46.0	2.9	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	47.2	10.8	36.4	3.0	2.6

⑤1 cm四方以上の紙切れ

		件数	分別している	し気が付いたら分別	廃棄して混ざっている	わからない	無回答
全体		1,197	11.2	9.5	73.9	2.7	2.8
性別	女性	661	12.0	11.0	73.8	1.1	2.1
	男性	528	10.4	7.8	73.9	4.7	3.2
年齢別	30歳未満	112	3.6	9.8	78.6	7.1	0.9
	30歳代	166	9.0	9.6	78.3	1.2	1.8
	40歳代	242	9.9	9.5	74.0	3.7	2.9
	50歳代	184	9.2	8.7	79.3	1.6	1.1
	60歳代	231	13.0	8.2	74.5	1.7	2.6
	70歳以上	250	17.6	11.2	64.0	2.4	4.8
居住地域別	J R以南地域	110	10.9	12.7	68.2	1.8	6.4
	片山・岸部地域	182	11.5	7.7	72.5	3.3	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	11.6	10.5	73.2	1.6	3.2
	千里山・佐井寺地域	201	11.4	9.0	75.1	2.0	2.5
	山田・千里丘地域	272	8.1	9.6	78.3	3.3	0.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	14.7	9.1	71.4	3.0	1.7

### 第3章 窓口等での手続きの効率化について

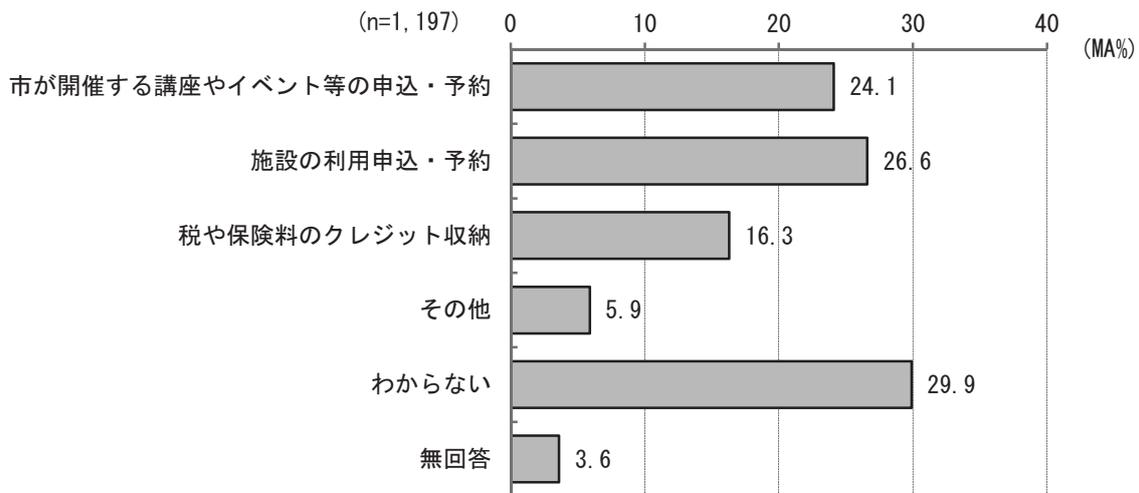


### 第3章 窓口等での手続きの効率化について

#### 1. インターネットできるとよい手続き（問20）

インターネットできるとよいと思う手続きは、「施設の利用申込・予約」が26.6%で最も多く、次いで「市が開催する講座やイベント等の申込・予約」が24.1%となっている。一方、「わからない」が29.9%と高い。

図表3-1 インターネットできるとよい手続き（単純回答）



年齢別にみると、「施設の利用申込・予約」は「30歳未満」が45.5%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「市が開催する講座やイベント等の申込・予約」は「千里山・佐井寺地域」が30.8%で最も高く、「施設の利用申込・予約」は「豊津・江坂・南吹田地域」が30.5%で最も高くなっている。

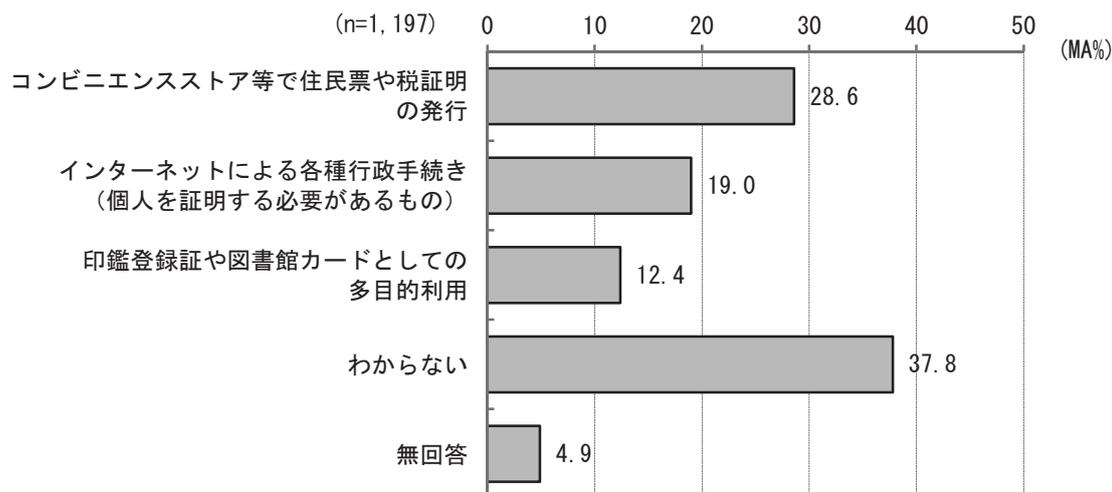
図表3-2 インターネットできるとよい手続き（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

		(%)						
		件数	市が ネット開 催する 申込講 座やイ	施設 の利用 申込・ 予約	税収 や保 険料 のク レジ ツ	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,197	24.1	26.6	16.3	5.9	29.9	3.6
性別	女性	661	26.5	25.0	16.3	6.4	30.4	3.0
	男性	528	21.2	29.0	16.5	5.1	29.2	4.2
年齢別	30歳未満	112	17.0	45.5	22.3	2.7	23.2	0.9
	30歳代	166	25.9	30.1	28.9	2.4	14.5	1.8
	40歳代	242	31.4	30.6	23.1	5.0	17.4	2.9
	50歳代	184	27.2	33.7	20.1	4.3	21.2	2.7
	60歳代	231	25.5	22.9	6.9	6.9	38.5	3.0
	70歳以上	250	14.8	10.4	5.2	10.4	54.0	7.6
居住 地域別	J R以南地域	110	23.6	17.3	13.6	5.5	36.4	5.5
	片山・岸部地域	182	23.1	26.4	15.4	4.4	30.2	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	21.6	30.5	13.7	7.9	31.6	3.2
	千里山・佐井寺地域	201	30.8	29.4	20.9	4.0	24.9	3.0
	山田・千里丘地域	272	23.2	26.8	20.2	6.3	27.6	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	231	22.1	26.0	11.7	6.9	32.0	5.6
職業別	常時雇用者	376	22.6	30.6	25.3	4.5	21.0	2.7
	臨時雇用者	201	29.9	29.4	16.9	2.0	24.9	4.0
	派遣社員	16	18.8	25.0	25.0	6.3	25.0	-
	内職	1	-	-	-	-	100.0	-
	自営業主、自由業者	52	17.3	36.5	17.3	7.7	26.9	3.8
	家族従業者	9	22.2	44.4	-	-	33.3	11.1
	経営者、重役、役員	24	33.3	25.0	8.3	20.8	16.7	4.2
	学生	50	14.0	50.0	22.0	4.0	20.0	-
	専業主婦・主夫	229	27.9	24.9	10.9	6.6	32.3	3.9
	無職	217	21.7	13.4	6.9	8.8	49.8	4.1

## 2. マイナンバーカードでできるとよい手続き（問21）

マイナンバーカードでできるとよい手続きは、「コンビニエンスストア等で住民票や税証明の発行」が28.6%で最も多く、次いで「インターネットによる各種行政手続き（個人を証明する必要があるもの）」が19.0%となっている。一方、「わからない」は37.8%と高い。

図表 3-3 マイナンバーカードでできるとよい手続き（単純回答）



年齢別にみると、「コンビニエンスストア等で住民票や税証明の発行」は若い年代ほど割合が高くなっている。

居住地域別にみると、「コンビニエンスストア等で住民票や税証明の発行」は「千里山・佐井寺地域」が34.8%で最も高くなっている。

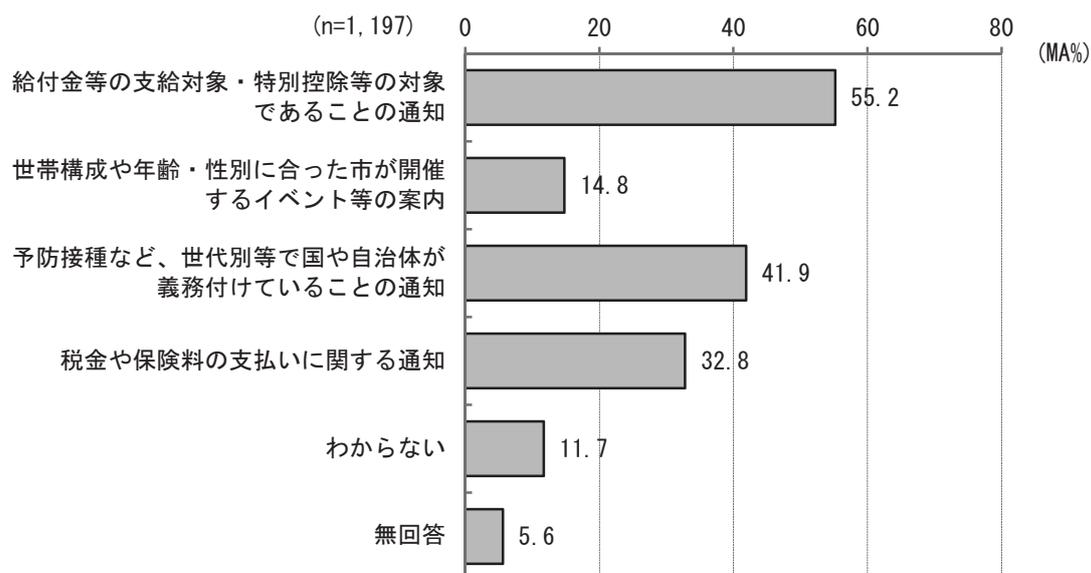
図表3-4 マイナンバーカードでできるとよい手続き（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

		件数	でコ 住 民 ビ 票 ニ エ ン ス ト ア 等	明種イ す行ン る政タ 必手ー 要続ネ がきッ あ ト る個に も人よ をる各 証各	ド印 と鑑 し登 て録 の証 多や 目図 的書 利館 用カ ー	わ か ら な い	(MA%) 無 回 答
全体		1,197	28.6	19.0	12.4	37.8	4.9
性別	女性	661	28.6	17.2	11.3	40.5	4.8
	男性	528	28.6	21.0	13.6	34.5	4.9
年齢別	30歳未満	112	36.6	21.4	18.8	27.7	0.9
	30歳代	166	35.5	25.3	10.2	26.5	3.0
	40歳代	242	30.2	26.0	8.3	32.6	5.0
	50歳代	184	29.9	30.4	12.0	31.0	1.6
	60歳代	231	26.4	10.8	12.6	48.1	4.8
	70歳以上	250	20.4	5.6	14.8	50.4	10.4
居住 地域別	J R以南地域	110	25.5	13.6	9.1	49.1	4.5
	片山・岸部地域	182	28.6	19.8	14.3	33.0	7.1
	豊津・江坂・南吹田地域	190	31.6	18.9	14.7	32.1	3.7
	千里山・佐井寺地域	201	34.8	15.4	12.4	34.8	5.0
	山田・千里丘地域	272	29.0	23.9	9.2	39.3	2.6
	千里NT・万博・阪大地域	231	20.8	18.6	14.7	41.1	7.4
職業別	常時雇用者	376	34.8	27.9	12.2	24.5	3.5
	臨時雇用者	201	27.4	18.9	9.5	41.3	4.0
	派遣社員	16	31.3	31.3	12.5	25.0	-
	内職	1	-	-	-	100.0	-
	自営業主、自由業者	52	26.9	21.2	21.2	40.4	1.9
	家族従業者	9	-	-	-	88.9	11.1
	経営者、重役、役員	24	33.3	29.2	4.2	25.0	8.3
	学生	50	30.0	22.0	20.0	32.0	-
	専業主婦・主夫	229	29.3	12.2	11.4	44.1	4.4
	無職	217	20.7	9.2	13.4	50.7	9.2

### 3. プッシュ型で提供してほしい情報（問22）

プッシュ型で提供してほしい情報については、「給付金等の支給対象・特別控除等の対象であることの通知」が55.2%で最も多く、次いで「予防接種など、世代別等で国や自治体が義務付けていることの通知」が41.9%、「税金や保険料の支払いに関する通知」が32.8%となっている。

図表 3-5 プッシュ型で提供してほしい情報（単純回答）



年齢別にみると、「給付金等の支給対象・特別控除等の対象であることの通知」は「40歳代」が最も高く、「世帯構成や年齢・性別に合った市が開催するイベント等の案内」と「予防接種など、世代別等で国や自治体が義務付けていることの通知」では「30歳代」が最も高くなっている。

家族構成別にみると、「給付金等の支給対象・特別控除等の対象であることの通知」と「予防接種など、世代別等で国や自治体が義務付けていることの通知」では「親子」が最も高くなっている。

図表 3-5 プッシュ型で提供してほしい情報（性別、年齢別、居住地域別、家族構成別、職業別）

		(2LA%)						
		件数	る特給 こ別付 との控 通除等 知の支 対給対 象象 あ・	イに世 ベ合帯 ント構 トた成 等市や のが年 案開齡 内催・ す性 る別	付等予 けで防 て国接 いるや種 こと自な 治体ど、 のが世 通義代 知務別	に税関 金や保 する険 通知料 の支 払い	わ から ない	無 回 答
全体		1,197	55.2	14.8	41.9	32.8	11.7	5.6
性別	女性	661	56.4	14.1	41.9	31.8	12.9	5.7
	男性	528	54.0	15.7	42.2	34.3	10.2	5.1
年齢別	30歳未満	112	53.6	12.5	43.8	34.8	17.0	0.9
	30歳代	166	61.4	19.3	59.0	22.9	5.4	2.4
	40歳代	242	67.4	16.1	44.2	33.1	8.3	3.3
	50歳代	184	60.3	12.0	41.8	39.7	8.2	3.8
	60歳代	231	52.8	16.0	35.1	34.6	13.9	6.1
	70歳以上	250	38.8	12.8	34.0	32.0	17.6	12.4
居住地域別	J R以南地域	110	49.1	13.6	30.0	38.2	16.4	6.4
	片山・岸部地域	182	57.1	14.3	41.8	31.3	12.6	6.6
	豊津・江坂・南吹田地域	190	62.1	14.7	44.7	31.6	10.5	3.2
	千里山・佐井寺地域	201	52.2	15.4	44.8	29.9	12.4	5.0
	山田・千里丘地域	272	55.5	16.2	41.9	34.6	12.1	4.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	51.9	13.9	44.2	31.6	9.1	8.2
家族構成別	単身	164	48.2	11.0	33.5	34.1	15.2	8.5
	夫婦	340	54.1	13.8	40.9	34.4	10.9	7.9
	親子	602	58.5	16.6	46.7	31.1	10.5	2.8
	三世代以上	62	51.6	12.9	32.3	33.9	17.7	11.3
	その他	29	48.3	13.8	24.1	41.4	13.8	6.9
職業別	常時雇用者	376	60.6	16.0	46.3	34.6	8.8	2.4
	臨時雇用者	201	57.2	15.9	42.8	31.3	10.9	3.0
	派遣社員	16	56.3	18.8	31.3	37.5	12.5	-
	内職	1	-	-	-	-	100.0	-
	自営業主、自由業者	52	59.6	19.2	40.4	34.6	7.7	3.8
	家族従業者	9	66.7	11.1	55.6	11.1	-	11.1
	経営者、重役、役員	24	50.0	8.3	41.7	37.5	8.3	16.7
	学生	50	48.0	8.0	36.0	40.0	24.0	-
	専業主婦・主夫	229	53.7	17.0	45.4	27.5	10.9	7.4
無職	217	47.5	11.5	34.1	35.9	16.1	10.1	

## 第4章 ITの利用状況について

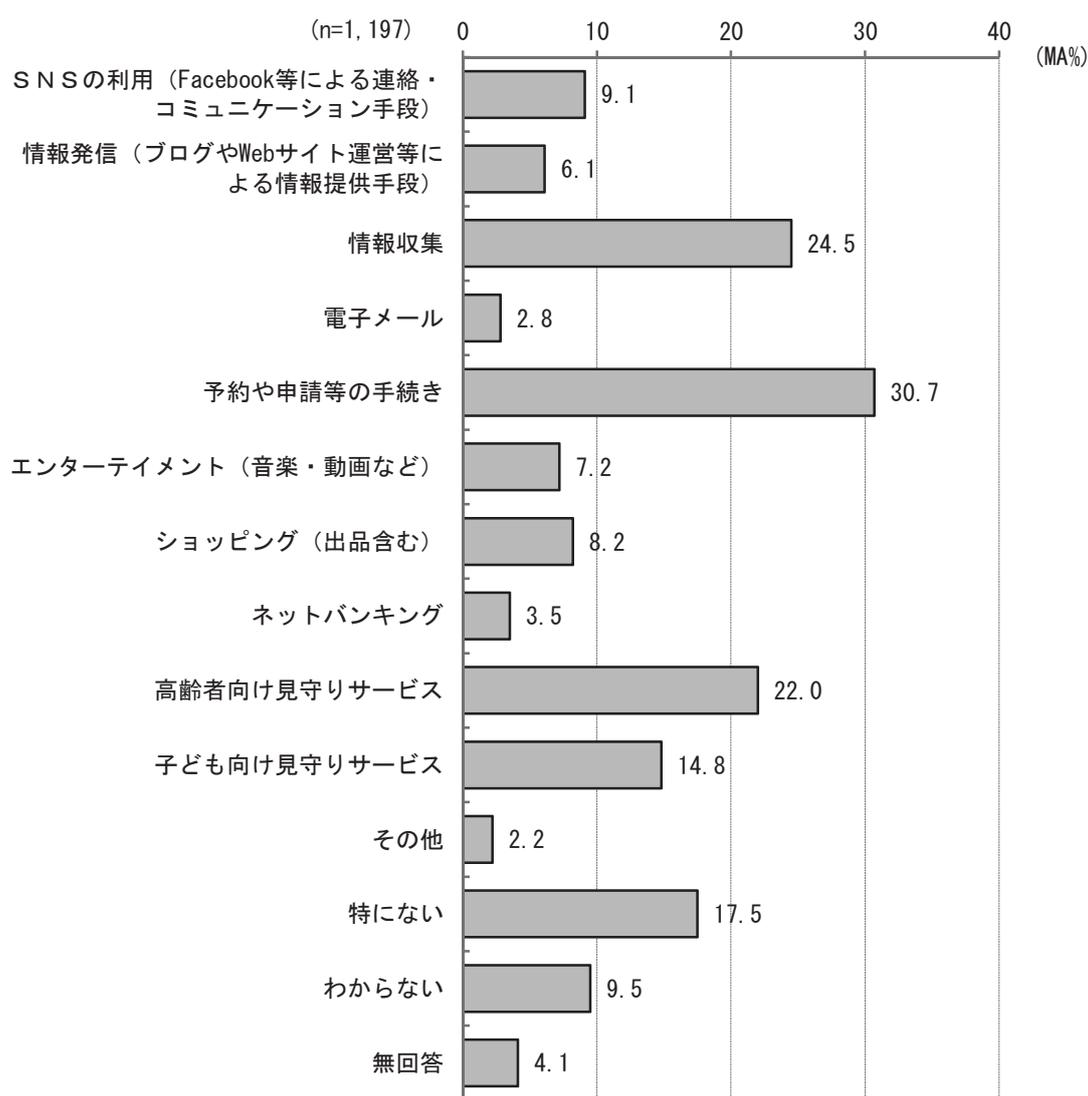


## 第4章 ITの利用状況について

### 1. インターネットのサービスで今後さらなる充実を望むこと(問23)

インターネットのサービスで今後さらなる充実を望むことについては、「予約や申請等の手続き」が30.7%で最も多く、次いで「情報収集」が24.5%、「高齢者向け見守りサービス」が22.0%となっている。

図表4-1 インターネットのサービスで今後さらなる充実を望むこと（単純回答）



年齢別にみると、「SNSの利用 (Facebook等による連絡・コミュニケーション手段)」と「エンターテイメント (音楽・動画など)」は「30歳未満」が2割台で最も高く、「情報収集」と「予約や申請等の手続き」は「50歳代」が最も高く、4割前後を占めている。また、「高齢者向け見守りサービス」は40歳代以上で2割台と高く、「子

ども向け見守りサービス」は「30歳代」と「40歳代」で3割台前後で高くなっている。

職業別にみると、「SNSの利用（Facebook等による連絡・コミュニケーション手段）」と「情報収集」「エンターテインメント（音楽・動画など）」は「学生」で最も高く、「ショッピング（出品含む）」と「高齢者向け見守りサービス」は「自営業主、自由業者」で最も高くなっている。

図表4-2 インターネットのサービスで今後さらなる充実を望むこと（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

		(2LA%)														
		件数	SNSの利用 （Facebook等による 連絡・コミュニケーション 手段）	情報発信 プログラムやWebサイト 運営等 による情報提供手段	情報 収集	電子 メール	予約 や申請 等の 手続き	エン ター テイ メント （音 楽・ 動 画 な ど）	シ ョ ッ ピ ン グ （出 品 含 む）	ネ ッ ト バ ン キ ン グ	高 齢 者 向 け 見 守 り サ ー ビ ス	子 ど も 向 け 見 守 り サ ー ビ ス	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,197	9.1	6.1	24.5	2.8	30.7	7.2	8.2	3.5	22.0	14.8	2.2	17.5	9.5	4.1
性別	女性	661	7.4	4.7	23.0	1.4	30.6	5.0	7.1	3.2	24.5	16.6	2.1	18.9	10.1	3.8
	男性	528	11.0	8.0	26.5	4.5	30.9	10.0	9.5	4.0	19.1	12.5	2.3	15.9	8.7	4.2
年齢別	30歳未満	112	24.1	6.3	32.1	1.8	35.7	22.3	14.3	6.3	11.6	9.8	1.8	10.7	2.7	0.9
	30歳代	166	12.0	7.8	24.1	1.8	38.0	10.8	15.1	3.0	10.8	34.9	1.8	12.7	3.6	1.2
	40歳代	242	10.3	5.8	31.8	2.5	37.2	6.2	12.4	5.4	21.5	25.6	1.7	13.6	4.1	0.8
	50歳代	184	12.0	10.9	36.4	1.6	41.8	6.5	6.0	4.3	26.1	8.7	0.5	18.5	1.6	-
	60歳代	231	3.5	3.9	22.1	3.0	27.7	6.1	3.9	3.0	28.6	7.8	3.5	23.4	13.0	4.8
	70歳以上	250	2.0	3.6	7.6	4.8	12.0	0.4	2.4	0.8	25.6	4.0	3.2	22.0	24.4	12.4
居住 地域別	J R以南地域	110	7.3	7.3	15.5	0.9	15.5	12.7	9.1	2.7	20.9	10.0	0.9	22.7	16.4	6.4
	片山・岸部地域	182	7.7	6.6	25.8	1.1	37.4	5.5	4.4	3.3	25.8	13.7	2.7	14.8	7.1	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	11.6	3.2	27.4	3.2	32.1	8.9	9.5	4.2	20.0	16.3	2.1	15.3	9.5	3.2
	千里山・佐井寺地域	201	10.0	6.5	24.9	2.5	36.3	6.5	7.0	5.5	23.9	18.4	2.5	15.9	7.5	3.0
	山田・千里丘地域	272	7.4	7.0	23.9	2.9	30.5	6.3	10.7	3.3	21.7	18.0	2.6	20.6	8.1	1.5
	千里NT・万博・阪大地域	231	10.4	6.1	25.5	4.3	26.8	5.6	8.2	2.2	19.5	10.0	1.7	16.9	12.1	7.4
家族 構成別	単身	164	12.8	4.9	26.2	3.0	28.0	10.4	6.1	3.0	20.1	7.9	1.2	18.3	9.8	5.5
	夫婦	340	5.9	5.6	21.2	3.2	27.1	4.4	7.1	3.2	25.9	5.6	2.9	20.3	12.6	7.4
	親子	602	10.5	6.8	26.7	2.3	34.2	8.3	9.8	3.5	20.1	20.9	1.8	16.8	6.5	1.3
	三世代以上	62	4.8	6.5	17.7	3.2	30.6	4.8	6.5	8.1	17.7	27.4	-	11.3	17.7	8.1
	その他	29	6.9	3.4	20.7	3.4	17.2	3.4	3.4	-	34.5	6.9	10.3	10.3	17.2	6.9
職業別	常時雇用者	376	11.4	7.4	31.4	1.6	40.2	9.6	12.2	4.8	19.1	19.4	2.1	12.8	2.9	1.3
	臨時雇用者	201	5.0	4.5	23.9	2.0	29.9	7.5	5.0	4.5	24.9	17.9	1.0	21.4	10.4	1.0
	派遣社員	16	18.8	6.3	31.3	-	43.8	6.3	12.5	-	25.0	6.3	-	12.5	6.3	-
	内職	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	自営業主、自由業者	52	7.7	7.7	23.1	5.8	36.5	13.5	15.4	1.9	28.8	15.4	1.9	13.5	7.7	-
	家族従業者	9	11.1	-	11.1	-	44.4	-	-	-	11.1	55.6	-	11.1	22.2	-
	経営者、重役、役員	24	20.8	8.3	12.5	8.3	25.0	-	-	8.3	25.0	4.2	4.2	20.8	8.3	4.2
	学生	50	34.0	4.0	32.0	2.0	36.0	28.0	14.0	6.0	12.0	4.0	2.0	14.0	-	-
	専業主婦・主夫	229	7.0	5.7	23.6	1.3	24.9	4.4	6.6	1.3	24.5	16.2	2.6	19.2	11.4	6.1
	無職	217	3.7	6.5	15.7	6.5	19.4	1.4	4.1	2.8	23.5	6.0	3.2	21.7	19.8	9.7

## 第5章 市の情報化を優先すべき分野について

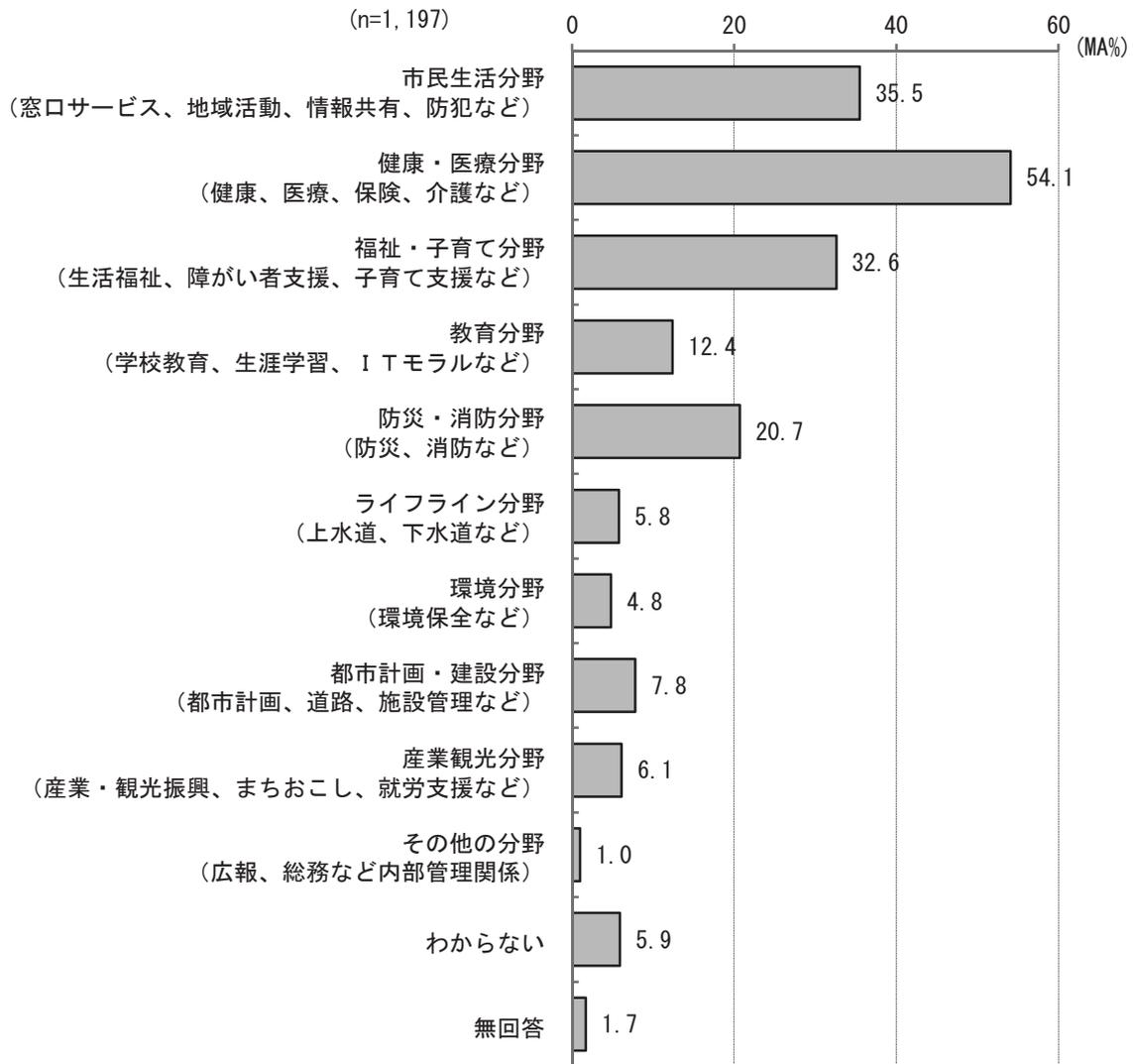


## 第5章 市の情報化を優先すべき分野について

### 1. 市役所業務で優先して進めるべき分野（問24）

市役所業務で優先して進めるべき分野については、「健康・医療分野（健康、医療、保険、介護など）」が54.1%で最も多く、次いで「市民生活分野（窓口サービス、地域活動、情報共有、防犯など）」が35.5%、「福祉・子育て分野（生活福祉、障がい者支援、子育て支援など）」が32.6%となっている。

図表5-1 市役所業務で優先して進めるべき分野（単純回答）



年齢別にみると、「健康・医療分野（健康、医療、保険、介護など）」は「70歳以上」（64.8%）で最も高く、40歳代以上で半数以上となっている。「福祉・子育て分野（生活福祉、障がい者支援、子育て支援など）」と「教育分野（学校教育、生涯学習、ITモラルなど）」では「30歳代」で最も高く、「市民生活分野（窓口サービス、地域活動、情報共有、防犯など）」や「防災・消防分野（防災、消防など）」「ライフライン分野（上水道、下水道など）」「都市計画・建設分野（都市計画、道路、施設管理など）」では50歳代で最も高くなっている。また、「産業観光分野（産業・観光振興、まちおこし、就労支援など）」は若い年代ほど高く、「30歳未満」が12.5%で最も高くなっている。

図表5-2 市役所業務で優先して進めるべき分野（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

		(2LA%)																				
		件数	情報共有、防犯など	市民生活分野、窓口活動	健康・医療、保険、介護	健康・医療分野、介護	生活福祉、障がい者支援など	福祉・子育て分野、学生	生涯学習、ITモラル	教育分野、学校教育	防災・消防など	ライフライン分野	水道、下水道など	環境分野、環境保全	都市計画・建設分野、道路、施設管理	都市計画・建設分野、道路、施設管理	観光振興、まちおこし、就労支援	産業観光分野、産業・観光振興	総務など内部管理、広報	その他の分野、広報	わからない	無回答
全体		1,197	35.5	54.1	32.6	12.4	20.7	5.8	4.8	7.8	6.1	1.0	5.9	1.7								
性別	女性	661	34.8	56.1	34.6	12.6	18.9	6.1	4.7	6.8	6.2	0.8	6.4	1.5								
	男性	528	36.6	51.5	30.3	12.5	22.9	5.5	4.9	8.9	6.1	1.3	5.5	1.5								
年齢別	30歳未満	112	31.3	39.3	39.3	12.5	20.5	5.4	5.4	7.1	12.5	2.7	10.7	-								
	30歳代	166	34.3	35.5	57.2	25.9	15.7	1.8	3.6	7.8	7.8	1.2	2.4	0.6								
	40歳代	242	33.5	50.0	37.2	20.2	19.0	5.8	2.5	8.3	6.2	1.2	4.5	0.4								
	50歳代	184	45.1	60.3	29.3	9.2	24.5	7.6	5.4	8.7	4.9	0.5	1.1	0.5								
	60歳代	231	38.5	61.9	23.4	6.1	20.3	6.9	5.6	6.9	6.5	1.3	8.2	2.2								
	70歳以上	250	30.8	64.8	20.4	4.8	23.2	6.0	6.4	7.2	2.8	-	9.2	4.0								
居住地域別	J R以南地域	110	38.2	52.7	23.6	9.1	23.6	7.3	4.5	10.0	10.0	-	5.5	0.9								
	片山・岸部地域	182	32.4	53.8	32.4	13.7	19.2	5.5	2.7	12.1	8.2	-	7.1	2.2								
	豊津・江坂・南吹田地域	190	33.7	56.3	33.2	11.1	22.1	7.9	6.3	5.3	8.4	0.5	5.3	1.6								
	千里山・佐井寺地域	201	39.8	47.8	34.3	18.9	18.9	6.0	6.0	7.0	4.0	1.5	6.0	-								
	山田・千里丘地域	272	33.1	55.9	36.4	10.7	20.6	5.5	4.4	9.6	4.8	0.4	5.5	1.5								
	千里NT・万博・阪大地域	231	36.4	55.8	31.2	11.3	22.1	3.5	5.2	3.5	4.3	3.0	6.1	3.5								
職業別	常時雇用者	376	37.2	49.5	41.2	14.1	21.5	3.2	4.0	10.6	6.4	1.1	2.7	0.8								
	臨時雇用者	201	37.3	52.7	29.9	17.4	18.4	6.5	4.0	7.0	7.5	1.0	7.0	1.0								
	派遣社員	16	31.3	68.8	31.3	-	25.0	6.3	-	-	6.3	-	12.5	-								
	内職	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-								
	自営業主、自由業者	52	42.3	55.8	42.3	9.6	11.5	7.7	7.7	5.8	11.5	-	-	-								
	家族従業者	9	44.4	33.3	44.4	22.2	22.2	11.1	-	-	11.1	-	11.1	-								
	経営者、重役、役員	24	45.8	58.3	12.5	12.5	33.3	12.5	4.2	8.3	-	-	4.2	-								
	学生	50	30.0	44.0	22.0	16.0	32.0	2.0	6.0	2.0	12.0	8.0	10.0	-								
	専業主婦・主夫	229	35.4	56.8	31.9	12.7	20.1	7.9	7.0	7.9	5.7	-	3.5	2.6								
	無職	217	30.4	61.3	24.9	6.0	19.4	7.4	4.1	6.5	2.8	0.5	13.4	2.8								

## 第6章 文化・芸術活動について

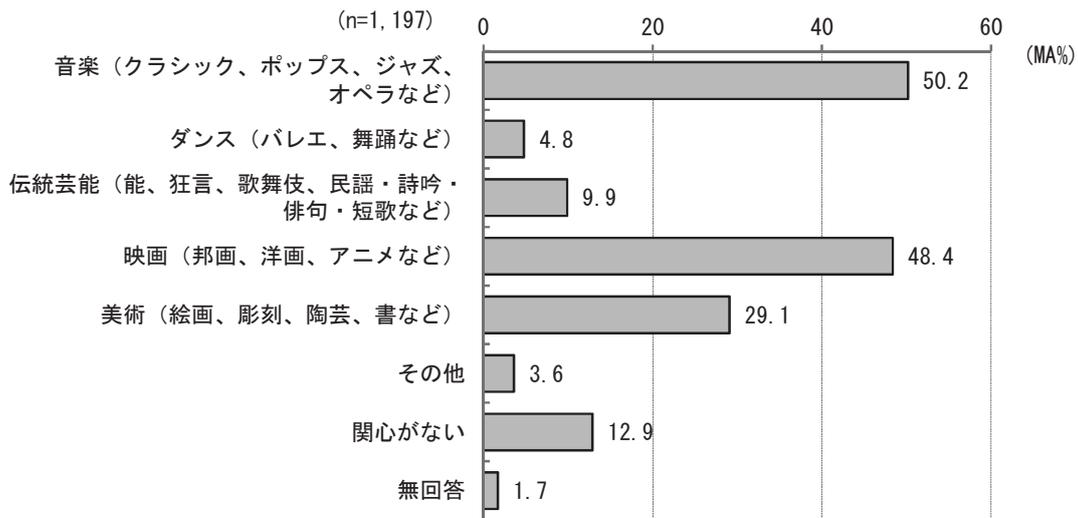


## 第6章 文化・芸術活動について

### 1. 関心のある芸術・文化の分野（問25）

関心のある芸術・文化の分野については、「音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、オペラなど）」が50.2%で最も多く、次いで「映画（邦画、洋画、アニメなど）」が48.4%、「美術（絵画、彫刻、陶芸、書など）」が29.1%となっている。

図表6-1 関心のある芸術・文化の分野（単純回答）



年齢別にみると、「音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、オペラなど）」は40歳代が62.8%で最も高く、「映画（邦画、洋画、アニメなど）」は50歳代までの年代で5割以上となっている。

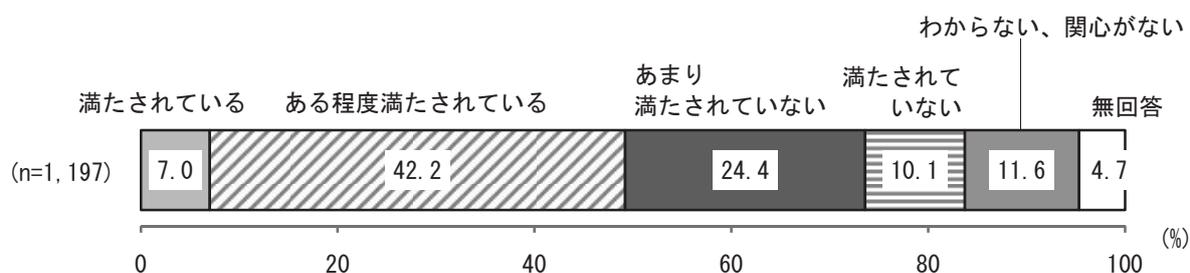
図表6-2 関心のある芸術・文化の分野（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、オペラなど）	ダンス（バレエ、舞踊など）	伝統芸能（能、狂言、歌舞伎、民謡・詩吟・俳句・短歌など）	映画（邦画、洋画、アニメなど）	美術（絵画、彫刻、陶芸、書など）	その他	関心がない	無回答
全体		1,197	50.2	4.8	9.9	48.4	29.1	3.6	12.9	1.7
性別	女性	661	51.1	6.2	11.0	46.3	32.5	3.5	10.9	2.0
	男性	528	48.9	3.0	8.1	51.1	25.2	3.8	15.5	0.9
年齢別	30歳未満	112	57.1	8.0	1.8	60.7	24.1	1.8	9.8	-
	30歳代	166	53.6	4.2	5.4	63.3	19.9	3.0	10.2	0.6
	40歳代	242	62.8	6.6	5.8	51.7	23.1	4.5	9.5	0.4
	50歳代	184	51.1	3.8	8.7	66.8	30.4	4.9	4.9	-
	60歳代	231	43.7	3.5	13.0	36.4	35.5	3.0	19.0	2.2
	70歳以上	250	37.6	3.2	18.0	28.0	37.2	3.6	20.0	4.4
居住地域別	JR以南地域	110	45.5	4.5	10.9	44.5	28.2	5.5	15.5	1.8
	片山・岸部地域	182	47.3	4.9	9.3	47.3	27.5	1.6	15.9	2.7
	豊津・江坂・南吹田地域	190	58.9	5.3	7.9	53.2	25.8	2.6	10.5	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	51.2	7.0	10.4	46.3	32.3	6.0	10.9	-
	山田・千里丘地域	272	49.3	2.9	10.3	46.7	30.5	2.6	13.6	0.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	48.5	4.3	10.4	51.1	29.0	3.9	12.1	2.6

## 2. 芸術・文化の満足度（問26）

芸術・文化の満足度については、「ある程度満たされている」が42.2%で最も多く、「満たされている」をあわせた『満たされている』割合は49.2%となっている。一方、『満たされていない』割合（「あまり満たされていない」と「満たされていない」をあわせた割合）は34.5%となっている。

図表 6－3 芸術・文化の満足度（単純回答）



年齢別にみると、『満たされている』割合は「30歳未満」が70.6%で最も高く、「70歳以上」が37.6%で最も低い。

居住地域別にみると、『満たされている』割合は「JR以南地域」が52.8%で最も多く、次いで「千里山・佐井寺地域」が51.3%となっている。

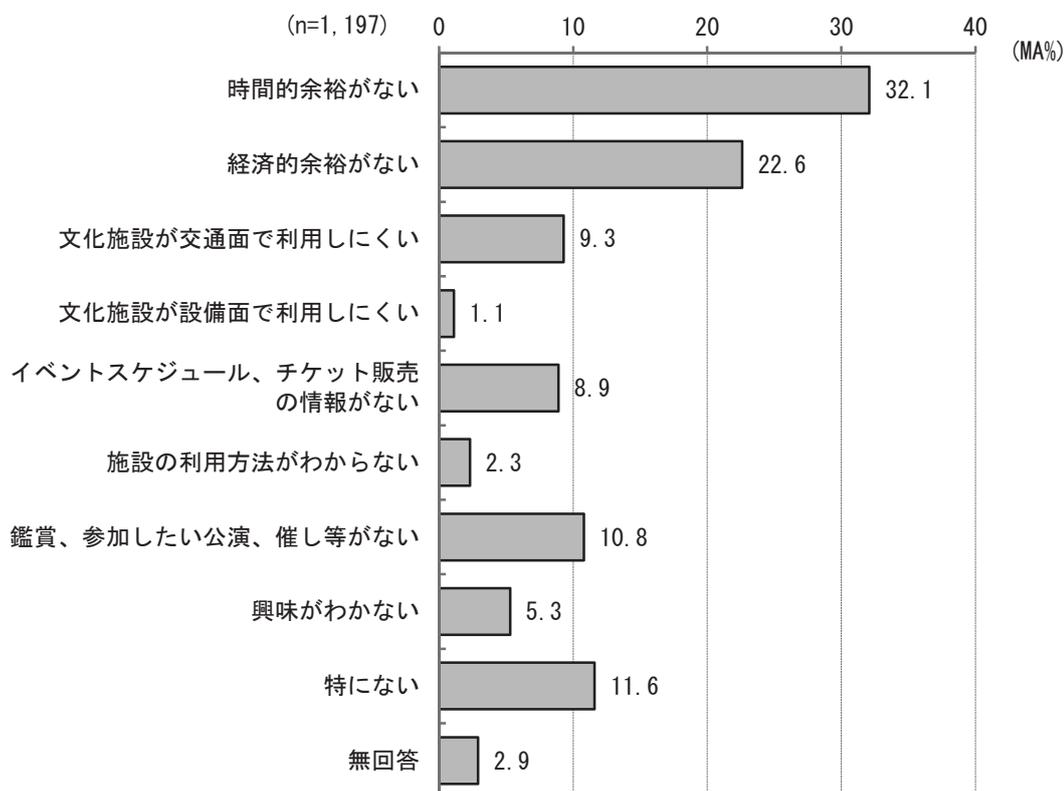
図表 6－4 芸術・文化の満足度（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	満たされている	ある程度満たされている	あまり満たされていない	満たされていない	わからない、関心がない	無回答
全体		1,197	7.0	42.2	24.4	10.1	11.6	4.7
性別	女性	661	7.1	42.5	25.4	10.1	10.9	3.9
	男性	528	6.8	42.0	23.3	10.2	12.3	5.3
年齢別	30歳未満	112	14.3	56.3	11.6	6.3	9.8	1.8
	30歳代	166	9.6	38.6	28.3	10.8	9.6	3.0
	40歳代	242	7.4	46.7	23.6	11.6	8.7	2.1
	50歳代	184	6.0	49.5	29.9	7.6	5.4	1.6
	60歳代	231	5.2	37.2	21.2	13.0	17.3	6.1
	70歳以上	250	4.0	33.6	27.6	9.2	15.6	10.0
居住地域別	JR以南地域	110	5.5	47.3	19.1	11.8	10.0	6.4
	片山・岸部地域	182	7.1	39.0	26.9	8.8	14.3	3.8
	豊津・江坂・南吹田地域	190	7.4	42.6	23.2	10.0	11.1	5.8
	千里山・佐井寺地域	201	7.0	44.3	28.9	8.0	9.0	3.0
	山田・千里丘地域	272	7.4	41.2	23.5	11.8	12.1	4.0
	千里NT・万博・阪大地域	231	7.4	40.7	23.4	10.4	12.1	6.1

### 3. 芸術・文化への関心を満たすうえで最も問題となること（問27）

芸術・文化への関心を満たすうえで最も問題となることについては、「時間的余裕がない」が32.1%で最も多く、次いで「経済的余裕がない」が22.6%となっている。

図表6-5 芸術・文化への関心を満たすうえで最も問題となること（単純回答）



年齢別にみると、「時間的余裕がない」は50歳代が50.0%で最も高く、「経済的余裕がない」は「30歳未満」が28.6%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「鑑賞、参加したい公演、催し等がない」は「千里山・佐井寺地域」が15.4%で最も高くなっている。

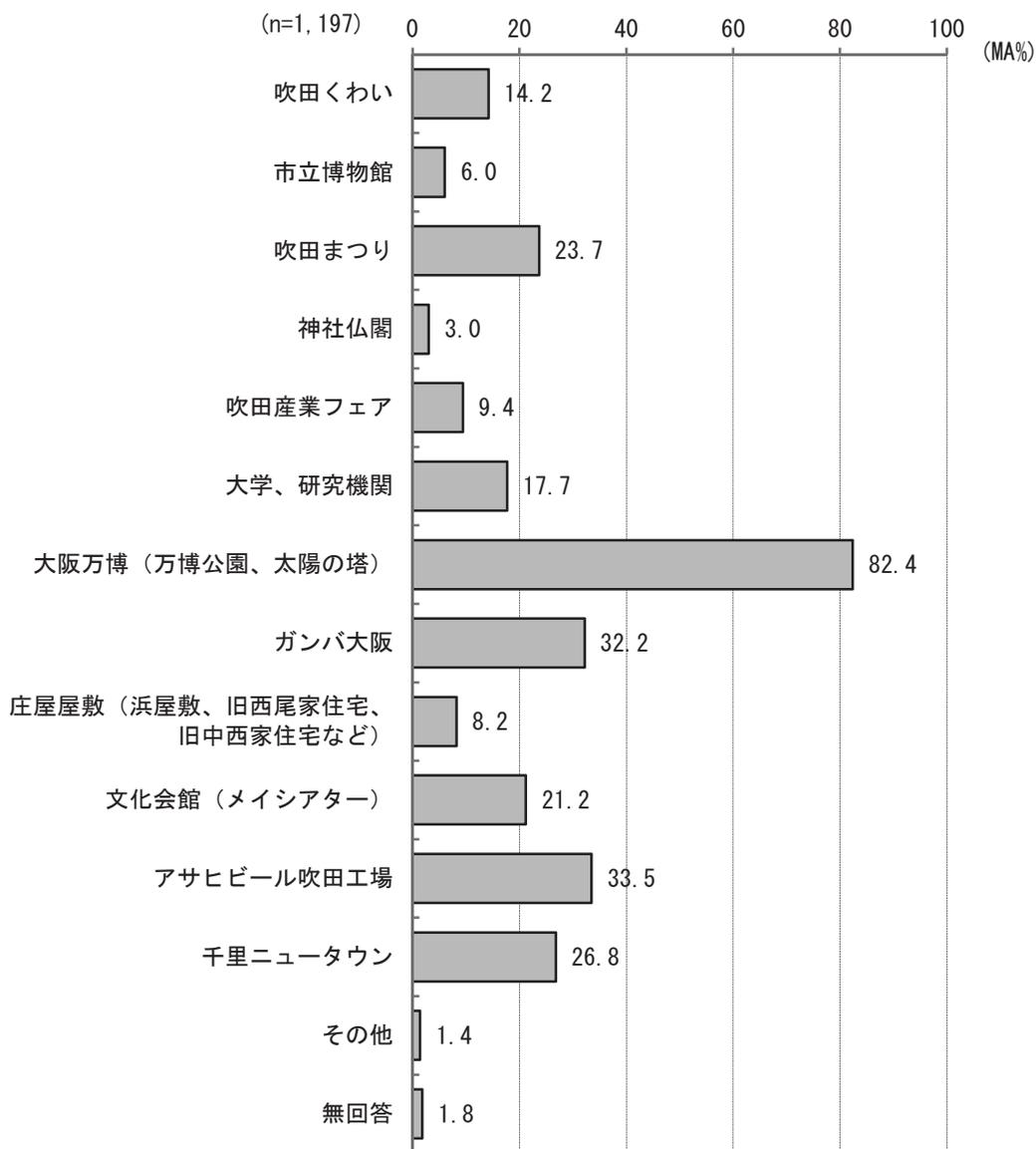
図表6-6 芸術・文化への関心を満たすうえで最も問題となること（性別、年齢別、居住地域別）

			時間的余裕がない	経済的余裕がない	に文化施設が交通面で利用しにくい	に文化施設が設備面で利用しにくい	イベント販売の情報がわからない	施設の使用方法がわからない	鑑賞、参加したい公演、催し等がない	興味がわからない	特になし	無回答
		件数										(MA%)
全体		1,197	32.1	22.6	9.3	1.1	8.9	2.3	10.8	5.3	11.6	2.9
性別	女性	661	31.8	25.0	10.7	0.9	8.0	2.0	11.6	3.0	12.3	1.8
	男性	528	33.0	19.5	7.6	1.3	10.0	2.8	9.8	7.6	10.8	4.0
年齢別	30歳未満	112	30.4	28.6	6.3	1.8	6.3	1.8	12.5	9.8	8.0	-
	30歳代	166	50.0	19.3	6.0	-	9.0	0.6	10.2	3.0	6.0	1.2
	40歳代	242	47.1	21.1	4.5	1.2	6.2	1.2	9.9	3.7	9.1	1.7
	50歳代	184	39.7	26.6	7.6	1.1	8.2	2.7	16.3	1.1	6.0	-
	60歳代	231	22.1	19.5	12.1	1.3	14.7	3.5	11.3	6.9	13.9	3.5
	70歳以上	250	10.4	23.2	16.4	1.2	7.6	3.6	7.2	6.8	21.6	7.6
居住地域別	J R以南地域	110	33.6	24.5	7.3	-	4.5	3.6	12.7	8.2	10.0	3.6
	片山・岸部地域	182	35.7	21.4	8.2	-	6.0	2.7	8.2	5.5	12.6	3.8
	豊津・江坂・南吹田地域	190	31.1	26.8	8.9	0.5	10.0	1.6	8.4	5.8	11.1	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	26.9	25.9	11.4	3.0	11.9	2.0	15.4	3.5	7.0	3.0
	山田・千里丘地域	272	32.7	22.1	11.0	0.7	9.2	2.2	9.2	4.8	13.2	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	231	34.2	16.5	7.8	1.3	9.5	2.6	10.8	5.2	13.9	4.3

#### 4. 「吹田の文化」としてイメージするもの（問28）

「吹田の文化」としてイメージするものについては、「大阪万博（万博公園、太陽の塔）」が最も多く、82.4%である。次いで「アサヒビール吹田工場」が33.5%、「ガンバ大阪」が32.2%となっている。

図表6-7 「吹田の文化」としてイメージするもの（単純回答）



年齢別にみると、「吹田産業フェア」や「庄屋屋敷（浜屋敷、旧西尾家住宅、旧中西家住宅など）」は高齢になるほど割合が高いが、「ガンバ大阪」や「アサヒビール吹田工場」は若い年代ほど高くなっている。

居住地域別にみると、「吹田くわい」「吹田まつり」「神社仏閣」「吹田産業フェア」「庄屋屋敷（浜屋敷、旧西尾家住宅、旧中西家住宅など）」は「JR以南地域」で最も高く、「大阪万博（万博公園、太陽の塔）」と「ガンバ大阪」は「山田・千里丘地域」で、「千里ニュータウン」は「千里NT・万博・阪大地域」で最も高くなっている。

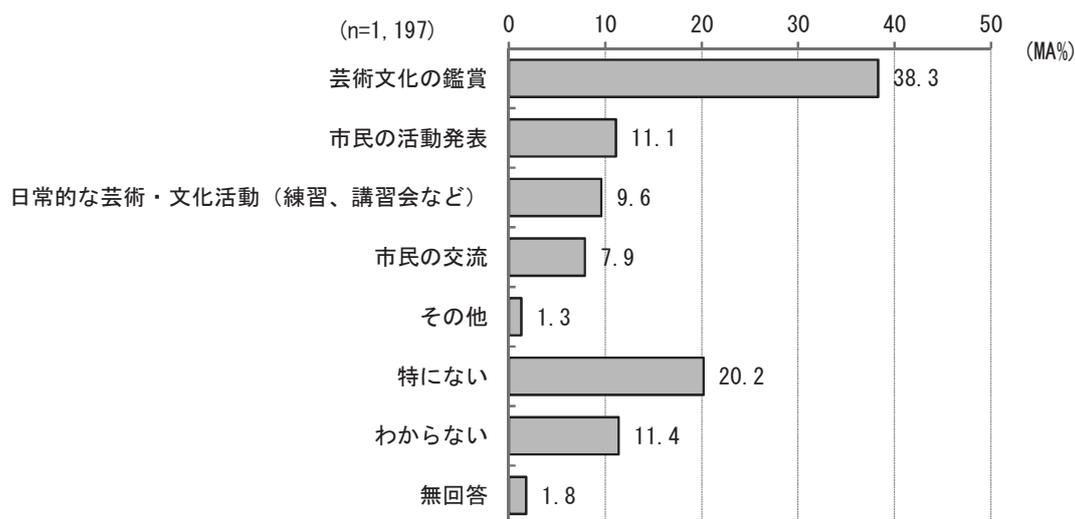
図表6-8 「吹田の文化」としてイメージするもの（性別、年齢別、居住地域別）

		(MA%)														
		件数	吹田くわい	市立博物館	吹田まつり	神社仏閣	吹田産業フェア	大学、研究機関	大阪万博 塔 万博公園、太陽の	ガンバ大阪	庄屋屋敷 （浜屋敷、旧西尾家住宅など）	文化会館 （タイシアター）	アサヒビール吹田工場	千里ニュータウン	その他	無回答
全体		1,197	14.2	6.0	23.7	3.0	9.4	17.7	82.4	32.2	8.2	21.2	33.5	26.8	1.4	1.8
性別	女性	661	16.6	5.1	27.1	2.3	10.1	16.9	84.7	32.5	8.6	23.8	35.4	27.7	1.1	1.2
	男性	528	11.0	6.8	19.7	4.0	8.5	18.6	79.9	32.0	7.6	17.8	31.3	26.1	1.9	2.3
年齢別	30歳未満	112	7.1	0.9	25.0	-	3.6	20.5	84.8	44.6	0.9	16.1	41.1	16.1	0.9	1.8
	30歳代	166	12.0	3.6	24.7	3.6	6.6	8.4	89.8	41.0	2.4	13.9	38.6	26.5	1.8	0.6
	40歳代	242	16.5	3.3	24.8	1.7	7.4	16.5	91.3	35.5	3.7	18.6	33.5	26.0	2.1	0.4
	50歳代	184	13.0	4.9	19.6	3.3	8.7	16.3	83.2	34.2	4.9	16.8	34.2	37.0	1.6	0.5
	60歳代	231	12.1	5.6	26.0	4.3	12.1	22.5	79.7	26.4	15.2	26.0	36.8	29.0	2.2	1.3
	70歳以上	250	18.8	12.8	22.8	4.0	14.0	20.4	70.4	21.6	15.6	29.2	23.2	23.6	-	4.8
居住地域別	JR以南地域	110	20.9	3.6	36.4	9.1	18.2	11.8	66.4	23.6	21.8	19.1	34.5	7.3	0.9	1.8
	片山・岸部地域	182	17.6	7.7	25.3	3.8	9.9	21.4	81.3	30.8	8.8	19.2	42.9	15.4	1.6	1.6
	豊津・江坂・南吹田地域	190	14.7	4.2	36.3	2.1	16.3	13.2	76.3	28.9	5.3	26.8	42.1	17.4	2.6	3.2
	千里山・佐井寺地域	201	12.4	8.0	22.4	3.5	5.0	17.4	84.6	34.8	5.5	22.4	33.8	29.4	1.0	1.5
	山田・千里丘地域	272	12.5	7.7	15.4	2.6	5.9	19.9	90.8	37.1	8.8	18.0	28.7	23.9	1.8	0.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	12.1	3.9	16.0	0.4	6.9	19.0	83.5	32.9	5.2	20.3	22.9	54.5	-	2.6

## 5. 文化会館に最も望む役割・機能（問29）

文化会館に最も望む役割・機能については、「芸術文化の鑑賞」が最も高く、38.3%である。次いで「市民の活動発表」が11.1%、「日常的な芸術・文化活動（練習、講習会など）」が9.6%となっている。また、「特にない」は20.2%、「わからない」は11.4%となっている。

図表 6 - 9 文化会館に最も望む役割・機能（単純回答）



年齢別にみると、「芸術文化の鑑賞」は「50歳代」が48.9%で最も高く、「市民の活動発表」は「30歳代」が15.7%となっている。

居住地域別にみると、「芸術文化の鑑賞」は「JR以南地域」が42.7%で最も高く、次いで「千里山・佐井寺地域」が40.3%となっている。

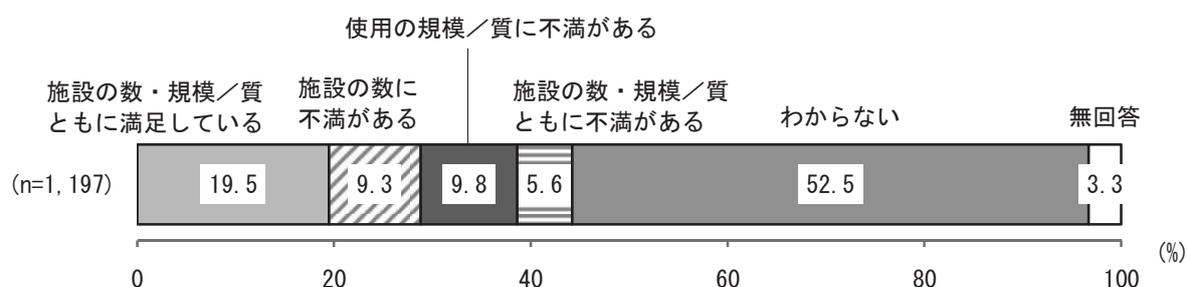
図表 6 - 10 文化会館に最も望む役割・機能（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	芸術文化の鑑賞	市民の活動発表	日常的な芸術・文化活動（練習、講習会など）	市民の交流	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1,197	38.3	11.1	9.6	7.9	1.3	20.2	11.4	1.8
性別	女性	661	40.7	12.6	10.3	6.8	0.8	18.3	12.3	0.6
	男性	528	35.4	9.3	8.9	9.1	1.7	22.7	10.4	2.8
年齢別	30歳未満	112	37.5	7.1	5.4	7.1	1.8	28.6	13.4	-
	30歳代	166	35.5	15.7	7.2	5.4	0.6	19.3	17.5	-
	40歳代	242	34.3	13.2	14.5	6.6	1.7	17.4	12.4	0.4
	50歳代	184	48.9	10.9	12.5	7.1	1.6	14.1	6.5	0.5
	60歳代	231	39.8	7.8	7.8	13.9	0.9	18.6	9.1	3.5
	70歳以上	250	34.8	11.2	8.0	6.0	0.8	26.4	11.6	3.6
居住地域別	JR以南地域	110	42.7	8.2	7.3	7.3	0.9	20.0	12.7	0.9
	片山・岸部地域	182	35.7	13.2	6.6	8.8	1.1	20.3	12.6	4.4
	豊津・江坂・南吹田地域	190	35.8	10.0	8.9	8.9	1.1	20.5	13.2	2.1
	千里山・佐井寺地域	201	40.3	10.4	13.4	7.5	3.5	17.4	9.0	0.5
	山田・千里丘地域	272	36.4	13.2	11.4	6.6	0.4	23.5	8.8	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	39.8	10.0	8.7	8.7	0.4	18.6	13.0	2.6

## 6. 吹田市内の文化施設の満足度（問30）

吹田市内の文化施設の満足度については、「わからない」が最も多く、52.5%である。次いで「施設の数・規模／質ともに満足している」が19.5%、「使用の規模／質に不満がある」が9.8%となっている。

図表 6 - 11 吹田市内の文化施設の満足度（単純回答）



年齢別にみると、「施設の数・規模／質ともに満足している」は「30歳未満」が26.8%で最も高く、「使用の規模／質に不満がある」「施設の数・規模／質ともに不満がある」とも「50歳代」が最も高くなっている。

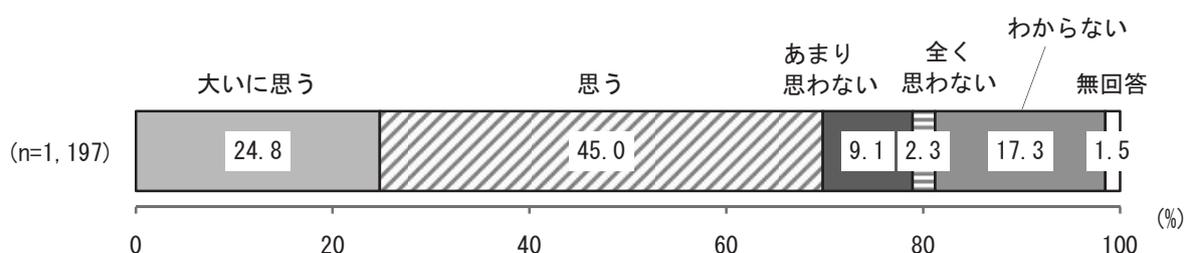
図表 6 - 12 吹田市内の文化施設の満足度（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	し／施設の数に満足	が施設の数に不満	に使用の規模／質	が／施設の数に不満	わからない	無回答
全体		1,197	19.5	9.3	9.8	5.6	52.5	3.3
性別	女性	661	19.4	8.3	9.7	4.8	54.6	3.2
	男性	528	19.5	10.6	9.7	6.6	50.2	3.4
年齢別	30歳未満	112	26.8	3.6	6.3	3.6	58.9	0.9
	30歳代	166	15.1	7.2	9.0	6.0	61.4	1.2
	40歳代	242	21.9	8.3	8.3	4.5	55.4	1.7
	50歳代	184	16.8	10.3	15.2	7.6	48.9	1.1
	60歳代	231	18.6	11.7	9.1	5.6	49.8	5.2
	70歳以上	250	19.2	11.6	9.6	5.6	46.8	7.2
居住地域別	J R以南地域	110	18.2	12.7	10.9	4.5	49.1	4.5
	片山・岸部地域	182	19.8	7.7	7.7	5.5	54.9	4.4
	豊津・江坂・南吹田地域	190	23.7	12.6	5.8	3.2	52.1	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	22.4	6.5	12.4	6.5	48.3	4.0
	山田・千里丘地域	272	17.3	9.2	9.9	7.4	54.8	1.5
	千里NT・万博・阪大地域	231	16.9	9.1	11.3	5.2	53.2	4.3

## 7. 文化振興・文化活動のための文化会館の必要性（問31）

文化会館（メイシアター）が文化振興・文化活動を行うために必要な施設だと思うかについては、「思う」が45.0%で最も多く、次いで「大いに思う」が24.8%で、両者をあわせた『必要な施設だと思う』は69.8%となっている。

図表 6-13 文化振興・文化活動のための文化会館の必要性（単純回答）



性別にみると、『必要な施設だと思う』は男性（65.5%）より女性（73.5%）のほうが8.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『必要な施設だと思う』は50歳代以上の年代で7割台と高い。

居住地域別にみると、『必要な施設だと思う』は「JR以南地域」が75.5%で最も高くなっている。

図表 6-14 文化振興・文化活動のための文化会館の必要性（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	大いに思う	思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答
全体		1,197	24.8	45.0	9.1	2.3	17.3	1.5
性別	女性	661	27.4	46.1	7.1	2.0	16.5	0.9
	男性	528	21.6	43.9	11.6	2.3	18.6	2.1
年齢別	30歳未満	112	25.0	33.0	11.6	5.4	25.0	-
	30歳代	166	18.1	43.4	7.8	0.6	30.1	-
	40歳代	242	25.6	43.0	10.3	3.3	16.9	0.8
	50歳代	184	25.5	52.7	10.9	2.7	8.2	-
	60歳代	231	22.9	49.4	9.5	1.7	13.4	3.0
	70歳以上	250	28.8	45.2	5.6	0.4	16.8	3.2
居住地域別	JR以南地域	110	26.4	49.1	10.9	2.7	10.9	-
	片山・岸部地域	182	24.7	45.6	9.3	1.1	15.9	3.3
	豊津・江坂・南吹田地域	190	23.7	43.2	10.5	2.6	17.4	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	30.3	40.3	11.9	1.5	14.9	1.0
	山田・千里丘地域	272	23.5	44.9	7.0	3.7	20.6	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	22.1	48.5	7.4	1.3	19.0	1.7



## 第7章 図書館利用について

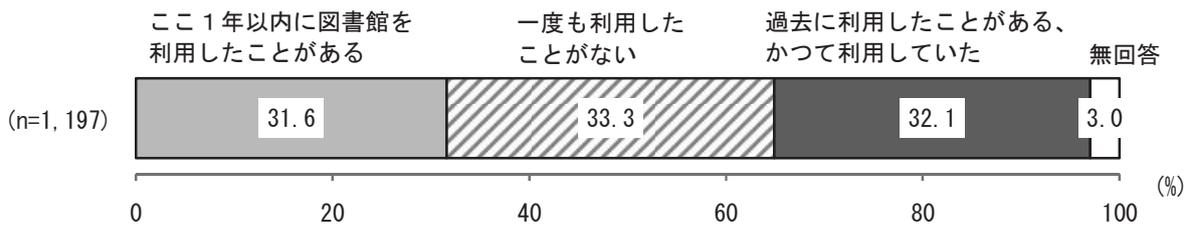


## 第7章 図書館利用について

### 1. 吹田市の図書館の利用状況（問32）

吹田市の図書館の利用状況については、「一度も利用したことがない」が33.3%で最も多いが、「過去に利用したことがある、かつて利用していた」が32.1%、「ここ1年以内に図書館を利用したことがある」が31.6%と拮抗している。

図表7-1 吹田市の図書館の利用状況（単純回答）



性別にみると、「ここ1年以内に図書館を利用したことがある」と「過去に利用したことがある、かつて利用していた」は、男性より女性のほうが割合が高くなっている。

年齢別にみると、「ここ1年以内に図書館を利用したことがある」は「20歳代」「30歳代」で4割台と高くなっている。一方、「一度も利用したことがない」は「70歳以上」が48.8%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「一度も利用したことがない」は「豊津・江坂・南吹田地域」が42.6%で最も高くなっている。

居住年数別にみると、「ここ1年以内に図書館を利用したことがある」は「1～5年未満」が44.7%で最も高くなっている。

職業別にみると、「一度も利用したことがない」は「経営者、重役、役員」が58.3%で最も高くなっている。

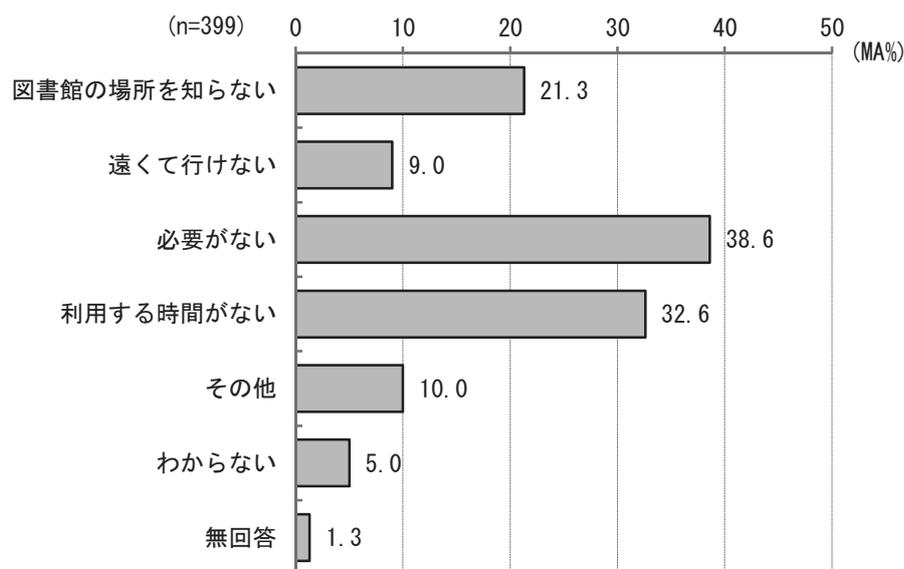
図表 7-2 吹田市の図書館の利用状況（性別、年齢別、居住地域別、居住年数別、職業別）

			(%)			
		件数	ここ 利用 した こと が	な い も 利 用 し た こ と が	い あ 過 た る に か 利 用 し た こ と が	無 回 答
全体		1,197	31.6	33.3	32.1	3.0
性別	女性	661	32.7	28.7	35.7	2.9
	男性	528	30.3	39.0	27.7	3.0
年齢別	30歳未満	112	22.3	34.8	42.9	-
	30歳代	166	43.4	30.1	23.5	3.0
	40歳代	242	46.3	18.2	33.5	2.1
	50歳代	184	26.6	30.4	41.8	1.1
	60歳代	231	27.3	36.8	31.2	4.8
	70歳以上	250	22.0	48.8	24.4	4.8
居住地域別	J R以南地域	110	20.9	32.7	42.7	3.6
	片山・岸部地域	182	29.7	31.9	33.5	4.9
	豊津・江坂・南吹田地域	190	20.5	42.6	34.7	2.1
	千里山・佐井寺地域	201	37.8	26.9	33.3	2.0
	山田・千里丘地域	272	35.3	34.9	27.6	2.2
千里NT・万博・阪大地域	231	38.5	30.7	26.8	3.9	
居住年数別	1年未満	38	28.9	65.8	2.6	2.6
	1～5年未満	150	44.7	42.7	10.0	2.7
	5～10年未満	107	32.7	32.7	29.0	5.6
	10～20年未満	211	38.9	27.5	31.8	1.9
	20～30年未満	182	27.5	26.4	45.6	0.5
	30～40年未満	203	33.0	27.1	36.5	3.4
	40～50年未満	178	26.4	28.7	42.1	2.8
50年以上	122	13.9	48.4	31.1	6.6	
職業別	常時雇用者	376	35.6	33.0	30.1	1.3
	臨時雇用者	201	31.3	26.4	39.3	3.0
	派遣社員	16	18.8	43.8	37.5	-
	内職	1	-	-	-	100.0
	自営業主、自由業者	52	36.5	26.9	34.6	1.9
	家族従業者	9	33.3	22.2	44.4	-
	経営者、重役、役員	24	16.7	58.3	20.8	4.2
	学生	50	26.0	30.0	44.0	-
	専業主婦・主夫	229	33.2	31.9	31.9	3.1
無職	217	27.6	39.6	27.6	5.1	

## 2. 一度も図書館を利用したことがない理由（問32-1）

吹田市の図書館を一度も利用したことがないと回答した人に、利用したことがない理由をたずねると、「必要がない」が38.6%で最も多く、次いで「利用する時間がない」が32.6%、「図書館の場所を知らない」が21.3%となっている。

図表7-3 一度も図書館を利用したことがない理由（単純回答）



年齢別にみると、「図書館の場所を知らない」は「30歳代」が32.0%で最も高い。「利用する時間がない」は「30歳代」「40歳代」が5割前後を占めている。

居住地域別にみると、「図書館の場所を知らない」は「豊津・江坂・南吹田地域」が27.2%で最も高く、「遠くて行けない」は「千里山・佐井寺地域」が13.0%で最も高い。

図表7-4 一度も図書館を利用したことがない理由（性別、年齢別、居住地域別、居住年数別、職業別）

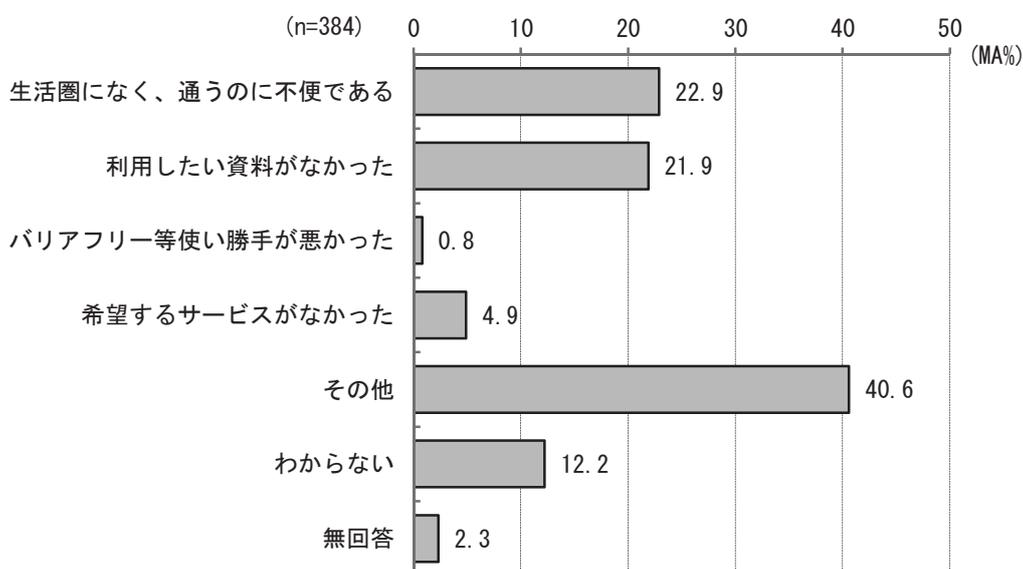
			(MA%)						
		件数	図書館の場所を知らない	遠くて行けない	必要がない	利用する時間がない	その他	わからない	無回答
全体		399	21.3	9.0	38.6	32.6	10.0	5.0	1.3
性別	女性	190	20.0	11.6	37.4	34.2	11.1	3.7	2.1
	男性	206	22.8	6.8	39.3	31.6	8.7	6.3	0.5
年齢別	30歳未満	39	28.2	7.7	35.9	25.6	17.9	-	-
	30歳代	50	32.0	10.0	18.0	50.0	10.0	2.0	2.0
	40歳代	44	13.6	6.8	40.9	45.5	2.3	2.3	-
	50歳代	56	19.6	10.7	39.3	33.9	8.9	5.4	-
	60歳代	85	27.1	10.6	35.3	38.8	8.2	4.7	1.2
	70歳以上	122	14.8	8.2	48.4	18.9	11.5	9.0	2.5
居住地域別	J R以南地域	36	13.9	5.6	36.1	36.1	11.1	5.6	-
	片山・岸部地域	58	24.1	12.1	37.9	41.4	5.2	5.2	1.7
	豊津・江坂・南吹田地域	81	27.2	3.7	42.0	28.4	13.6	1.2	2.5
	千里山・佐井寺地域	54	11.1	13.0	35.2	44.4	9.3	-	-
	山田・千里丘地域	95	22.1	11.6	37.9	30.5	7.4	8.4	-
	千里NT・万博・阪大地域	71	22.5	8.5	38.0	23.9	12.7	8.5	2.8
居住年数別	1年未満	25	36.0	-	40.0	28.0	16.0	-	-
	1～5年未満	64	35.9	10.9	31.3	32.8	9.4	1.6	1.6
	5～10年未満	35	25.7	11.4	22.9	40.0	14.3	2.9	-
	10～20年未満	58	15.5	12.1	36.2	43.1	6.9	3.4	-
	20～30年未満	48	16.7	10.4	41.7	31.3	6.3	4.2	2.1
	30～40年未満	55	18.2	7.3	30.9	29.1	9.1	12.7	1.8
	40～50年未満	51	17.6	9.8	45.1	41.2	3.9	7.8	2.0
	50年以上	59	13.6	6.8	54.2	18.6	16.9	5.1	1.7
職業別	常時雇用者	124	26.6	8.1	26.6	43.5	9.7	4.0	-
	臨時雇用者	53	24.5	7.5	35.8	41.5	7.5	3.8	3.8
	派遣社員	7	28.6	-	42.9	28.6	-	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主、自由業者	14	14.3	7.1	50.0	50.0	-	-	-
	家族従業者	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	経営者、重役、役員	14	28.6	-	64.3	21.4	7.1	-	-
	学生	15	13.3	13.3	40.0	20.0	20.0	-	-
	専業主婦・主夫	73	17.8	12.3	45.2	26.0	11.0	4.1	2.7
	無職	86	17.4	10.5	46.5	17.4	10.5	11.6	-

### 3. 現在、図書館を利用していない理由（問32-2）

図書館を過去に利用したことがある、かつて利用していたと回答した人に、現在利用していない理由をたずねると、「生活圏になく、通うのに不便である」が最も多く、22.9%である。次いで「利用したい資料がなかった」が21.9%となっている。

「その他」には、「時間がない」「子どもが大きくなった」「本を読まなくなった」「インターネットを利用するようになった」「図書館が古い、本が古い」「必要な本は買うようになった」などといった意見があげられている。

図表 7-5 現在、図書館を利用していない理由（単純回答）



年齢別にみると、「生活圏になく、通うのに不便である」は「30歳代」が33.3%で最も高く、「利用したい資料がなかった」は50歳代が29.9%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「生活圏になく、通うのに不便である」は「千里山・佐井寺地域」が37.3%で最も高くなっている。

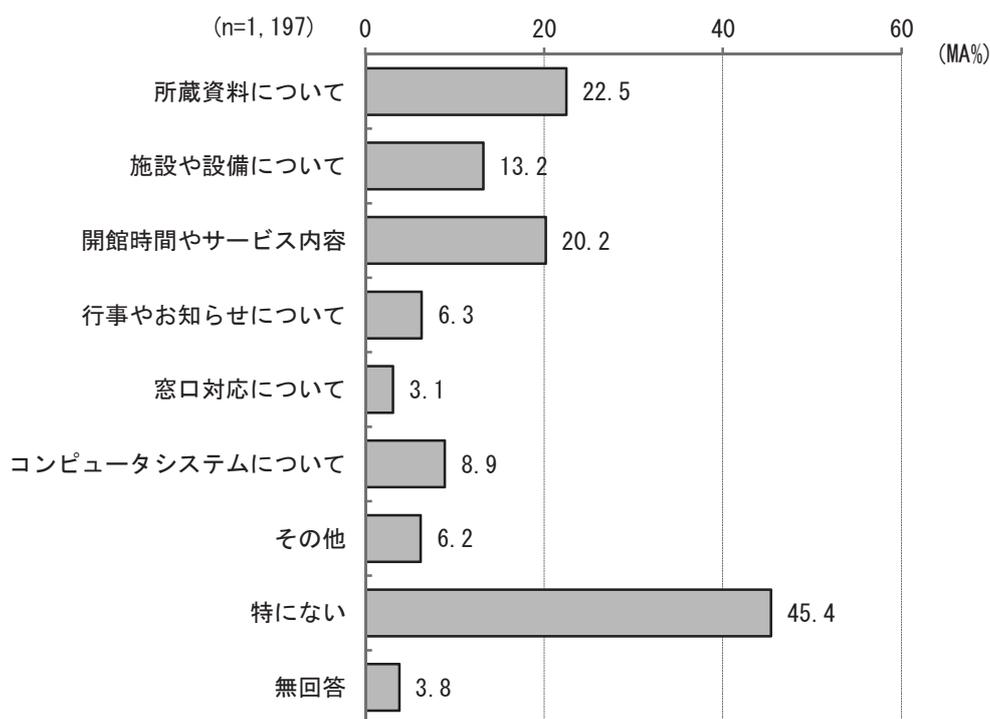
図表7-6 現在、図書館を利用していない理由（性別、年齢別、居住地域別、居住年数別、職業別）

			(MA%)						
		件数	に生活圏でなく、通うの	か利用したい資料がな	手バリアフリー等使い勝	か希望するサービスがな	その他	わからない	無回答
全体		384	22.9	21.9	0.8	4.9	40.6	12.2	2.3
性別	女性	236	23.3	21.6	0.4	3.0	41.9	12.7	2.1
	男性	146	21.9	22.6	1.4	8.2	38.4	11.6	2.7
年齢別	30歳未満	48	22.9	20.8	-	12.5	31.3	16.7	2.1
	30歳代	39	33.3	25.6	-	2.6	35.9	5.1	-
	40歳代	81	14.8	19.8	-	4.9	48.1	16.0	-
	50歳代	77	16.9	29.9	-	2.6	44.2	10.4	2.6
	60歳代	72	25.0	19.4	1.4	4.2	37.5	16.7	2.8
	70歳以上	61	31.1	14.8	3.3	3.3	39.3	6.6	6.6
居住地域別	J R以南地域	47	21.3	21.3	2.1	2.1	46.8	8.5	2.1
	片山・岸部地域	61	24.6	11.5	1.6	6.6	37.7	19.7	1.6
	豊津・江坂・南吹田地域	66	12.1	22.7	-	6.1	40.9	19.7	4.5
	千里山・佐井寺地域	67	37.3	19.4	-	4.5	40.3	6.0	1.5
	山田・千里丘地域	75	24.0	20.0	1.3	6.7	41.3	10.7	2.7
	千里NT・万博・阪大地域	62	17.7	33.9	-	3.2	38.7	9.7	1.6
居住年数別	1年未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	1～5年未満	15	40.0	33.3	-	6.7	26.7	-	-
	5～10年未満	31	19.4	29.0	-	6.5	38.7	6.5	3.2
	10～20年未満	67	26.9	20.9	1.5	7.5	38.8	9.0	1.5
	20～30年未満	83	21.7	26.5	-	2.4	41.0	12.0	1.2
	30～40年未満	74	14.9	21.6	-	4.1	43.2	23.0	-
	40～50年未満	75	22.7	17.3	-	5.3	46.7	13.3	2.7
	50年以上	38	28.9	13.2	5.3	5.3	34.2	5.3	10.5
職業別	常時雇用者	113	15.9	20.4	-	5.3	45.1	14.2	2.7
	臨時雇用者	79	13.9	25.3	-	5.1	41.8	19.0	-
	派遣社員	6	16.7	33.3	-	16.7	50.0	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主、自由業者	18	38.9	16.7	-	-	33.3	16.7	-
	家族従業者	4	-	-	-	-	75.0	25.0	-
	経営者、重役、役員	5	20.0	-	-	-	40.0	40.0	-
	学生	22	18.2	22.7	-	13.6	36.4	9.1	-
	専業主婦・主夫	73	35.6	24.7	-	1.4	39.7	4.1	2.7
	無職	60	31.7	20.0	5.0	6.7	33.3	8.3	5.0

#### 4. 図書館への要望（問33）

図書館への要望は、「特にない」が45.4%で最も多い。要望がある人では「所蔵資料について」が22.5%で最も多く、次いで「開館時間やサービス内容」が20.2%となっている。

図表 7-7 図書館への要望（単純回答）



年齢別にみると、「開館時間やサービス内容」は「40歳代」が30.6%で最も高くなっている。

居住地別にみると、「所蔵資料について」は「山田・千里丘地域」が26.5%で最も高くなっている。

図表 7-8 図書館への要望（性別、年齢別、居住地域別、居住年数別、職業別）

			所蔵資料について	施設や設備について	開館時間やサービス内	て行事やお知らせについて	窓口対応について	にコンピュータシステム	その他	特にない	無回答
		件数									(MA%)
全体		1,197	22.5	13.2	20.2	6.3	3.1	8.9	6.2	45.4	3.8
性別	女性	661	22.7	12.9	19.2	7.4	3.0	7.7	6.1	46.7	2.9
	男性	528	22.2	13.6	21.8	5.1	3.2	10.4	6.3	43.9	4.5
年齢別	30歳未満	112	25.0	17.0	24.1	3.6	0.9	9.8	5.4	38.4	0.9
	30歳代	166	22.3	15.1	19.3	6.6	3.6	10.8	10.8	42.2	3.0
	40歳代	242	27.7	16.1	30.6	4.5	4.5	13.2	9.1	37.6	1.2
	50歳代	184	25.5	16.3	28.3	6.5	3.3	9.8	2.2	40.8	0.5
	60歳代	231	19.5	10.4	13.9	6.9	1.7	6.5	3.9	52.4	6.5
	70歳以上	250	16.4	8.0	9.6	8.8	3.6	4.4	5.2	56.0	7.2
居住地域別	J R以南地域	110	20.0	5.5	10.9	6.4	1.8	5.5	7.3	52.7	2.7
	片山・岸部地域	182	15.9	12.1	20.3	6.6	4.4	11.5	4.4	50.0	5.5
	豊津・江坂・南吹田地域	190	23.2	11.6	18.9	7.9	3.2	7.9	4.7	46.8	5.3
	千里山・佐井寺地域	201	23.4	15.4	21.9	8.0	4.0	9.5	7.5	40.8	4.0
	山田・千里丘地域	272	26.5	11.8	21.0	7.0	2.9	10.7	5.9	46.0	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	231	22.5	18.6	24.2	2.6	2.2	6.9	7.8	40.3	4.8
居住年数別	1年未満	38	26.3	21.1	21.1	7.9	2.6	21.1	7.9	36.8	2.6
	1～5年未満	150	25.3	16.7	20.0	8.0	0.7	8.7	11.3	41.3	2.7
	5～10年未満	107	26.2	10.3	19.6	3.7	-	4.7	7.5	43.0	3.7
	10～20年未満	211	26.5	18.5	24.6	5.7	3.3	10.0	6.6	38.9	2.4
	20～30年未満	182	22.5	14.3	24.2	6.0	4.9	13.2	4.9	41.2	3.3
	30～40年未満	203	21.7	10.3	18.7	7.4	3.0	10.8	3.9	52.2	2.0
	40～50年未満	178	18.0	9.6	20.2	5.1	3.9	6.2	6.2	51.1	5.1
	50年以上	122	14.8	9.0	9.8	7.4	4.9	2.5	3.3	53.3	9.8
職業別	常時雇用者	376	22.3	14.4	28.7	5.3	3.5	12.0	8.2	40.7	2.1
	臨時雇用者	201	25.4	17.9	22.9	7.5	4.0	9.5	4.5	41.3	2.5
	派遣社員	16	31.3	6.3	31.3	-	12.5	6.3	6.3	43.8	-
	内職	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	自営業主、自由業者	52	28.8	9.6	26.9	1.9	5.8	13.5	5.8	40.4	7.7
	家族従業者	9	-	-	11.1	11.1	11.1	-	-	55.6	22.2
	経営者、重役、役員	24	12.5	8.3	20.8	4.2	-	4.2	-	45.8	20.8
	学生	50	28.0	22.0	24.0	-	-	8.0	6.0	38.0	-
	専業主婦・主夫	229	20.1	10.5	10.5	10.0	2.6	7.0	7.0	52.4	1.3
	無職	217	22.1	11.1	11.5	6.5	1.8	6.0	3.7	53.0	6.5

## 第8章 市民自治について

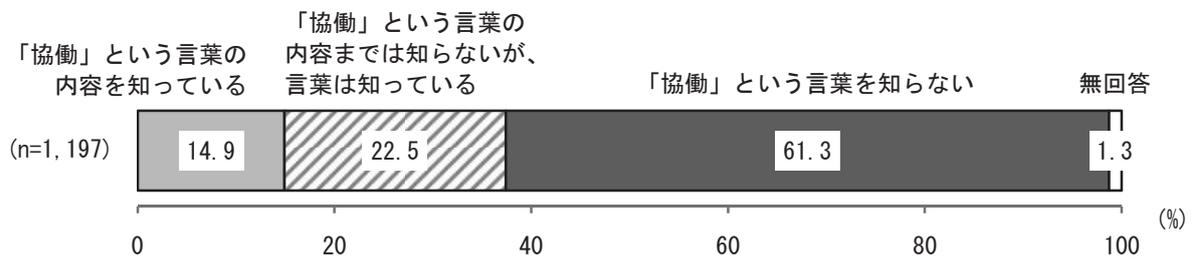


## 第8章 市民自治について

### 1. 「協働」という言葉の認知度（問34）

「協働」という言葉の認知度については、「協働」という言葉を知らない」が61.3%で最も多く、次いで「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている」が22.5%、「協働」という言葉の内容を知っている」が14.9%で、言葉の認知度（「協働」という言葉の内容を知っている」と「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている」をあわせた割合）は37.4%となっている。

図表8-1 「協働」という言葉の認知度（単純回答）



性別にみると、認知度は女性（34.0%）より男性（41.9%）のほうが7.9ポイント高い。

年齢別にみると、認知度は「70歳以上」が44.0%で最も高く、次いで「50歳代」が41.3%となっている。

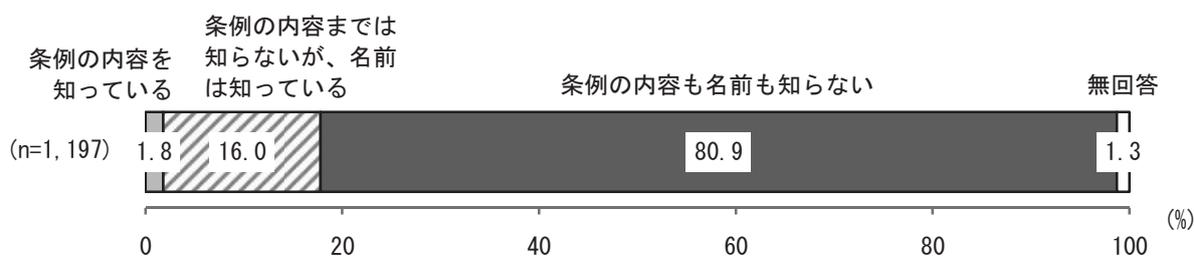
図表8-2 「協働」という言葉の認知度（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	内容「協働」という言葉を知っている (%)	内容「協働」という言葉までは知らないが、言葉は知っている (%)	「協働」という言葉を知らない (%)	無回答 (%)
全体		1,197	14.9	22.5	61.3	1.3
性別	女性	661	10.6	23.4	64.9	1.1
	男性	528	20.3	21.6	56.8	1.3
年齢別	30歳未満	112	12.5	24.1	63.4	-
	30歳代	166	13.3	16.3	70.5	-
	40歳代	242	19.4	14.9	65.3	0.4
	50歳代	184	18.5	22.8	58.7	-
	60歳代	231	12.1	24.7	61.0	2.2
	70歳以上	250	12.8	31.2	52.8	3.2
居住地域別	J R以南地域	110	7.3	22.7	69.1	0.9
	片山・岸部地域	182	15.9	21.4	59.3	3.3
	豊津・江坂・南吹田地域	190	13.7	24.2	60.0	2.1
	千里山・佐井寺地域	201	14.9	22.9	61.7	0.5
	山田・千里丘地域	272	17.3	19.1	63.2	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	16.5	24.7	57.6	1.3

## 2. 吹田市自治基本条例の認知度（問35）

吹田市自治基本条例の認知度については、「条例の内容も名前も知らない」が80.9%で最も多く、認知度（「条例の内容を知っている」と「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」をあわせた割合）は17.8%と低い。

図表 8 - 3 吹田市自治基本条例の認知度（単純回答）



年齢別にみると、認知度は高齢になるほど高くなり、「70歳以上」が33.2%で最も高い。

居住地域別にみると、「JR以南地域」が20.9%で最も高くなっている。

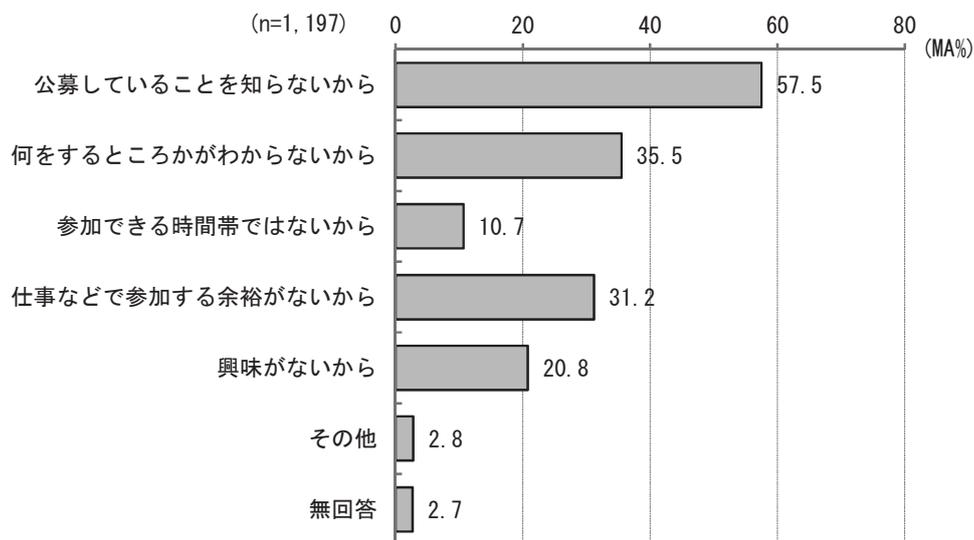
図表 8 - 4 吹田市自治基本条例の認知度（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	知っている 条例の内容を知って	知らないが、 内容、名前までは知	知らない 内容も名前も	無回答
全体		1,197	1.8	16.0	80.9	1.3
性別	女性	661	1.4	14.7	82.9	1.1
	男性	528	2.5	17.8	78.6	1.1
年齢別	30歳未満	112	-	8.0	92.0	-
	30歳代	166	0.6	8.4	91.0	-
	40歳代	242	2.1	11.2	86.4	0.4
	50歳代	184	2.7	14.7	82.1	0.5
	60歳代	231	1.7	16.5	79.2	2.6
	70歳以上	250	2.8	30.4	64.8	2.0
居住地域別	JR以南地域	110	0.9	20.0	77.3	1.8
	片山・岸部地域	182	1.1	14.3	81.3	3.3
	豊津・江坂・南吹田地域	190	2.6	16.3	79.5	1.6
	千里山・佐井寺地域	201	1.5	14.9	83.1	0.5
	山田・千里丘地域	272	2.2	15.1	82.0	0.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	2.2	16.9	80.5	0.4

### 3. 市民から審議会委員の応募が少ない理由（問36）

市民から審議会委員の応募が少ない理由については、「公募していることを知らないから」が最も多く、57.5%である。次いで「何をするとところかがわからないから」が35.5%、「仕事などで参加する余裕がないから」が31.2%となっている。

図表 8 - 5 市民から審議会委員の応募が少ない理由（単純回答）



年齢別にみると、「公募していることを知らないから」は若い年代ほど高くなっている。「何をするとところかがわからないから」は「60歳代」が41.1%で、「仕事などで参加する余裕がないから」は40歳代が43.4%で最も高くなっている。

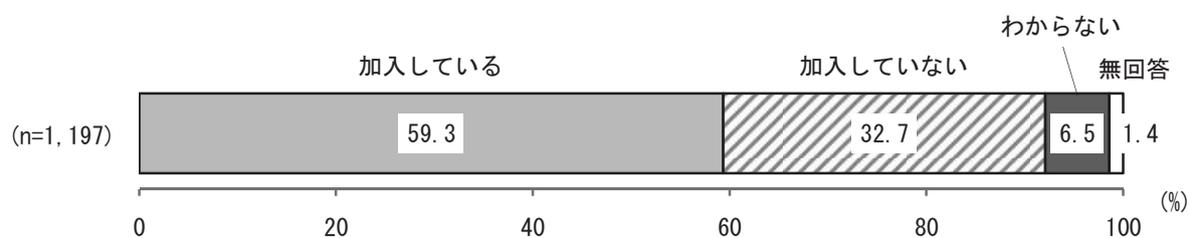
図表 8 - 6 市民から審議会委員の応募が少ない理由（性別、年齢別、居住地域別）

		件数	を公募 らして ない から こと	が何 を か す ら な い こ ろ か	で参 加 な い き か る 時 間 帯	る仕 余 事 な ど が な い 参 加 す	興 味 が な い か ら	そ の 他	無 回 答
全体		1,197	57.5	35.5	10.7	31.2	20.8	2.8	2.7
性別	女性	661	57.8	37.5	10.1	31.0	20.1	2.1	2.7
	男性	528	57.6	33.3	11.2	31.6	22.0	3.6	2.1
年齢別	30歳未満	112	65.2	32.1	8.9	36.6	20.5	-	-
	30歳代	166	64.5	39.2	6.6	33.7	22.3	3.0	0.6
	40歳代	242	61.2	33.5	10.7	43.4	19.0	0.8	0.4
	50歳代	184	60.3	33.7	13.0	40.2	19.0	1.6	-
	60歳代	231	56.3	41.1	13.9	23.8	19.0	2.6	3.0
	70歳以上	250	46.0	33.6	9.2	14.8	25.6	6.8	8.0
居住 地域別	J R以南地域	110	54.5	43.6	11.8	20.9	21.8	1.8	3.6
	片山・岸部地域	182	62.6	30.8	7.7	33.0	23.6	3.3	2.7
	豊津・江坂・南吹田地域	190	51.6	31.6	10.5	36.3	24.7	2.1	5.3
	千里山・佐井寺地域	201	59.2	37.3	11.9	38.8	17.4	2.5	2.0
	山田・千里丘地域	272	59.6	39.7	11.4	26.1	21.0	1.8	1.5
	千里NT・万博・阪大地域	231	55.8	30.7	10.4	30.7	18.2	5.2	2.2

#### 4. 自治会の加入有無（問37）

自治会の加入については、「加入している」が59.3%、「加入していない」が32.7%となっている。

図表 8 - 7 自治会の加入有無（単純回答）



年齢別にみると、年齢が高くなるほど加入している比率が高くなる傾向がみられる。

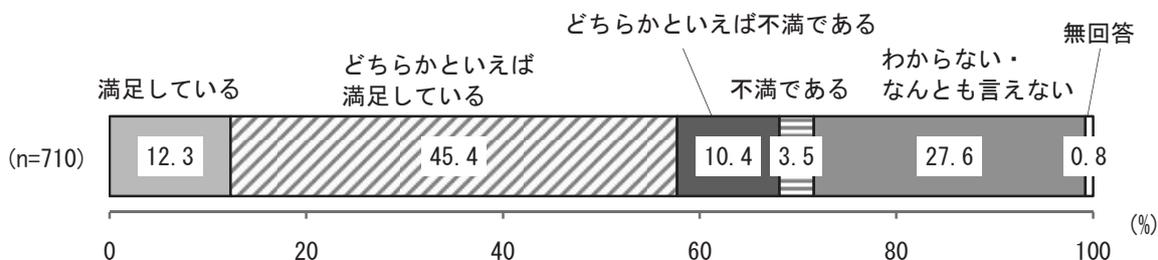
図表 8 - 8 自治会の加入有無（年齢別）

		件数	加入している (%)	加入していない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,197	59.3	32.7	6.5	1.4
年齢別	30歳未満	112	35.7	45.5	18.8	-
	30歳代	166	36.1	49.4	12.0	2.4
	40歳代	242	59.1	33.9	6.6	0.4
	50歳代	184	64.1	29.9	5.4	0.5
	60歳代	231	65.8	29.4	2.6	2.2
	70歳以上	250	76.4	20.4	1.6	1.6

## 5. 自治会活動への満足度（自治会加入者）（問37-1）

自治会の活動の満足度については、「どちらかといえば満足している」が最も多く、45.4%である。次いで「わからない・なんとも言えない」が27.6%となっている。

図表 8 - 9 自治会活動への満足度（単純回答）

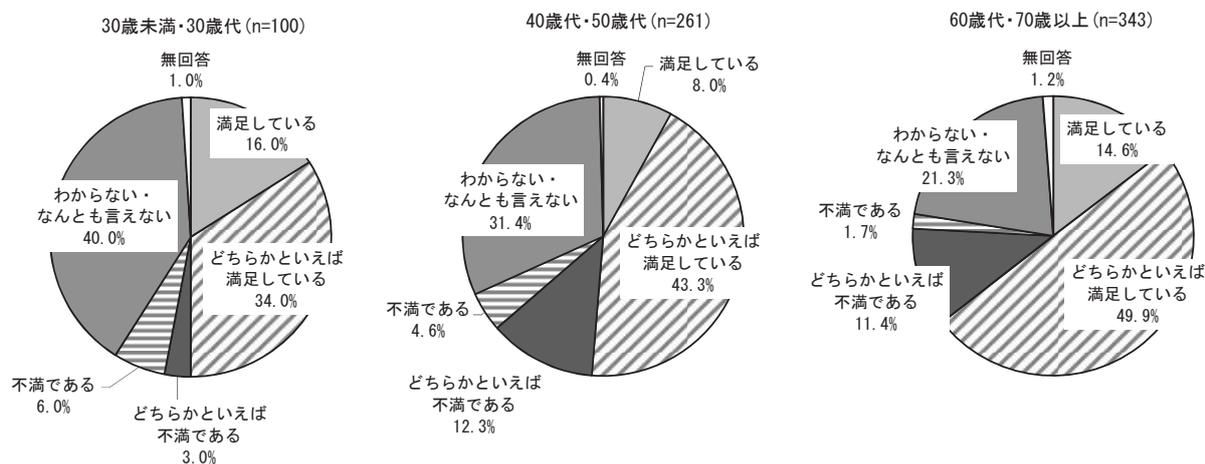


年齢別にみると、「満足している」は「30歳代」で最も高く、「どちらかといえば満足している」をあわせた『満足』の割合は「70歳以上」が69.1%で最も高くなっている。

図表 8 - 10 自治会活動への満足度（年齢別）

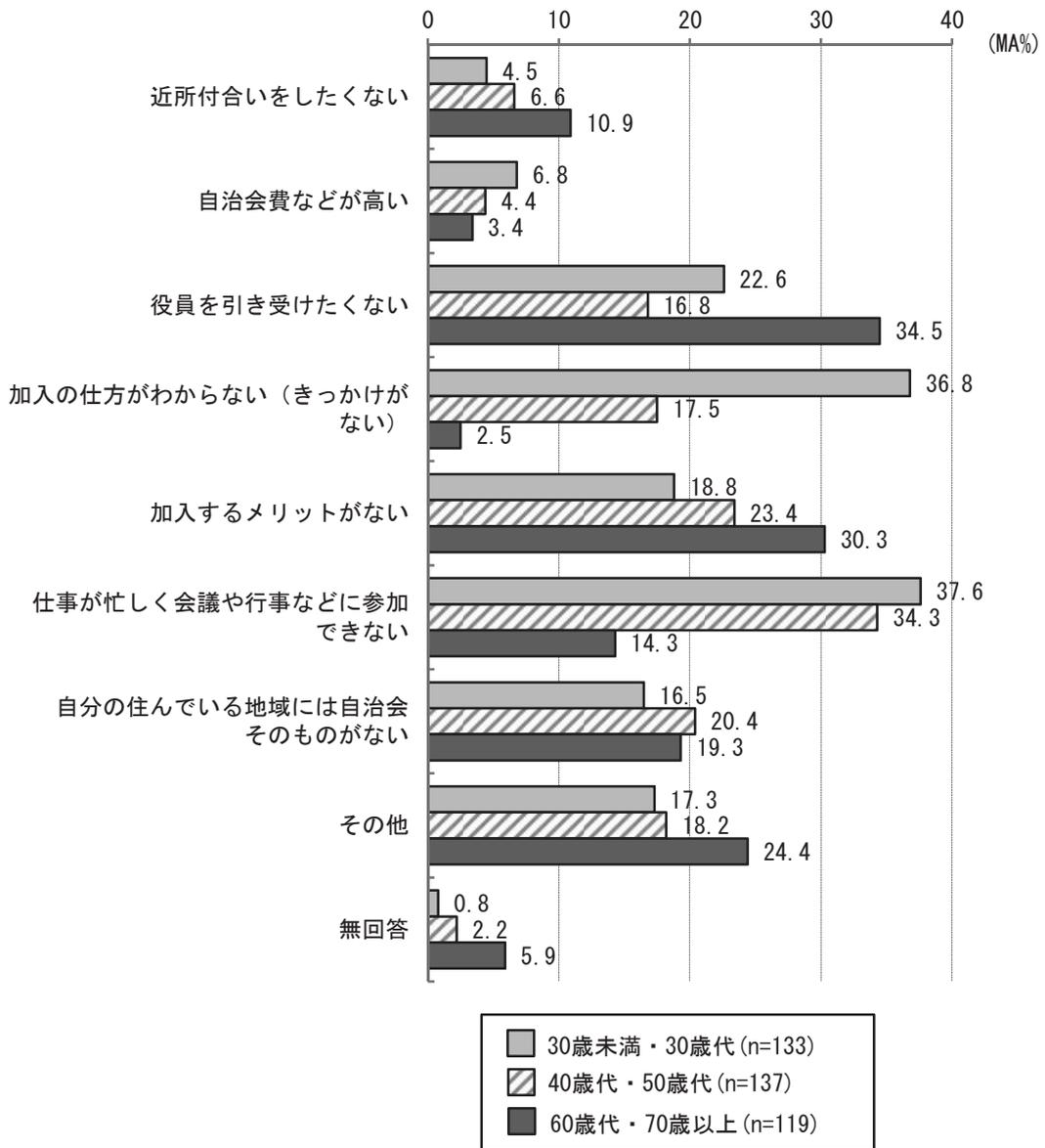
		件数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない・なんとも言えない	無回答
全体		710	12.3	45.4	10.4	3.5	27.6	0.8
年齢別	30歳未満	40	7.5	25.0	5.0	7.5	52.5	2.5
	30歳代	60	21.7	40.0	1.7	5.0	31.7	-
	40歳代	143	10.5	42.7	12.6	5.6	28.0	0.7
	50歳代	118	5.1	44.1	11.9	3.4	35.6	-
	60歳代	152	10.5	48.0	12.5	1.3	27.0	0.7
	70歳以上	191	17.8	51.3	10.5	2.1	16.8	1.6

図表 8 - 11 自治会活動への満足度（年齢別）





図表 8-14 自治会未加入の理由（年齢別）

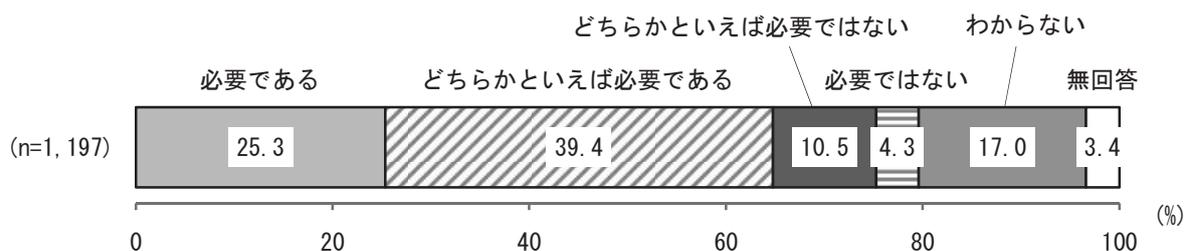


## 7. 自治会の必要性（問38）

自治会の必要性については、「必要である」（25.3%）と「どちらかといえば必要である」（39.4%）をあわせた『必要である』割合は64.7%となっている。

自治会に加入していると答えた人が59.3%であることを考えると、自治会に加入している人以上に自治会が必要だと感じている人の方が多いことになる。

図表 8-15 自治会の必要性（単純回答）



年齢別にみると、年齢が高いほど自治会が「必要である」と感じている傾向がある。

図表 8-16 自治会の必要性（年齢別）

		（%）						
		必要である	どちらかといえば必要である	どちらかといえば必要ではない	必要ではない	わからない	無回答	
		件数						
全体		1,197	25.3	39.4	10.5	4.3	17.0	3.4
年齢別	30歳未満	112	13.4	39.3	9.8	8.0	29.5	-
	30歳代	166	18.1	38.0	10.2	0.6	31.3	1.8
	40歳代	242	20.2	41.7	14.0	5.0	17.4	1.7
	50歳代	184	26.1	45.1	10.9	6.0	9.2	2.7
	60歳代	231	26.8	39.4	10.4	3.9	15.2	4.3
	70歳以上	250	38.8	35.6	7.6	2.4	9.2	6.4

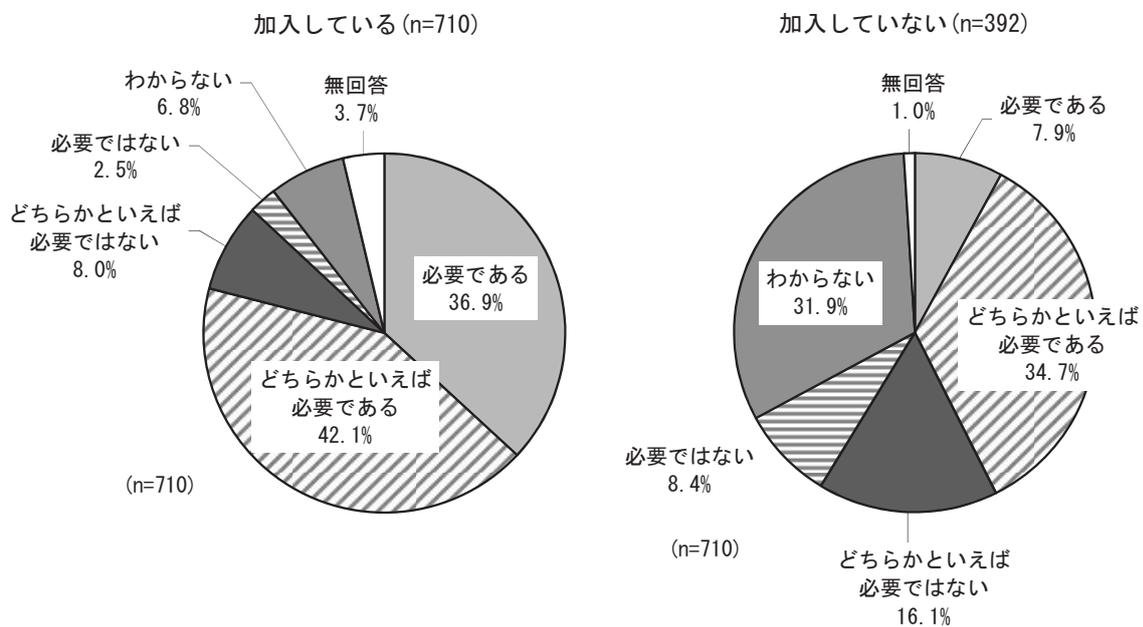
自治会の必要性を自治会加入別にみると、自治会加入者のうち自治会が『必要である』と答えた人が79.0%いる一方で、自治会加入者のうち「どちらかといえば必要ではない」と「必要ではない」をあわせた『必要ではない』が10.5%いる。

また、自治会未加入者のうち自治会が『必要ではない』と答えた人が23.5%おり、『必要である』と答えた人が52.8%となっている。

図表 8-17 自治会の必要性（自治会加入別）

		件数	必要である	どちらかといえば必要である	どちらかといえば必要ではない	必要ではない	わからない	無回答
全体		1,197	25.3	39.4	10.5	4.3	17.0	3.4
自治会加入別	加入している	710	36.9	42.1	8.0	2.5	6.8	3.7
	加入していない	392	7.9	34.7	16.1	8.4	31.9	1.0
	わからない	78	12.8	41.0	7.7	1.3	35.9	1.3

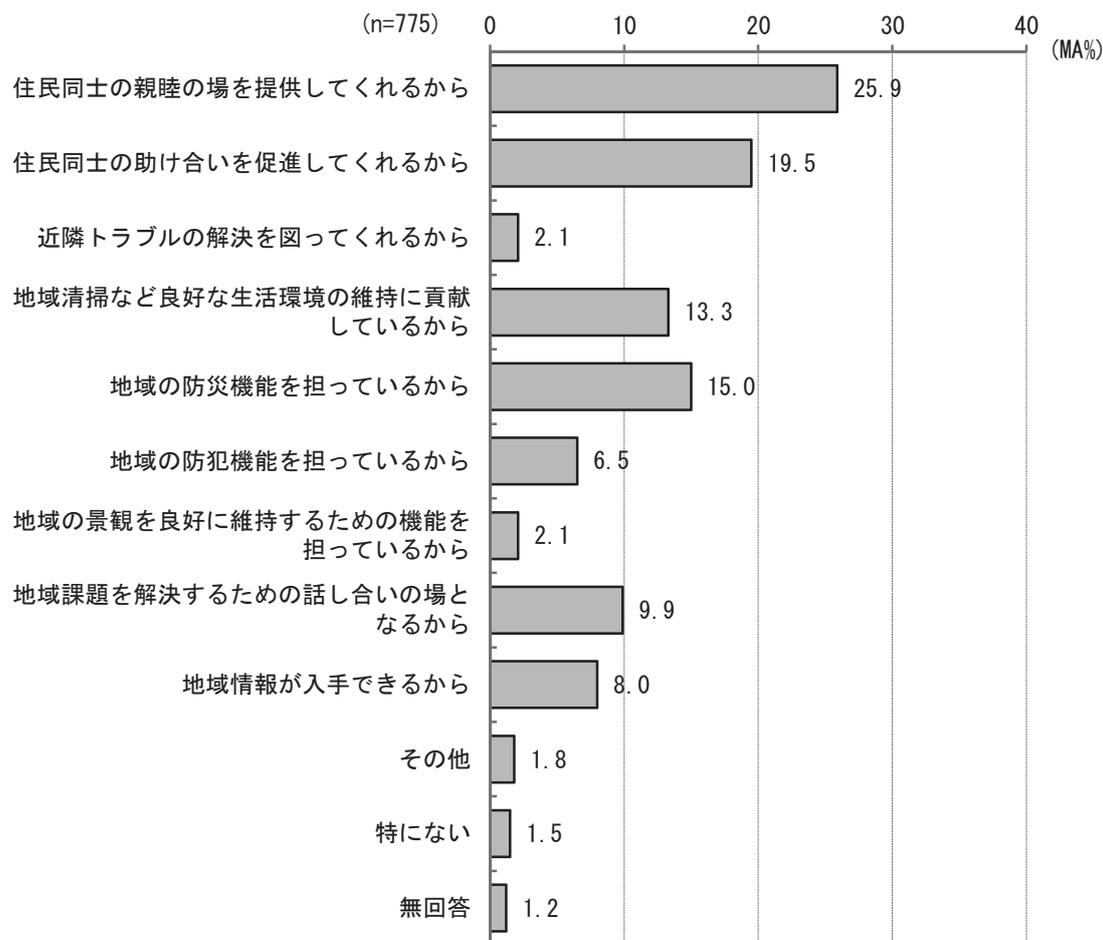
図表 8-18 自治会の必要性（自治会加入別）



## 8. 自治会の必要性を感じる理由（問38-1）

自治会が必要であると回答した人に、自治会の必要性を感じる理由についてたずねると、「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」が最も多く、25.9%である。次いで「住民同士の助け合いを促進してくれるから」が19.5%、「地域の防災機能を担っているから」が15.0%となっている。

図表 8-19 自治会の必要性を感じる理由（単純回答）

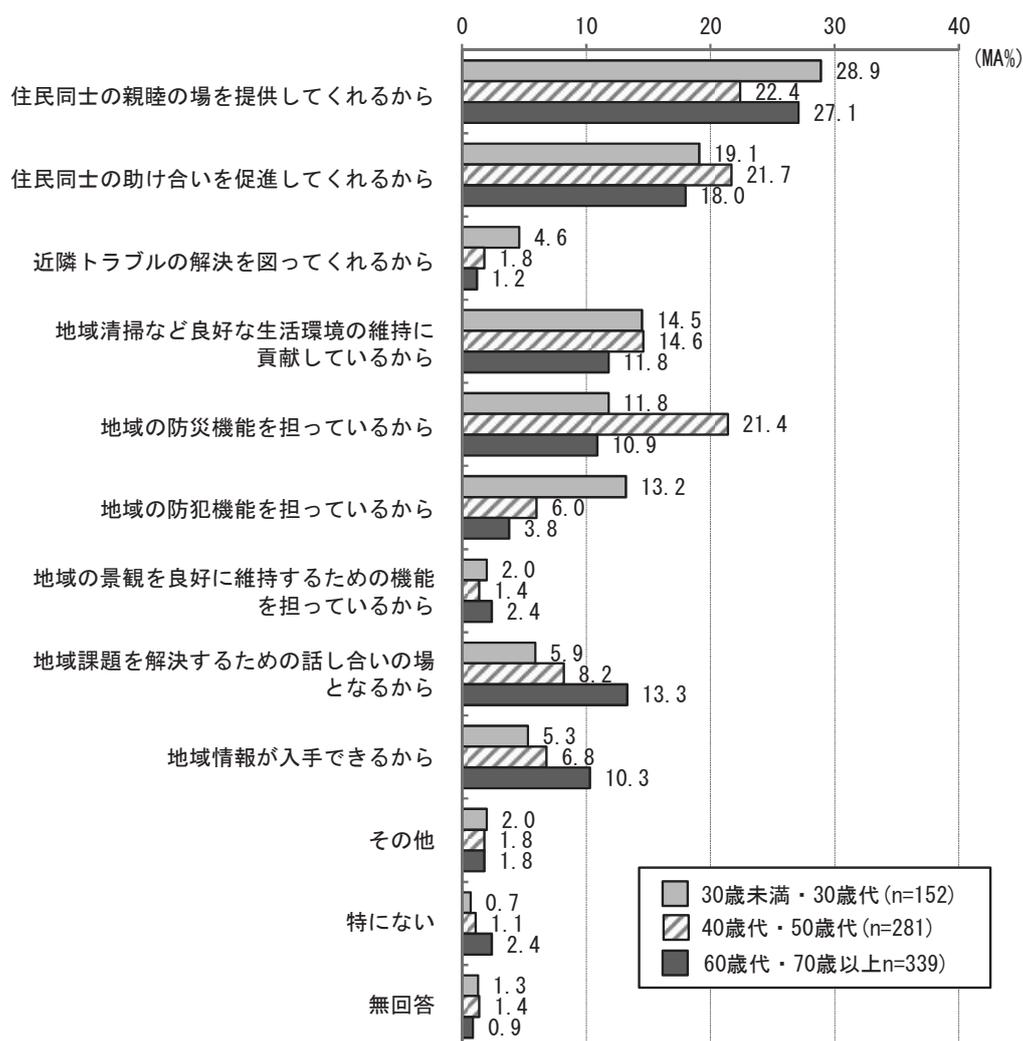


年齢別にみると、「30歳未満」～「40歳代」と「70歳以上」は「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」が最も多く、「50歳代」は「地域の防災機能を担っているから」、「60歳代」は「住民同士の助け合いを促進してくれるから」が最も多くなっている。

図表 8-20 自治会の必要性を感じる理由（年齢別）

		(MA%)												
		件数	て住民同士の親睦の場を提供してくれるから	て住民同士の助け合いを促進してくれるから	近隣トラブルの解決を図ってくれるから	地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献しているから	地域の防災機能を担っているから	地域の防犯機能を担っているから	地域の景観を良好に維持しているから	地域課題を解決するための話し合いの場となるから	地域情報が入手できるから	その他	特にない	無回答
全体		775	25.9	19.5	2.1	13.3	15.0	6.5	2.1	9.9	8.0	1.8	1.5	1.2
年齢別	30歳未満	59	37.3	16.9	1.7	11.9	10.2	13.6	1.7	6.8	5.1	1.7	1.7	3.4
	30歳代	93	23.7	20.4	6.5	16.1	12.9	12.9	2.2	5.4	5.4	2.2	-	-
	40歳代	150	25.3	20.0	2.7	15.3	18.7	6.7	2.0	6.7	5.3	2.0	1.3	2.0
	50歳代	131	19.1	23.7	0.8	13.7	24.4	5.3	0.8	9.9	8.4	1.5	0.8	0.8
	60歳代	153	19.0	19.6	1.3	11.1	15.0	4.6	3.9	15.0	10.5	2.6	2.0	-
	70歳以上	186	33.9	16.7	1.1	12.4	7.5	3.2	1.1	11.8	10.2	1.1	2.7	1.6

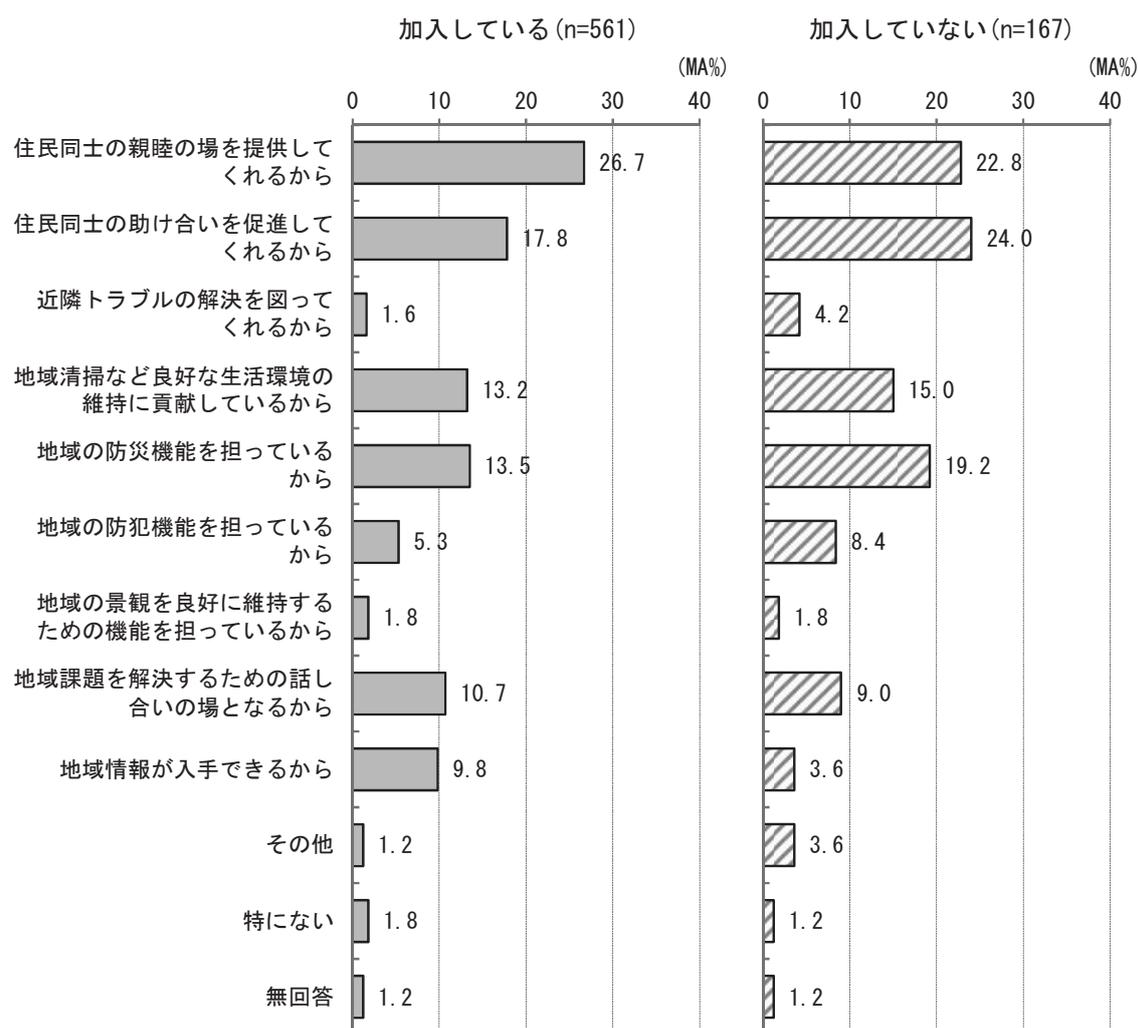
図表 8-21 自治会の必要性を感じる理由（年齢別）



自治会加入別にみると、「加入している」人では「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」が26.7%で最も多く、次いで「住民同士の助け合いを促進してくれるから」が17.8%となっている。

「加入していない」人では「住民同士の助け合いを促進してくれるから」が24.0%で最も多く、次いで「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」が22.8%となっている。

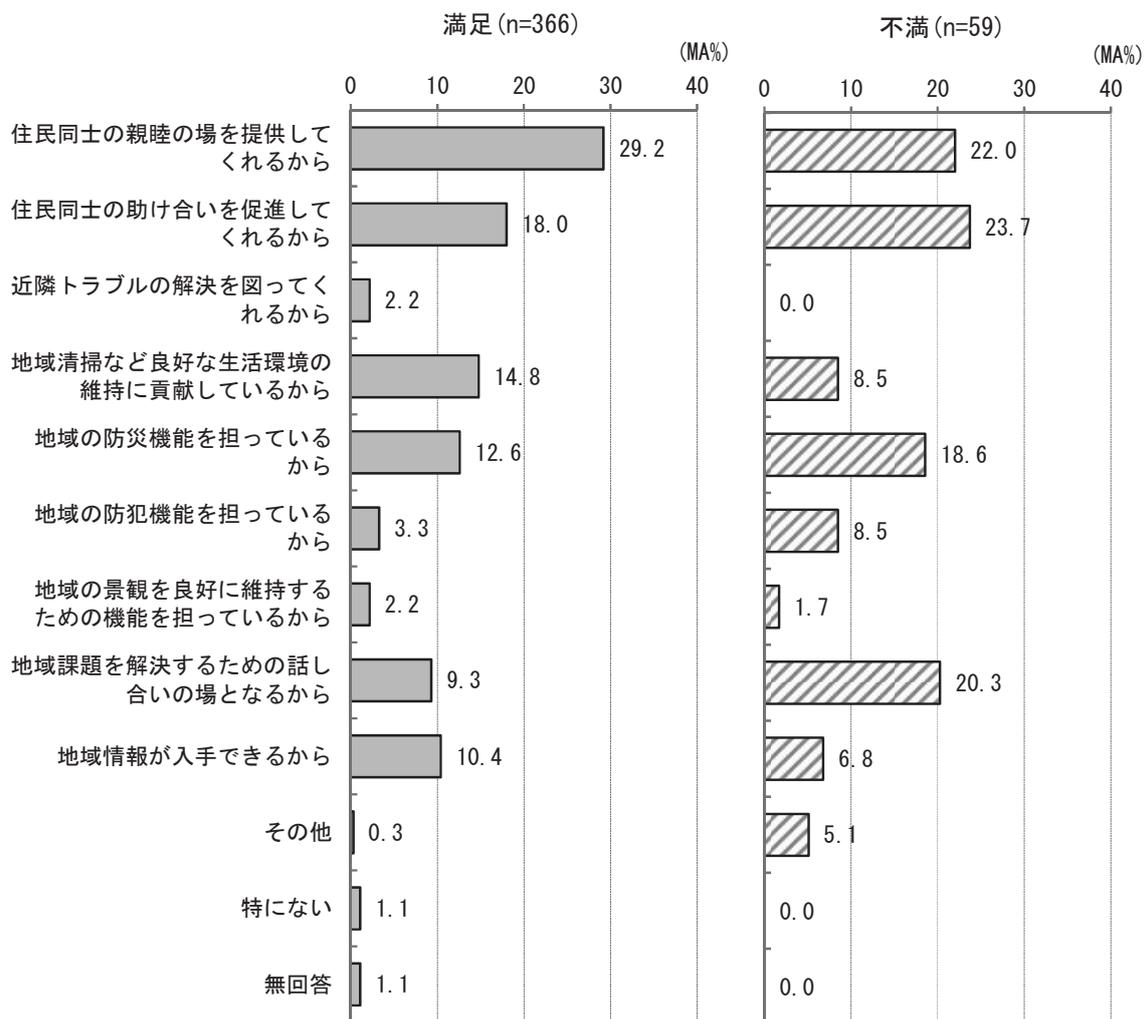
図表 8-22 自治会の必要性を感じる理由（自治会加入別）



自治会活動への満足度別にみると、自治会活動に「満足」している人は「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」が29.2%で最も多く、次いで「住民同士の助け合いを促進してくれるから」が18.0%となっている。

「不満」な人では「住民同士の助け合いを促進してくれるから」が23.7%で最も多く、次いで「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」が22.0%となっている。「地域課題を解決するための話し合いの場となるから」は、「満足」な人（9.3%）より「不満」な人（20.3%）のほうが11.0ポイント高くなっている。

図表 8-23 自治会の必要性を感じる理由（自治会活動への満足度別）



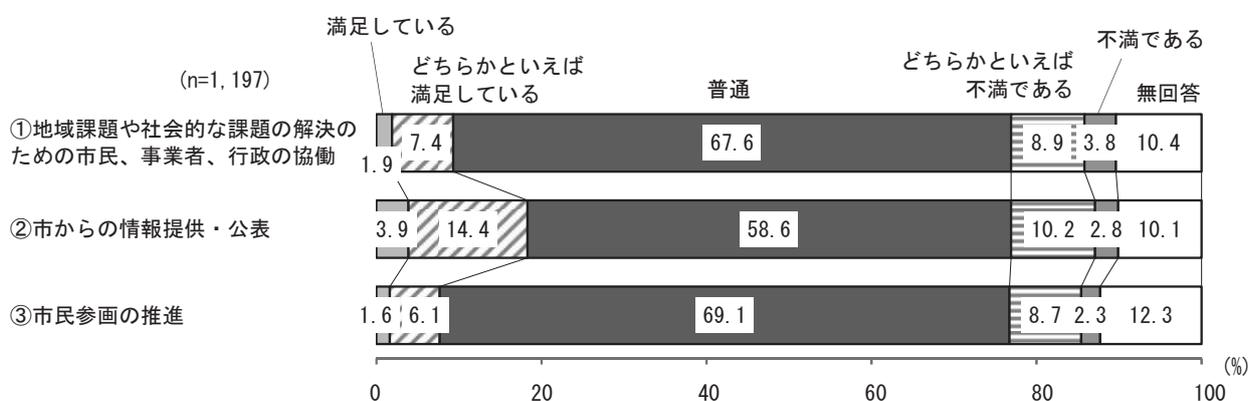
## 9. 市民自治についての満足度・重要度（問39）

市民自治についての満足度・重要度をたずねた。

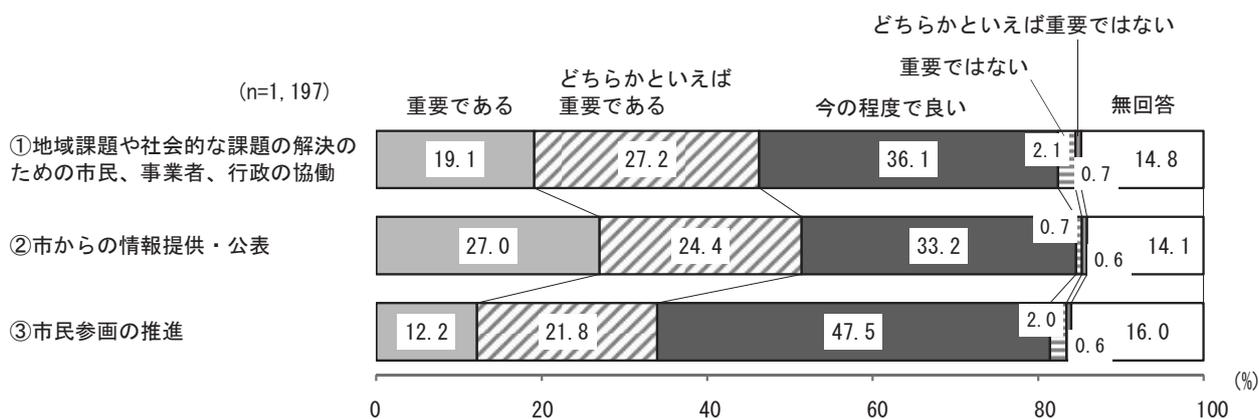
満足度については、いずれの項目も「普通」が5割以上を占め最も多く、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた割合）は“②市からの情報提供・公表”が18.3%で最も高くなっている。

重要度についても、『重要である』（「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた割合）は“②市からの情報提供・公表”が51.4%で最も高く、次いで“①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働”が46.3%となっている。

図表 8-24 市民自治についての満足度（単純回答）



図表 8-25 市民自治についての重要度（単純回答）



年齢別にみると、『満足』はいずれの項目でも「70歳以上」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、『満足』は“①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働”では「片山・岸部地域」で最も高く、“②市からの情報提供・公表”と“③市民参画の推進”では「千里山・佐井寺地域」で最も高くなっている。

図表 8-26 市民自治についての満足度（性別、年齢別、居住地域別）

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働 (%)								②市からの情報提供・公表 (%)						
		件数	満足している	どちらかといえ ば	普通	どちらかといえ ば	不満である	無回答	満足している	どちらかといえ ば	普通	どちらかといえ ば	不満である	無回答
全体		1,197	1.9	7.4	67.6	8.9	3.8	10.4	3.9	14.4	58.6	10.2	2.8	10.1
性別	女性	661	1.1	8.5	70.8	7.3	2.9	9.5	3.5	16.0	61.7	7.9	2.0	8.9
	男性	528	3.0	6.3	64.2	11.0	4.5	11.0	4.5	12.5	55.3	13.3	3.4	11.0
年齢別	30歳未満	112	-	8.0	80.4	4.5	2.7	4.5	1.8	12.5	70.5	7.1	2.7	5.4
	30歳代	166	3.0	10.2	66.9	11.4	4.2	4.2	3.6	16.3	59.0	13.3	3.0	4.8
	40歳代	242	1.7	3.7	70.7	11.6	5.0	7.4	1.2	13.6	62.4	14.0	2.9	5.8
	50歳代	184	0.5	4.9	71.7	11.4	5.4	6.0	1.1	12.0	67.9	9.8	4.3	4.9
	60歳代	231	1.7	8.7	69.7	7.8	2.2	10.0	4.3	13.4	59.7	10.8	2.2	9.5
	70歳以上	250	3.6	10.0	56.8	5.2	2.0	22.4	9.6	18.0	42.8	6.0	0.8	22.8
居住地域別	J R以南地域	110	2.7	3.6	65.5	10.9	4.5	12.7	6.4	9.1	57.3	12.7	2.7	11.8
	片山・岸部地域	182	1.6	8.8	64.3	7.1	6.0	12.1	3.3	12.6	59.3	9.9	3.3	11.5
	豊津・江坂・南吹田地域	190	1.6	8.4	73.7	7.9	1.6	6.8	3.2	15.8	59.5	11.6	1.1	8.9
	千里山・佐井寺地域	201	2.5	7.5	67.7	7.5	5.5	9.5	6.0	17.4	55.2	8.0	5.0	8.5
	山田・千里丘地域	272	1.5	7.4	67.6	11.0	2.6	9.9	1.8	13.6	62.5	11.8	1.8	8.5
	千里NT・万博・阪大地域	231	2.2	7.8	66.2	8.7	3.0	12.1	4.3	15.6	57.6	7.8	2.2	12.6

③市民参画の推進 (%)								
		件数	満足している	どちらかといえ ば	普通	どちらかといえ ば	不満である	無回答
全体		1,197	1.6	6.1	69.1	8.7	2.3	12.3
性別	女性	661	0.9	7.7	72.2	6.1	1.7	11.5
	男性	528	2.5	4.0	65.9	12.1	2.8	12.7
年齢別	30歳未満	112	-	8.0	76.8	7.1	2.7	5.4
	30歳代	166	2.4	7.2	74.7	9.6	1.2	4.8
	40歳代	242	1.2	2.9	72.7	12.8	2.9	7.4
	50歳代	184	0.5	3.3	77.2	9.2	3.3	6.5
	60歳代	231	1.7	5.6	71.9	7.8	2.2	10.8
	70歳以上	250	2.8	10.0	51.2	5.6	1.2	29.2
居住地域別	J R以南地域	110	1.8	5.5	66.4	9.1	2.7	14.5
	片山・岸部地域	182	1.1	5.5	67.0	9.9	1.6	14.8
	豊津・江坂・南吹田地域	190	1.1	6.8	73.2	7.4	2.1	9.5
	千里山・佐井寺地域	201	3.0	8.0	68.2	7.5	3.5	10.0
	山田・千里丘地域	272	1.1	4.8	70.6	10.7	2.2	10.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	1.7	6.5	68.8	6.9	1.3	14.7

年齢別にみると、『重要である』はいずれの項目も「50歳代」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、『重要である』は“①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働”と“②市からの情報提供・公表”は「千里山・佐井寺地域」で最も高く、“③市民参画の推進”では「豊津・江坂・南吹田地域」で最も高くなっている。

図表8-26 市民自治についての重要度（性別、年齢別、居住地域別）

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働 (%)								②市からの情報提供・公表 (%)						
		件数	重要である	どちらかといえば	今の程度で良い	どちらかといえは	重要ではない	無回答	重要である	どちらかといえば	今の程度で良い	どちらかといえは	重要ではない	無回答
全体		1,197	19.1	27.2	36.1	2.1	0.7	14.8	27.0	24.4	33.2	0.7	0.6	14.1
性別	女性	661	19.2	27.8	36.9	0.9	0.6	14.5	27.7	25.7	32.5	0.5	0.3	13.3
	男性	528	19.1	26.9	35.6	3.6	0.6	14.2	26.5	22.9	34.7	0.9	0.8	14.2
年齢別	30歳未満	112	20.5	28.6	40.2	1.8	1.8	7.1	23.2	20.5	48.2	-	1.8	6.3
	30歳代	166	24.7	24.7	36.7	1.8	-	12.0	30.1	27.1	31.9	-	-	10.8
	40歳代	242	20.2	29.8	36.8	2.5	0.8	9.9	34.7	23.6	32.6	0.4	0.4	8.3
	50歳代	184	17.4	38.0	32.6	2.7	1.1	8.2	26.1	33.7	31.5	0.5	1.1	7.1
	60歳代	231	16.9	26.8	39.8	3.5	-	13.0	23.8	24.7	35.9	2.6	-	13.0
	70歳以上	250	17.2	18.8	34.0	0.4	0.4	29.2	23.6	18.4	28.0	-	0.4	29.6
居住地域別	J R以南地域	110	16.4	25.5	40.0	-	1.8	16.4	24.5	20.0	38.2	-	0.9	16.4
	片山・岸部地域	182	16.5	26.4	36.3	2.7	-	18.1	25.3	25.3	31.3	0.5	0.5	17.0
	豊津・江坂・南吹田地域	190	19.5	27.9	37.4	3.2	0.5	11.6	29.5	22.6	34.7	1.1	0.5	11.6
	千里山・佐井寺地域	201	22.9	28.4	33.3	1.0	1.0	13.4	26.4	30.3	29.4	0.5	0.5	12.9
	山田・千里丘地域	272	18.0	30.1	35.3	2.2	0.7	13.6	25.7	27.9	33.5	0.7	0.7	11.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	19.9	24.7	36.8	2.2	-	16.5	29.4	18.6	34.2	0.4	-	17.3

③市民参画の推進 (%)								
		件数	重要である	どちらかといえは	今の程度で良い	どちらかといえは	重要ではない	無回答
全体		1,197	12.2	21.8	47.5	2.0	0.6	16.0
性別	女性	661	11.2	22.5	49.0	1.2	0.5	15.6
	男性	528	13.6	21.2	46.0	3.0	0.6	15.5
年齢別	30歳未満	112	12.5	23.2	53.6	2.7	1.8	6.3
	30歳代	166	12.0	27.1	47.6	1.2	-	12.0
	40歳代	242	13.6	24.0	50.8	1.2	0.4	9.9
	50歳代	184	13.6	27.2	46.7	3.8	1.1	7.6
	60歳代	231	12.1	18.6	51.9	2.6	-	14.7
	70歳以上	250	10.4	15.2	38.8	1.2	0.4	34.0
居住地域別	J R以南地域	110	9.1	20.0	51.8	1.8	0.9	16.4
	片山・岸部地域	182	11.5	21.4	44.5	2.2	-	20.3
	豊津・江坂・南吹田地域	190	11.1	26.3	47.9	2.1	0.5	12.1
	千里山・佐井寺地域	201	15.4	19.4	46.8	3.0	0.5	14.9
	山田・千里丘地域	272	11.4	25.7	47.4	1.5	1.1	12.9
	千里NT・万博・阪大地域	231	13.4	16.9	48.1	1.7	-	19.9

## 第9章 住宅用火災警報器設置状況について

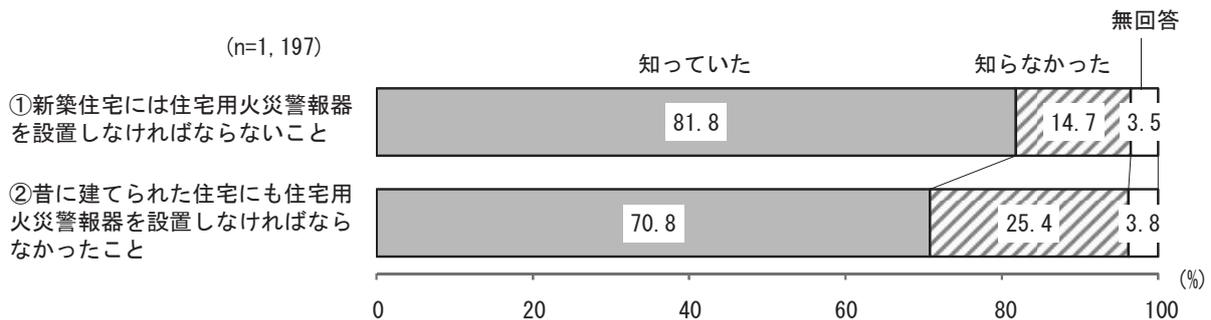


## 第9章 住宅用火災警報器設置状況について

### 1. 住宅用火災警報器の設置義務の認知度（問40）

住宅用火災警報器の設置義務の認知度についてたずねたところ、「知っていた」は“①新築住宅には住宅用火災警報器を設置しなければならないこと”が81.8%、“②昔に建てられた住宅にも住宅用火災警報器を設置しなければならなかったこと”が70.8%となっている。

図表9-1 住宅用火災警報器の設置義務の認知度（単純回答）



認知度（「知っていた」）を年齢別にみると、“①新築住宅には住宅用火災警報器を設置しなければならないこと”では「40歳代」が88.0%で最も高く、“②昔に建てられた住宅にも住宅用火災警報器を設置しなければならなかったこと”では「50歳代」が75.5%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、いずれも「千里NT・万博・阪大地域」で最も高くなっている。

世帯年収別にみると、いずれも「1,500万円以上」で最も高くなっている。

ヒヤリ経験別にみると、いずれもヒヤリ経験が「ある」人のほうが高くなっている。

図表9-2 住宅用火災警報器の設置義務の認知度（性別、年齢別、居住地域別、世帯年収別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

			(%)	
		件数	ば災① な警新 ら報築 ない器住 ことを宅 と置には し住 な宅 け用 れ火	た置も② こし住昔 とな宅に とけ用建 れ火て ば災ら な警れた ら報た な器住 かを宅 っ設に
全体		1,197	81.8	70.8
性別	女性	661	83.7	70.8
	男性	528	79.9	71.2
年齢別	30歳未満	112	69.6	57.1
	30歳代	166	83.1	69.9
	40歳代	242	88.0	72.3
	50歳代	184	84.8	75.5
	60歳代	231	84.0	74.0
	70歳以上	250	76.8	70.4
居住地域別	J R以南地域	110	79.1	65.5
	片山・岸部地域	182	79.7	71.4
	豊津・江坂・南吹田地域	190	80.5	70.5
	千里山・佐井寺地域	201	80.6	65.7
	山田・千里丘地域	272	83.8	73.5
	千里NT・万博・阪大地域	231	84.8	74.0
世帯年収別	250万円未満	152	82.2	75.7
	250～500万円未満	271	80.4	74.5
	500～750万円未満	234	85.5	73.9
	750～1,000万円未満	144	84.7	70.1
	1,000～1,500万円未満	115	83.5	68.7
	1,500万円以上	32	96.9	84.4
	わからない	120	75.0	53.3
居住形態別	持ち家（一戸建て）	359	84.1	68.0
	持ち家（マンション）	429	85.5	73.4
	民間賃貸（一戸建て）	14	85.7	64.3
	民間賃貸（マンション）	225	76.0	71.1
	公団・公社（賃貸）	57	78.9	70.2
	府営・市営（賃貸）	62	77.4	71.0
	社宅・寮	19	78.9	84.2
	その他	8	75.0	87.5
ヒヤリ経験別	ある	319	87.8	76.8
	ない	867	80.4	69.2

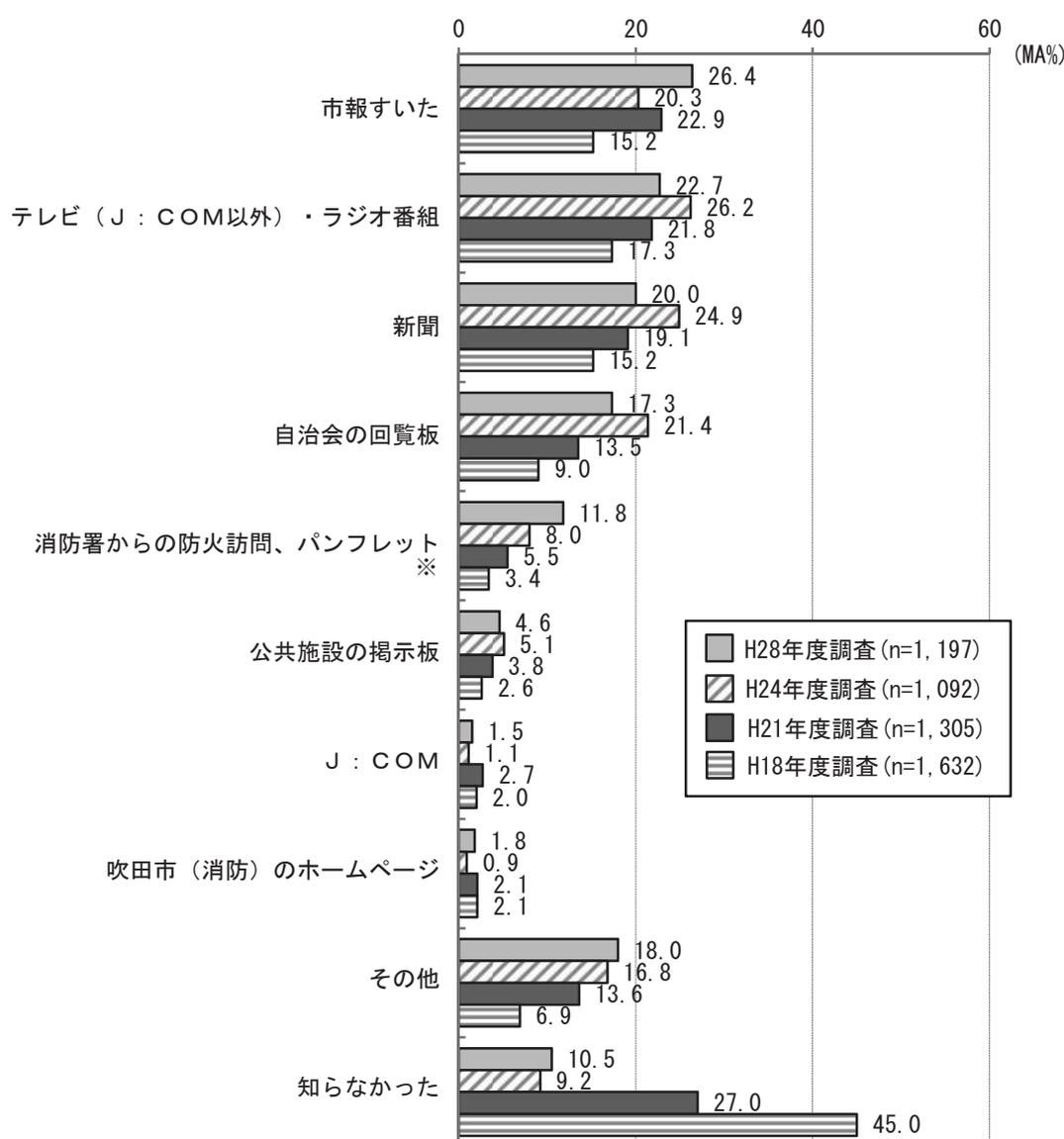
## 2. 住宅用火災警報器設置義務の情報源について（問41）

住宅用火災警報器の設置義務の情報源についてみると、「市報すいた」が最も多く26.4%である。次いで、「テレビ（J：COM以外）・ラジオ番組」（22.7%）、「新聞」（20.0%）の順であり、これらが20%を超えている。「市報すいた」、「消防署からの防火訪問、パンフレット」は、過去の調査と比較して増加傾向にある。

「知らなかった」は平成18年度45.0%、平成21年度27.0%、平成24年度9.2%で減少傾向であったが、今回は10.5%と平成24年度よりやや高くなっている。

なお、「その他」は「建築会社・建築士」「マンションの管理組合」「インターネット」やガス事業者名などが挙げられている。

図表 9 - 3 住宅用火災警報器設置義務の情報源について（単純回答）



※平成18年度調査は「吹田市発行の各種冊子、チラシ」

年齢別にみると、「30歳代」「40歳代」は「テレビ（J：COM以外）・ラジオ番組」が最も多く、「50歳代」以上の年代では「市報すいた」が最も多くなっている。

居住地域別にみると、「千里山・佐井寺地域」と「山田・千里丘地域」は「テレビ（J：COM以外）・ラジオ番組」が最も多いが、それ以外の地域では「市報すいた」が最も多くなっている。

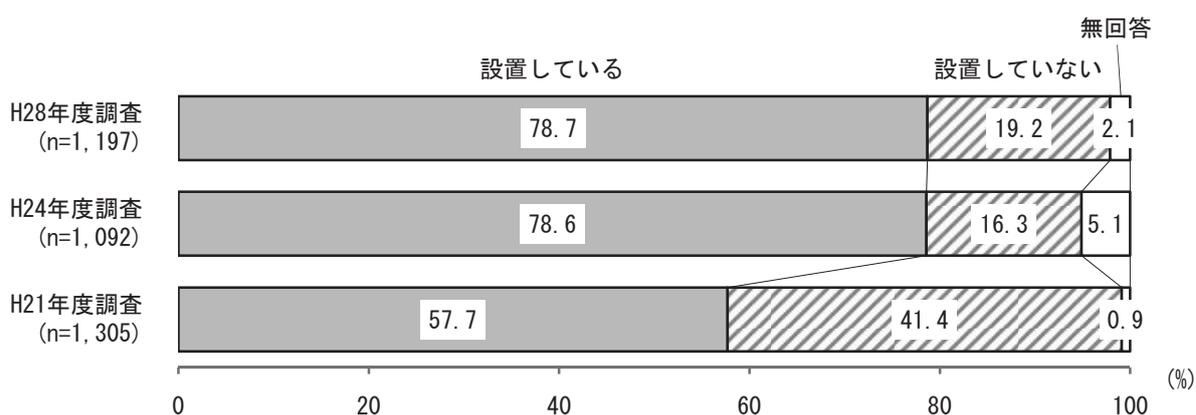
図表9-4 住宅用火災警報器設置義務の情報源について（性別、年齢別、居住地域別、世帯収入別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

		(MA%)											
		件数	市報すいた	外テレビ・ラジオ：COM以	新聞	自治会の回覧板	問、消防署からの防火訪問、パンフレット	公共施設の掲示板	J：COM	ム吹田市（消防）のホームページ	その他	知らなかった	無回答
全体		1,197	26.4	22.7	20.0	17.3	11.8	4.6	1.5	1.8	18.0	10.5	3.8
性別	女性	661	26.6	23.8	19.7	17.5	12.0	4.2	1.8	1.7	18.2	9.7	4.1
	男性	528	26.1	21.6	20.5	17.0	11.7	4.9	0.9	1.9	18.0	11.7	3.0
年齢別	30歳未満	112	8.9	19.6	11.6	4.5	11.6	5.4	1.8	-	21.4	25.9	1.8
	30歳代	166	19.9	24.7	12.7	7.8	9.0	4.2	1.8	0.6	24.7	13.3	2.4
	40歳代	242	19.8	26.0	21.1	10.3	10.3	2.5	1.2	1.2	24.0	9.9	2.9
	50歳代	184	23.9	21.7	21.2	19.6	9.8	3.3	1.6	1.6	20.7	11.4	3.3
	60歳代	231	30.3	22.1	24.2	26.0	13.4	6.5	0.9	3.5	13.0	8.7	2.6
	70歳以上	250	43.2	21.2	22.4	26.8	15.6	5.6	1.6	2.4	8.8	4.0	7.2
居住地域別	JR以南地域	110	36.4	28.2	20.9	19.1	12.7	1.8	1.8	0.9	10.9	13.6	2.7
	片山・岸部地域	182	26.4	20.9	20.9	8.8	17.0	4.4	1.6	1.1	20.3	9.3	3.8
	豊津・江坂・南吹田地域	190	26.3	21.1	16.8	13.7	11.6	4.7	1.6	3.7	16.8	12.6	4.7
	千里山・佐井寺地域	201	22.9	23.9	20.4	16.4	9.0	4.0	2.5	1.5	20.9	13.9	2.0
	山田・千里丘地域	272	22.4	23.2	18.8	21.7	11.0	3.7	0.7	1.1	20.6	8.5	3.7
	千里NT・万博・阪大地域	231	29.4	22.1	22.5	20.8	10.4	6.9	1.3	2.2	15.6	7.4	5.6
世帯収入別	250万円未満	152	34.9	24.3	26.3	25.7	14.5	5.3	2.6	3.3	12.5	8.6	2.6
	250～500万円未満	271	29.9	22.1	17.7	25.8	12.2	6.6	1.5	1.5	12.2	8.9	4.4
	500～750万円未満	234	24.8	24.8	19.2	12.8	9.4	3.4	-	1.3	20.1	13.7	2.1
	750～1,000万円未満	144	17.4	20.1	18.1	10.4	8.3	3.5	-	-	28.5	9.0	4.2
	1,000～1,500万円未満	115	18.3	21.7	22.6	11.3	13.0	3.5	0.9	0.9	21.7	13.0	3.5
	1,500万円以上	32	28.1	15.6	31.3	15.6	25.0	9.4	3.1	3.1	37.5	-	3.1
	わからない	120	23.3	24.2	15.0	12.5	12.5	1.7	2.5	1.7	19.2	15.0	2.5
居住形態別	持ち家（一戸建て）	359	31.5	24.2	22.0	15.3	13.4	2.2	1.7	1.1	19.5	8.9	3.3
	持ち家（マンション）	429	22.6	21.4	21.0	21.9	11.2	4.0	0.2	1.4	17.9	9.3	3.5
	民間賃貸（一戸建て）	14	28.6	21.4	35.7	14.3	7.1	7.1	-	-	7.1	7.1	7.1
	民間賃貸（マンション）	225	18.7	24.9	15.1	4.4	11.6	6.2	3.6	2.7	20.9	17.8	3.6
	公団・公社（賃貸）	57	35.1	17.5	19.3	26.3	8.8	10.5	1.8	8.8	14.0	7.0	3.5
	府営・市営（賃貸）	62	41.9	22.6	14.5	41.9	9.7	8.1	1.6	-	6.5	6.5	4.8
	社宅・寮	19	21.1	15.8	15.8	5.3	21.1	-	-	-	36.8	15.8	-
	その他	8	37.5	37.5	-	12.5	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-
ヒヤリ経験別	ある	319	25.4	21.3	19.4	21.3	13.8	5.6	0.9	2.2	20.1	8.2	2.2
	ない	867	27.0	23.4	20.4	16.0	11.1	4.3	1.7	1.6	17.5	11.5	3.6

### 3. 住宅用火災警報器の設置状況（問42）

住宅用火災警報器の設置の有無についてみると、「設置している」が78.7%であり、8割近くを占めている。平成21年度調査の57.7%から21.0ポイント、平成24年度調査の78.6%から0.1ポイント増加している。

図表 9 - 5 住宅用火災警報器の設置状況（単純回答）



年齢別にみると、「設置している」は「30歳代」「40歳代」で8割台と高くなっている。

居住地域別にみると、「設置している」は「千里NT・万博・阪大地域」が87.0%で最も高く、「JR以南地域」が64.5%で最も低くなっている。

世帯年収別にみると、「設置している」は「1,000～1,500万円未満」が86.1%で最も高く、500万円以上の世帯で8割台となっている。

ヒヤリ経験別にみると、ヒヤリ経験が「ない」(77.9%)人より「ある」(83.4%)のほうが5.5ポイント高くなっている。

図表 9 - 6 住宅用火災警報器の設置状況（性別、年齢別、居住地域別、世帯収入別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

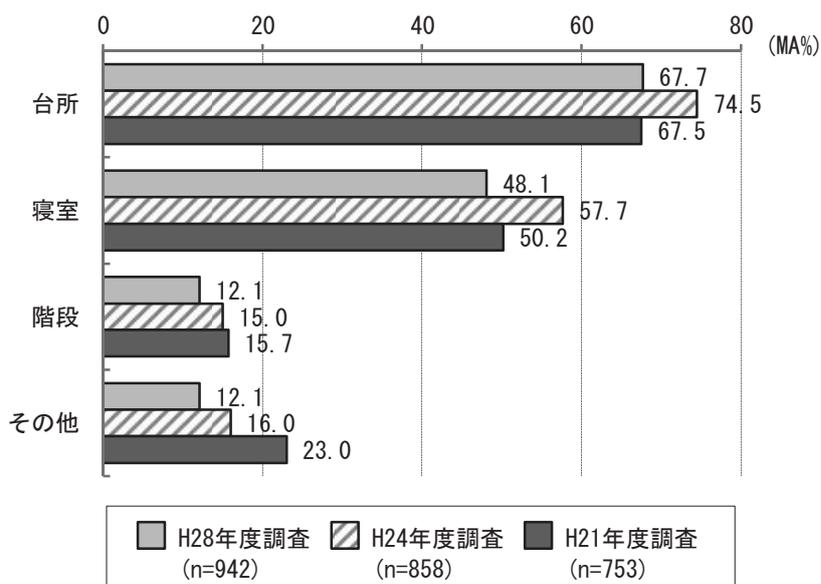
			(%)		
		件数	設置している	設置していない	無回答
全体		1,197	78.7	19.2	2.1
性別	女性	661	81.1	16.8	2.1
	男性	528	76.1	22.2	1.7
年齢別	30歳未満	112	76.8	20.5	2.7
	30歳代	166	86.1	13.9	-
	40歳代	242	84.3	14.9	0.8
	50歳代	184	76.6	22.3	1.1
	60歳代	231	76.6	22.1	1.3
	70歳以上	250	73.6	21.2	5.2
居住地域別	J R以南地域	110	64.5	33.6	1.8
	片山・岸部地域	182	73.1	23.6	3.3
	豊津・江坂・南吹田地域	190	74.2	24.7	1.1
	千里山・佐井寺地域	201	78.1	20.4	1.5
	山田・千里丘地域	272	84.6	13.6	1.8
	千里NT・万博・阪大地域	231	87.0	10.4	2.6
世帯収入別	250万円未満	152	78.9	19.1	2.0
	250～500万円未満	271	76.8	22.1	1.1
	500～750万円未満	234	80.3	19.7	-
	750～1,000万円未満	144	82.6	16.0	1.4
	1,000～1,500万円未満	115	86.1	13.0	0.9
	1,500万円以上	32	81.3	18.8	-
	わからない	120	77.5	18.3	4.2
居住形態別	持ち家（一戸建て）	359	66.6	31.8	1.7
	持ち家（マンション）	429	90.0	9.6	0.5
	民間賃貸（一戸建て）	14	57.1	35.7	7.1
	民間賃貸（マンション）	225	76.0	21.8	2.2
	公団・公社（賃貸）	57	82.5	14.0	3.5
	府営・市営（賃貸）	62	85.5	9.7	4.8
	社宅・寮	19	89.5	10.5	-
その他	8	87.5	12.5	-	
ヒヤリ経験別	ある	319	83.4	15.7	0.9
	ない	867	77.9	20.6	1.5

#### 4. 住宅用火災警報器の設置場所（問42-1）

住宅用火災警報器を設置していると回答した人に設置場所についてたずねると、「台所」が最も高く、67.7%である。次いで「寝室」が48.1%であり、「台所」「寝室」「階段」のいずれも平成24年度調査より低下している。

なお、「その他」は「すべての部屋」「居間・リビング」「子ども部屋」「押入れ」「クローゼット」などが挙げられている。

図表 9－7 住宅用火災警報器の設置場所（単純回答）



居住形態別にみると、「台所」は「民間賃貸（一戸建て）」と「民間賃貸（マンション）」で7割台と高くなっている。「公団・公社（賃貸）」と「府営・市営（賃貸）」では「寝室」が最も多くなっている。

図表9-8 住宅用火災警報器の設置場所（性別、年齢別、居住地域別、世帯収入別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

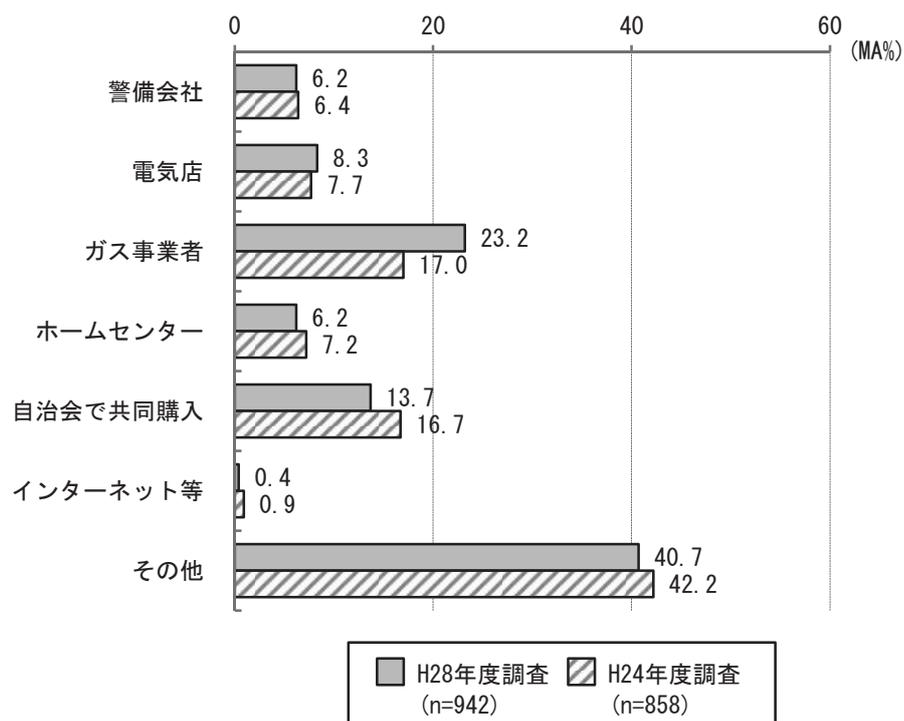
			台所	寝室	階段	その他	無回答
		件数					(MA%)
全体		942	67.7	48.1	12.1	12.1	15.7
性別	女性	536	66.8	47.6	12.7	12.5	16.6
	男性	402	68.7	49.0	11.2	11.7	14.7
年齢別	30歳未満	86	79.1	44.2	8.1	7.0	9.3
	30歳代	143	78.3	50.3	10.5	16.8	9.1
	40歳代	204	70.6	44.6	11.8	7.8	18.6
	50歳代	141	63.1	44.0	10.6	12.1	22.7
	60歳代	177	59.3	50.8	14.1	14.7	19.8
	70歳以上	184	61.4	52.2	14.7	12.5	12.0
居住地域別	J R以南地域	71	62.0	42.3	26.8	2.8	14.1
	片山・岸部地域	133	65.4	45.1	15.8	13.5	16.5
	豊津・江坂・南吹田地域	141	73.0	48.2	9.9	9.2	13.5
	千里山・佐井寺地域	157	67.5	44.6	14.0	14.0	13.4
	山田・千里丘地域	230	70.0	49.1	10.0	13.0	17.4
	千里NT・万博・阪大地域	201	65.7	54.7	7.0	14.4	16.4
世帯年収別	250万円未満	120	63.3	45.8	10.8	13.3	18.3
	250～500万円未満	208	64.9	52.4	7.7	10.6	15.9
	500～750万円未満	188	71.8	51.6	11.7	11.2	11.2
	750～1,000万円未満	119	65.5	40.3	20.2	16.8	19.3
	1,000～1,500万円未満	99	78.8	48.5	14.1	9.1	10.1
	1,500万円以上	26	80.8	53.8	11.5	15.4	15.4
	わからない	93	67.7	48.4	15.1	12.9	18.3
居住形態別	持ち家（一戸建て）	239	67.8	46.4	33.1	6.3	15.1
	持ち家（マンション）	386	69.9	47.9	4.1	16.8	17.4
	民間賃貸（一戸建て）	8	75.0	37.5	50.0	-	12.5
	民間賃貸（マンション）	171	74.3	42.7	5.3	9.4	12.3
	公団・公社（賃貸）	47	53.2	55.3	4.3	10.6	17.0
	府営・市営（賃貸）	53	45.3	71.7	1.9	13.2	13.2
	社宅・寮	17	52.9	47.1	5.9	17.6	29.4
	その他	7	57.1	42.9	14.3	14.3	28.6
ヒヤリ経験別	ある	266	69.9	46.2	15.8	9.8	16.2
	ない	675	66.8	48.7	10.5	13.0	15.6

## 5. 住宅用火災警報器の購入先（問42-2）

住宅用火災警報器の購入先については、「その他」を除くと、「ガス事業者」の23.2%、「自治会で共同購入」の13.7%、「電気店」（8.3%）となっている。

なお、「その他」には、「賃貸住宅なので最初から設置されていた」「生活協同組合」などが挙げられている。

図表 9-9 住宅用火災警報器の購入先（単純回答）



居住形態別にみると、「自治会で共同購入」は「府営・市営（賃貸）」が35.8%で最も多く、「公団・公社（賃貸）」23.4%、「持ち家（マンション）」21.2%の順となっている。「持ち家（一戸建て）」（3.3%）、「民間賃貸（一戸建て）」（12.5%）、「民間賃貸（マンション）」（4.1%）と比較して割合が高くなっている。

図表9-10 住宅用火災警報器の購入先（性別、年齢別、居住地域別、世帯収入別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

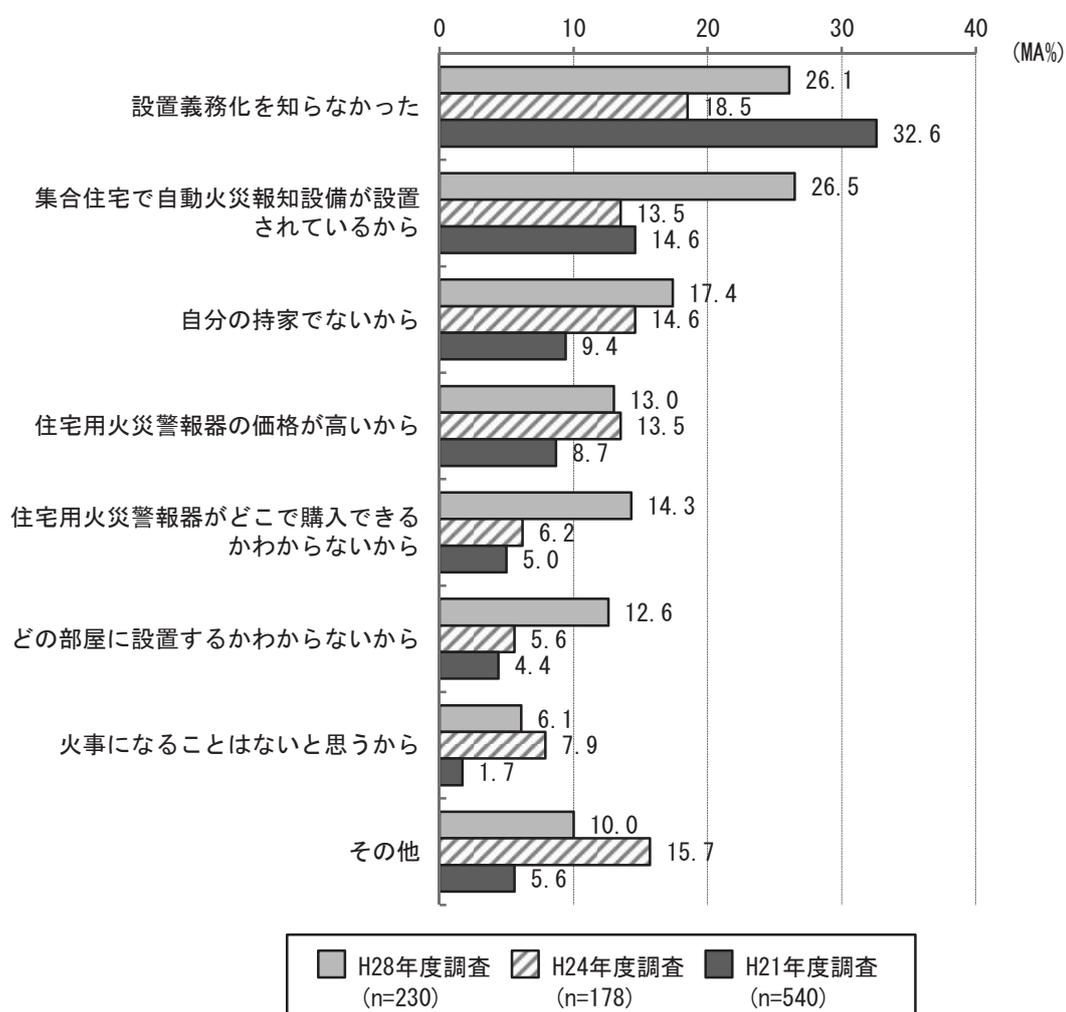
			警備会社	電気店	ガス事業者	ホームセンター	自治会で共同購入	インターネット等	その他	無回答
		件数								(MA%)
全体		942	6.2	8.3	23.2	6.2	13.7	0.4	40.7	5.6
性別	女性	536	6.2	7.8	24.6	5.6	13.2	0.4	40.3	6.0
	男性	402	6.2	8.7	21.1	7.0	14.4	0.5	41.3	5.2
年齢別	30歳未満	86	9.3	3.5	33.7	5.8	9.3	-	38.4	2.3
	30歳代	143	7.7	4.2	23.1	4.9	4.9	-	49.7	7.0
	40歳代	204	7.4	6.4	21.6	4.9	6.4	1.5	48.5	4.9
	50歳代	141	2.8	5.7	23.4	6.4	12.8	-	44.0	9.2
	60歳代	177	5.6	7.9	22.0	8.5	22.6	0.6	37.3	3.4
	70歳以上	184	5.4	17.9	21.2	6.5	23.4	-	26.1	6.5
居住地域別	J R以南地域	71	2.8	22.5	28.2	9.9	8.5	1.4	28.2	4.2
	片山・岸部地域	133	5.3	11.3	25.6	6.8	11.3	1.5	41.4	2.3
	豊津・江坂・南吹田地域	141	9.9	6.4	25.5	7.1	7.8	-	42.6	5.7
	千里山・佐井寺地域	157	7.0	6.4	27.4	7.0	12.7	-	42.7	3.2
	山田・千里丘地域	230	3.9	6.1	22.2	5.7	20.9	0.4	38.3	5.2
	千里NT・万博・阪大地域	201	7.5	7.0	16.9	3.5	13.9	-	43.8	10.0
世帯年収別	250万円未満	120	3.3	8.3	30.0	3.3	19.2	-	35.0	3.3
	250～500万円未満	208	3.8	8.2	23.6	6.3	23.1	-	36.1	3.4
	500～750万円未満	188	6.4	4.3	21.8	6.4	11.2	1.1	46.3	5.9
	750～1,000万円未満	119	6.7	8.4	14.3	9.2	5.0	0.8	52.1	5.0
	1,000～1,500万円未満	99	5.1	7.1	24.2	4.0	10.1	-	48.5	6.1
	1,500万円以上	26	3.8	11.5	23.1	3.8	3.8	3.8	50.0	3.8
	わからない	93	14.0	14.0	29.0	8.6	8.6	-	24.7	8.6
居住形態別	持ち家（一戸建て）	239	5.0	23.8	28.0	11.7	3.3	1.3	25.9	4.6
	持ち家（マンション）	386	8.8	2.8	18.7	5.2	21.2	0.3	42.2	5.2
	民間賃貸（一戸建て）	8	-	12.5	37.5	25.0	12.5	-	50.0	-
	民間賃貸（マンション）	171	6.4	2.9	33.9	3.5	4.1	-	48.0	4.7
	公団・公社（賃貸）	47	2.1	-	12.8	-	23.4	-	55.3	14.9
	府営・市営（賃貸）	53	-	-	13.2	-	35.8	-	43.4	7.5
	社宅・寮	17	-	5.9	5.9	-	-	-	82.4	5.9
	その他	7	-	28.6	28.6	14.3	-	28.6	14.3	
ヒヤリ経験別	ある	266	6.8	7.9	24.8	6.4	13.5	0.8	40.2	4.9
	ない	675	5.9	8.4	22.5	6.1	13.8	0.3	40.9	5.9

## 6. 住宅用火災警報器を設置していない理由（問42-3）

住宅用火災警報器を設置していないと回答した人に設置していない理由についてたずねると、「集合住宅で自動火災報知設備が設置されているから」が26.5%であり、平成21年度調査（14.6%）、平成24年度調査（13.5%）より1割以上増加している。次いで「設置義務化を知らなかった」が26.1%であり、平成21年度調査（32.6%）より減少しているが、平成24年度調査（18.5%）より増加している。

なお、「その他」には、「購入したが、まだ設置していない」「面倒」などが挙げられている。

図表9-11 住宅用火災警報器を設置していない理由（単純回答）



年齢別にみると、「設置義務化を知らなかった」は「30歳未満」が34.8%で最も高く、「自分の持家でないから」は「30歳代」(43.5%)、「住宅用火災警報器がどこで購入できるかわからないから」は「50歳代」(26.8%)で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「設置義務化を知らなかった」は「JR以南地域」が40.5%で最も高くなっている。

居住形態別にみると、「設置義務化を知らなかった」は「持ち家（一戸建て）」が36.8%で最も高くなっている。

図表9-12 住宅用火災警報器を設置していない理由（性別、年齢別、居住地域別、世帯収入別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

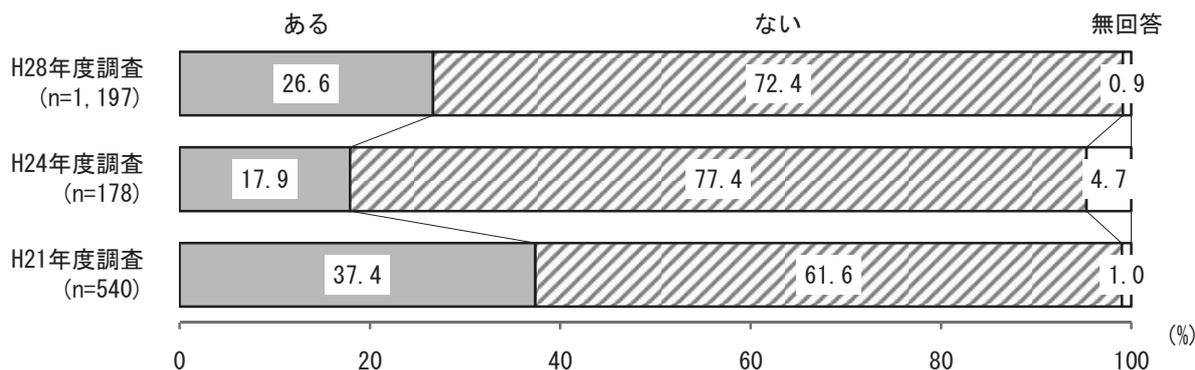
			(MA%)								
		件数	か設置義務化を知らなかった	る知集合住宅が設置されてい	自分の持家でないから	格住宅が高いから	らこ住宅購入できないから	わどの部屋に設置するか	と火事になることはない	その他	無回答
全体		230	26.1	26.5	17.4	13.0	14.3	12.6	6.1	10.0	3.0
性別	女性	111	24.3	27.9	16.2	12.6	14.4	16.2	3.6	11.7	1.8
	男性	117	26.5	25.6	18.8	12.8	13.7	9.4	8.5	8.5	4.3
年齢別	30歳未満	23	34.8	8.7	30.4	13.0	8.7	13.0	4.3	4.3	4.3
	30歳代	23	17.4	39.1	43.5	8.7	13.0	8.7	4.3	-	4.3
	40歳代	36	25.0	36.1	8.3	8.3	5.6	5.6	5.6	13.9	2.8
	50歳代	41	22.0	19.5	19.5	22.0	26.8	19.5	2.4	7.3	2.4
	60歳代	51	27.5	43.1	9.8	13.7	9.8	9.8	7.8	9.8	-
	70歳以上	53	26.4	13.2	13.2	7.5	15.1	15.1	9.4	15.1	5.7
居住地域別	J R以南地域	37	40.5	8.1	13.5	24.3	16.2	21.6	5.4	10.8	2.7
	片山・岸部地域	43	34.9	16.3	20.9	11.6	23.3	11.6	4.7	7.0	2.3
	豊津・江坂・南吹田地域	47	21.3	29.8	25.5	8.5	10.6	6.4	8.5	12.8	2.1
	千里山・佐井寺地域	41	14.6	29.3	24.4	14.6	9.8	14.6	4.9	12.2	4.9
	山田・千里丘地域	37	16.2	35.1	5.4	13.5	10.8	16.2	8.1	13.5	2.7
	千里NT・万博・阪大地域	24	29.2	50.0	8.3	4.2	12.5	4.2	4.2	-	4.2
世帯年収別	250万円未満	29	24.1	24.1	10.3	20.7	17.2	13.8	10.3	13.8	-
	250～500万円未満	60	30.0	35.0	20.0	6.7	10.0	11.7	1.7	6.7	1.7
	500～750万円未満	46	28.3	21.7	19.6	10.9	15.2	8.7	6.5	15.2	4.3
	750～1,000万円未満	23	21.7	30.4	4.3	4.3	8.7	17.4	13.0	8.7	4.3
	1,000～1,500万円未満	15	40.0	20.0	6.7	13.3	13.3	13.3	-	13.3	6.7
	1,500万円以上	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-
	わからない	22	13.6	18.2	22.7	27.3	13.6	22.7	-	4.5	9.1
居住形態別	持ち家（一戸建て）	114	36.8	-	3.5	19.3	19.3	21.1	8.8	14.9	4.4
	持ち家（マンション）	41	9.8	78.0	-	4.9	9.8	9.8	-	7.3	-
	民間賃貸（一戸建て）	5	20.0	-	60.0	-	-	20.0	-	-	-
	民間賃貸（マンション）	49	14.3	36.7	59.2	10.2	4.1	-	8.2	2.0	4.1
	公団・公社（賃貸）	8	12.5	100.0	37.5	-	-	-	-	-	-
	府営・市営（賃貸）	6	16.7	50.0	-	-	33.3	-	-	-	-
	社宅・寮	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
ヒヤリ経験別	ある	50	22.0	20.0	18.0	10.0	14.0	18.0	4.0	16.0	2.0
	ない	179	27.4	27.9	17.3	14.0	14.5	11.2	6.7	8.4	3.4

## 7. 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（問43）

火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験が「ある」は26.6%、「ない」が72.4%となっている。

「ある」は平成21年度調査（37.4%）より減少しているが、平成24年度調査（17.9%）より増加している。

図表 9-13 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（単純回答）



性別にみると、「ある」は男性（24.6%）より女性（28.4%）のほうが3.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は「40歳代」が39.3%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「ある」は「豊津・江坂・南吹田地域」が30.0%で最も高くなっている。

世帯年収別にみると、年収が多くなるほど「ある」の割合は高くなっている。

居住形態別にみると、「ある」は「民間賃貸（一戸建て）」が35.7%で最も高くなっている。

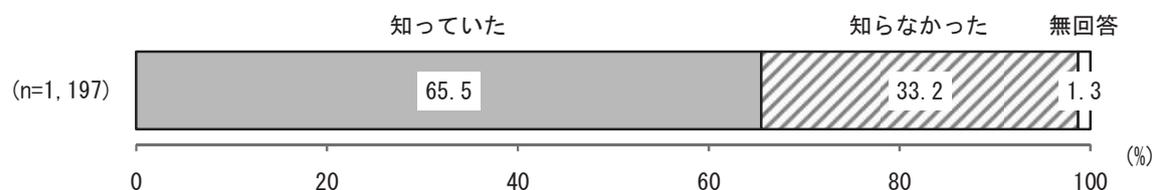
図表9-14 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（性別、年齢別、居住地域別、世帯収入別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

			(%)		
		件数	あ る	な い	無 回 答
全体		1,197	26.6	72.4	0.9
性別	女性	661	28.4	70.8	0.8
	男性	528	24.6	74.6	0.8
年齢別	30歳未満	112	21.4	78.6	-
	30歳代	166	21.1	78.9	-
	40歳代	242	39.3	60.3	0.4
	50歳代	184	26.1	73.9	-
	60歳代	231	26.0	72.7	1.3
	70歳以上	250	22.0	76.0	2.0
居住 地域別	J R以南地域	110	18.2	80.0	1.8
	片山・岸部地域	182	25.8	72.0	2.2
	豊津・江坂・南吹田地域	190	30.0	68.9	1.1
	千里山・佐井寺地域	201	26.4	73.1	0.5
	山田・千里丘地域	272	29.0	71.0	-
	千里NT・万博・阪大地域	231	25.5	73.6	0.9
世帯 年収別	250万円未満	152	20.4	79.6	-
	250～500万円未満	271	26.6	72.3	1.1
	500～750万円未満	234	25.6	74.4	-
	750～1,000万円未満	144	30.6	69.4	-
	1,000～1,500万円未満	115	34.8	65.2	-
	1,500万円以上	32	37.5	62.5	-
	わからない	120	24.2	75.0	0.8
居住 形態別	持ち家（一戸建て）	359	28.4	71.0	0.6
	持ち家（マンション）	429	26.8	73.0	0.2
	民間賃貸（一戸建て）	14	35.7	64.3	-
	民間賃貸（マンション）	225	24.4	75.1	0.4
	公団・公社（賃貸）	57	22.8	75.4	1.8
	府営・市営（賃貸）	62	29.0	69.4	1.6
	社宅・寮	19	26.3	73.7	-
	その他	8	25.0	75.0	-

## 8. 住宅用火災警報器の定期点検の認知度（問44）

住宅用火災警報器の定期点検の認知度については、「知っていた」が65.5%に対し、「知らなかった」が33.2%となっている。

図表 9-15 住宅用火災警報器の定期点検の認知度（単純回答）



年齢別にみると、「知っていた」は「40歳代」が73.1%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「知っていた」は「山田・千里丘地域」と「千里NT・万博・阪大地域」でともに71.0%と高く、「知らなかった」は「JR以南地域」が51.8%で最も高くなっている。

居住形態別にみると、「知っていた」は「持ち家（マンション）」が82.8%で最も高く、「知らなかった」は「民間賃貸（一戸建て）」が57.1%で最も高くなっている。

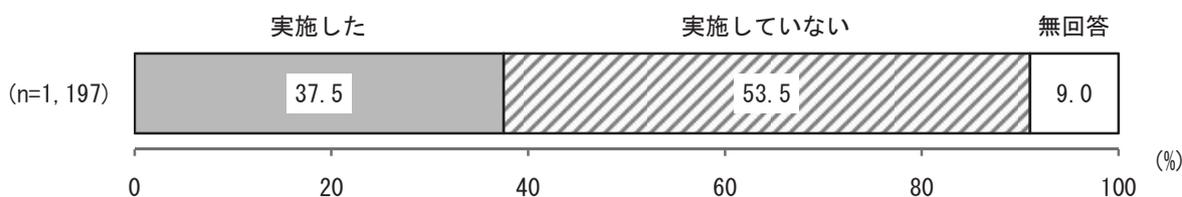
図表 9-16 住宅用火災警報器の定期点検の認知度（性別、年齢別、居住地域別、居住形態別）

		件数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
全体		1,197	65.5	33.2	1.3
性別	女性	661	65.1	34.0	0.9
	男性	528	66.5	32.2	1.3
年齢別	30歳未満	112	63.4	36.6	-
	30歳代	166	65.7	34.3	-
	40歳代	242	73.1	26.4	0.4
	50歳代	184	65.8	33.7	0.5
	60歳代	231	61.9	35.9	2.2
	70歳以上	250	63.2	34.8	2.0
居住地域別	JR以南地域	110	47.3	51.8	0.9
	片山・岸部地域	182	61.5	36.3	2.2
	豊津・江坂・南吹田地域	190	64.2	34.7	1.1
	千里山・佐井寺地域	201	68.2	29.9	2.0
	山田・千里丘地域	272	71.0	28.7	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	231	71.0	27.7	1.3
居住形態別	持ち家（一戸建て）	359	47.1	52.1	0.8
	持ち家（マンション）	429	82.8	16.8	0.5
	民間賃貸（一戸建て）	14	42.9	57.1	-
	民間賃貸（マンション）	225	70.2	29.3	0.4
	公団・公社（賃貸）	57	64.9	31.6	3.5
	府営・市営（賃貸）	62	50.0	46.8	3.2
	社宅・寮	19	63.2	36.8	-
	その他	8	50.0	50.0	-

## 9. 最近半年以内の住宅用火災警報器の作動確認の有無（問45）

最近半年以内の住宅用火災警報器の作動確認について、「実施した」が37.5%に対し、「実施していない」が53.5%となっている。

図表9-17 最近半年以内の住宅用火災警報器の作動確認の有無（単純回答）



年齢別にみると、「実施した」は、「30歳代」「40歳代」が4割台と高くなっている。居住形態別にみると、「実施した」は「持ち家（マンション）」が62.5%で最も高くなっている。

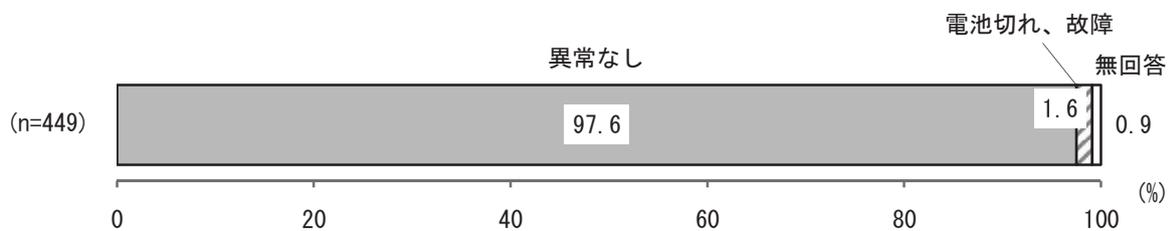
図表9-18 最近半年以内の住宅用火災警報器の作動確認の有無（年齢別、居住地域別、居住形態別、ヒヤリ経験別）

		件数	実施した (%)	実施していない (%)	無回答 (%)
全体		1,197	37.5	53.5	9.0
年齢別	30歳未満	112	34.8	62.5	2.7
	30歳代	166	43.4	52.4	4.2
	40歳代	242	44.2	51.7	4.1
	50歳代	184	35.3	56.0	8.7
	60歳代	231	35.5	51.5	13.0
	70歳以上	250	31.6	52.4	16.0
居住地域別	J R以南地域	110	19.1	66.4	14.5
	片山・岸部地域	182	32.4	54.9	12.6
	豊津・江坂・南吹田地域	190	38.9	51.1	10.0
	千里山・佐井寺地域	201	33.8	57.2	9.0
	山田・千里丘地域	272	43.0	50.0	7.0
	千里NT・万博・阪大地域	231	45.9	48.5	5.6
居住形態別	持ち家（一戸建て）	359	17.8	68.5	13.6
	持ち家（マンション）	429	62.5	32.6	4.9
	民間賃貸（一戸建て）	14	-	100.0	-
	民間賃貸（マンション）	225	33.3	57.8	8.9
	公団・公社（賃貸）	57	31.6	61.4	7.0
	府営・市営（賃貸）	62	12.9	77.4	9.7
	社宅・寮	19	31.6	57.9	10.5
	その他	8	37.5	62.5	-
ヒヤリ経験別	ある	319	41.7	52.7	5.6
	ない	867	36.3	54.3	9.3

## 10. 住宅用火災警報器の作動確認の結果（問45-1）

住宅用火災警報器の作動確認を実施したと回答した人に、その結果をたずねると、「異常なし」が97.6%を占めており、「電池切れ、故障」は1.6%となっている。

図表 9 - 19 住宅用火災警報器の作動確認の結果（単純回答）





## 第10章 ひきこもりについて

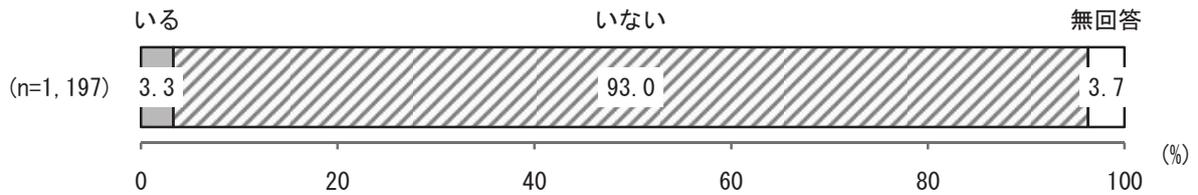


## 第10章 ひきこもりについて

### 1. 家庭内のひきこもりの有無（問46）

家庭内にひきこもりの人がいるかについては、「いない」が93.0%に対し、「いる」が3.3%となっている。

図表10-1 家庭内のひきこもりの有無（単純回答）



居住地域別にみると、「いる」は「片山・岸部地域」が6.6%で最も高くなっている。家族構成別にみると、「いる」は「三世代以上」の世帯が6.5%で最も高くなっている。

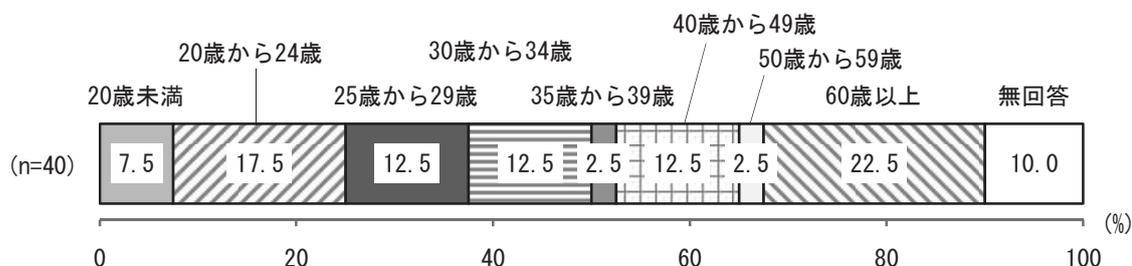
図表10-1 家庭内のひきこもりの有無（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		件数	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全体		1,197	3.3	93.0	3.7
年齢別	30歳未満	112	3.6	94.6	1.8
	30歳代	166	1.8	95.2	3.0
	40歳代	242	2.9	96.7	0.4
	50歳代	184	4.3	94.6	1.1
	60歳代	231	3.0	92.2	4.8
	70歳以上	250	4.0	87.6	8.4
居住地域別	J R以南地域	110	2.7	90.9	6.4
	片山・岸部地域	182	6.6	87.4	6.0
	豊津・江坂・南吹田地域	190	4.2	93.2	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	2.5	95.0	2.5
	山田・千里丘地域	272	1.8	95.6	2.6
	千里NT・万博・阪大地域	231	2.6	93.5	3.9
家族構成別	単身	164	3.7	88.4	7.9
	夫婦	340	1.8	94.1	4.1
	親子	602	3.8	94.7	1.5
	三世代以上	62	6.5	82.3	11.3
	その他	29	3.4	93.1	3.4

## 2. ひきこもっている人の年齢（問46-1）

家庭にひきこもっている人がいると回答した人に、その人の年齢をたずねると、「60歳以上」が最も多く、22.5%である。次いで「20歳から24歳」が17.5%となっている。

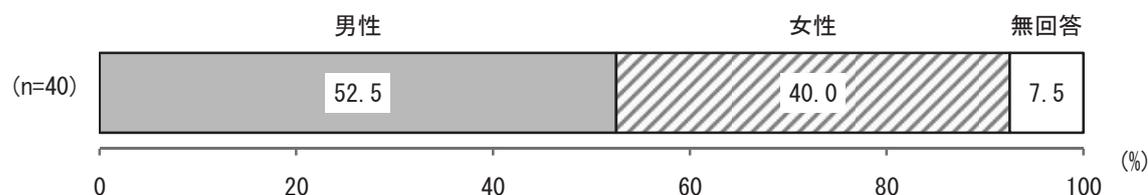
図表10-2 ひきこもっている人の年齢（単純回答）



## 3. ひきこもっている人の性別（問46-2）

ひきこもっている人の性別については、「男性」が52.5%、「女性」が40.0%となっている。

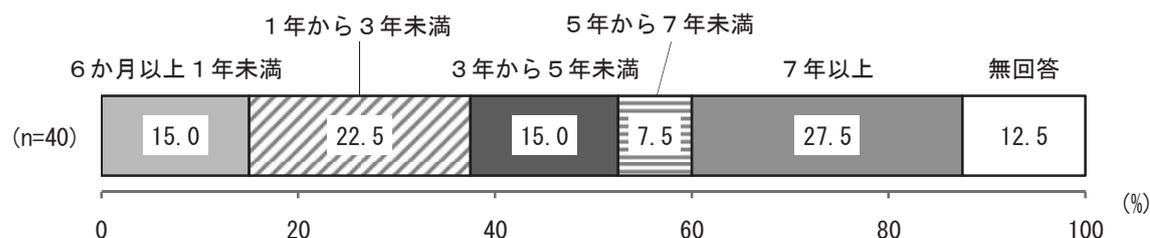
図表10-3 ひきこもっている人の性別（単純回答）



## 4. ひきこもり期間（問46-3）

ひきこもり期間については、「7年以上」が27.5%で最も多く、次いで「1年から3年未満」が22.5%、「6か月以上1年未満」と「3年から5年未満」がともに15.0%となっている。

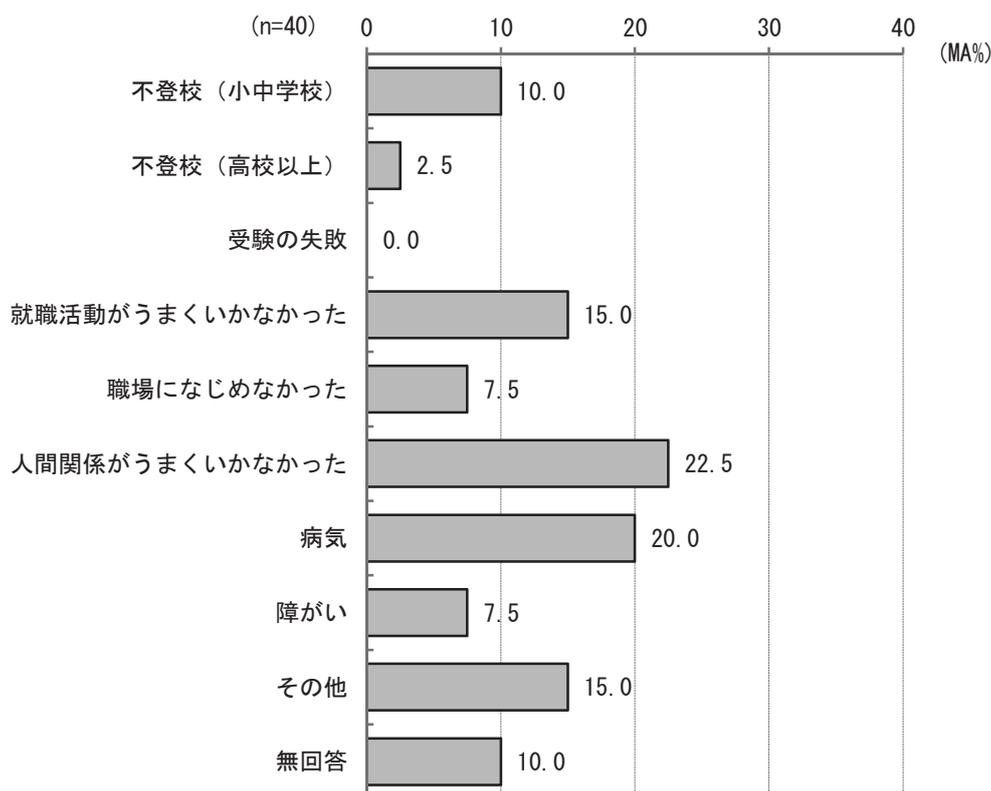
図表10-4 ひきこもり期間（単純回答）



## 5. ひきこもりになったきっかけ（問46-4）

ひきこもりになったきっかけは、「人間関係がうまくいかなかった」が22.5%で最も多く、次いで「病気」が20.0%、「就職活動がうまくいかなかった」が15.0%となっている。

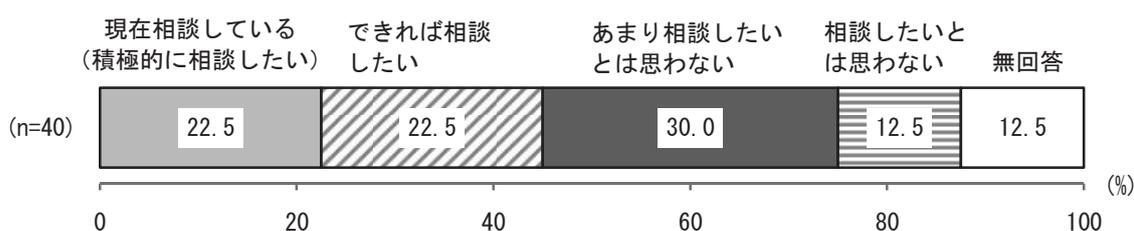
図表10-5 ひきこもりになったきっかけ（単純回答）



## 6. ひきこもり状態について相談する意思の有無（問46-5）

引きこもり状態について相談する意思があるかについては、「あまり相談したいとは思わない」が30.0%で最も多く、次いで「現在相談している（積極的に相談したい）」と「できれば相談したい」がともに22.5%で続いている。

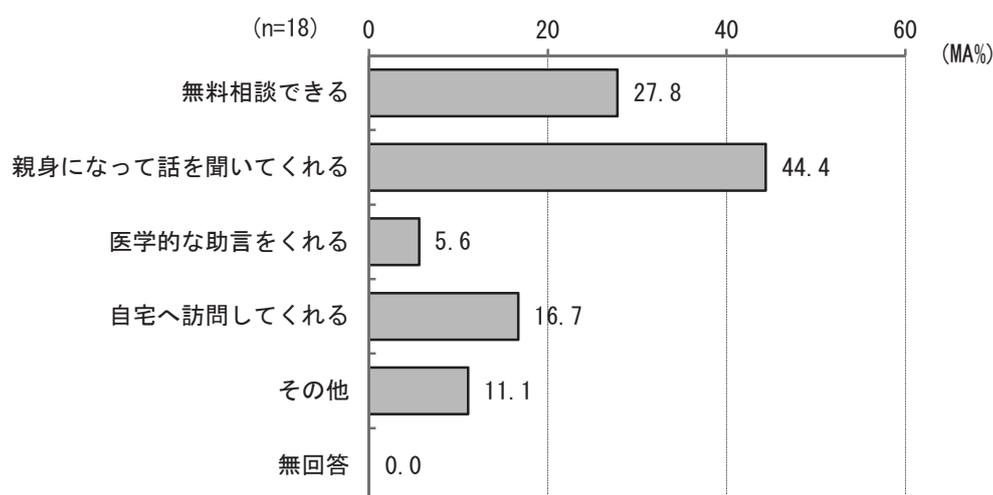
図表10-6 ひきこもり状態について相談する意思の有無（単純回答）



## 7. 相談機関への希望（問46-6）

現在の状態について相談する意思があると回答した人に、相談機関への希望をたずねると、「親身になって話を聞いてくれる」が44.4%で最も多く、次いで「無料相談できる」が27.8%となっている。

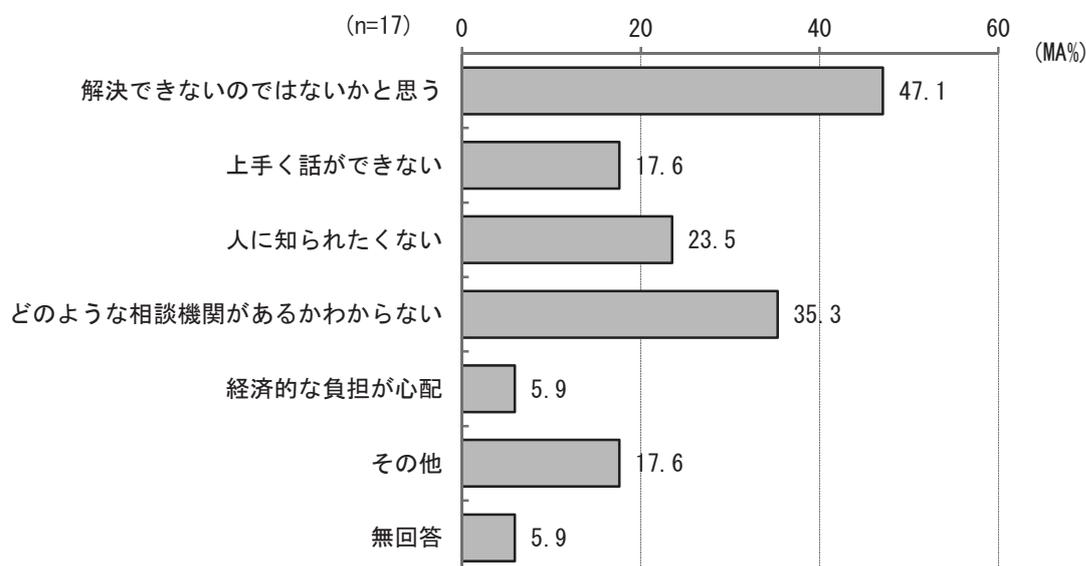
図表10-7 相談機関への希望（単純回答）



## 8. 相談したくない理由（問46-7）

現在の状態について相談したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「解決できないのではないかとと思う」が47.1%で最も多く、次いで「どのような相談機関があるかわからない」が35.3%、「人に知られたくない」が23.5%となっている。

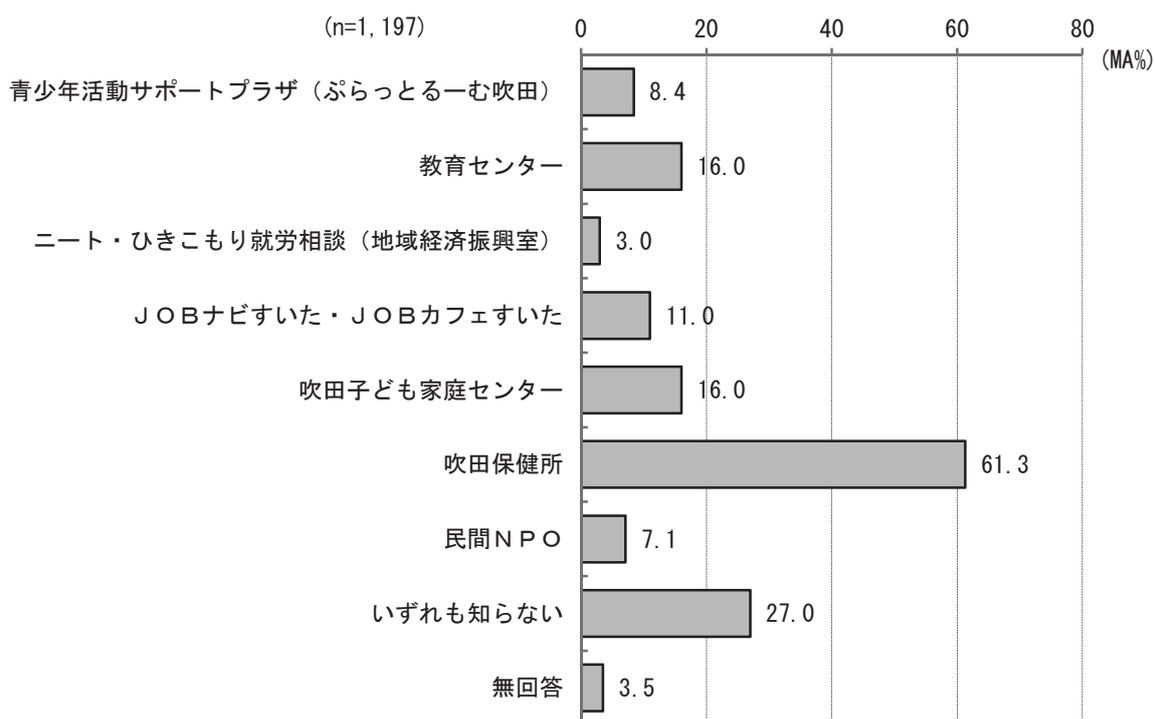
図表10-8 相談したくない理由（単純回答）



## 9. 知っている相談機関（問47）

知っている相談機関については、「吹田保健所」が最も多く、61.3%である。次いで「いずれも知らない」が27.0%、「教育センター」と「吹田子ども家庭センター」がともに16.0%で続いている。

図表10－9 知っている相談機関（単純回答）



性別にみると、「いずれも知らない」は女性（24.2%）より男性（30.5%）のほうが6.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「吹田子ども家庭センター」は「40歳代」が23.6%で最も高く、「吹田保健所」は「60歳代」が69.3%で最も高くなっている。一方、「いずれも知らない」は「30歳未満」が48.2%で最も高くなっている。

居住地域別にみると、「JOBナビすいた・JOBカフェすいた」は「JR以南地域」が20.0%で最も高く、「吹田子ども家庭センター」は「片山・岸部地域」が20.3%で最も高くなっている。

図表10-10 知っている相談機関（性別、年齢別、居住地域別）

		(MA%)									
		件数	青少年活動サポートプラザ （吹田）	教育センター	ニート・ひきこもり就労相談 （経済振興室）	JOBナビすいた・JOB カフェすいた	吹田子ども家庭センター	吹田保健所	民間NPO	いずれも知らない	無回答
全体		1,197	8.4	16.0	3.0	11.0	16.0	61.3	7.1	27.0	3.5
性別	女性	661	9.7	16.3	3.2	13.0	18.2	65.1	7.1	24.2	2.1
	男性	528	7.0	15.7	2.8	8.7	13.4	57.2	7.2	30.5	4.5
年齢別	30歳未満	112	8.9	14.3	2.7	8.0	12.5	33.9	12.5	48.2	0.9
	30歳代	166	9.6	12.7	1.8	16.9	19.3	59.0	3.6	33.1	-
	40歳代	242	7.9	15.7	2.5	17.8	23.6	64.9	8.7	23.6	1.7
	50歳代	184	8.7	17.9	3.8	13.0	18.5	66.3	7.6	21.7	2.2
	60歳代	231	8.2	19.9	3.9	8.2	13.0	69.3	9.1	22.5	3.5
	70歳以上	250	8.4	14.8	3.2	3.2	9.2	62.0	3.6	24.8	8.4
居住地域別	JR以南地域	110	8.2	13.6	1.8	20.0	12.7	61.8	5.5	20.0	7.3
	片山・岸部地域	182	8.8	16.5	2.2	18.7	20.3	64.8	4.4	25.3	2.2
	豊津・江坂・南吹田地域	190	5.3	14.2	3.7	5.8	14.2	57.4	9.5	31.6	2.6
	千里山・佐井寺地域	201	7.0	16.9	5.0	14.9	18.4	65.2	10.4	25.4	2.5
	山田・千里丘地域	272	8.5	16.2	1.8	7.4	14.3	62.9	5.1	27.9	2.2
	千里NT・万博・阪大地域	231	12.6	16.5	3.5	5.6	14.7	57.6	7.4	27.3	5.6

## 資料 調査に対する意見・感想



## 資料 調査に対する意見・感想

今回の調査に対する意見・感想を問56として自由記述形式で求めたところ、191人から回答を得られた。それを分類の上で計上した結果が下記の表である。1人の回答者が複数の回答を記入している場合もあるため、意見・感想の総数は224件となった。

有効回答のうち、調査の実施に対して肯定的な意見・感想が52.2%、否定的な意見・感想が12.5%、その他の意見・感想が35.3%となっている。

表 調査に対する意見・感想

	%	件数		
		大分類	中分類	小分類
全体	100.0	224	224	224
調査の実施に対して肯定的な意見・感想	52.2	117		
役に立つなら良い・参加できて良かった			32	
調査結果が行政に反映されることを期待する				14
調査は必要である				7
市政に関心を持つきっかけになった				6
参加できてよかった				3
その他				2
調査方法・内容			85	
調査内容を検討すべきである				27
質問の意味、意図がわかりにくい				15
調査結果を知りたい、公表すべき				7
回答のしかたがわかりにくい				6
他の調査方法を検討すべきである(WEB等)				6
一部回答できない箇所があった				5
謝礼が必要である				3
対象者数を増やすべきである				2
その他				14
調査の実施に対して否定的な意見・感想	12.5	28		
役に立つのか疑問・調査の目的がわからない・無駄			19	
どのように行政に反映されるのかわからない				11
調査の目的、質問の意図がわからない				5
調査の必要性を感じない、無駄である				3
負担・迷惑			9	
負担が大きい(量が多い)				9
その他	35.3	79	79	
市政に対する意見				72
その他				7

中分類についてみると、「調査方法・内容」についての意見・感想が85件で最も多かった。次いで「役に立つなら良い・参加できて良かった」が32件となっている。

一方、「役に立つのか疑問・調査の目的がわからない・無駄」は19件、「負担・迷惑」が9件であり、調査実施に対して否定的な意見が合計28件である。

なお、「その他」では市政に対する意見（79件）のほか、回答者自身の生活環境に関する不安等についての意見が挙げられている。

# 資料 調査票



平成28年度（2016年度）

## 吹田市市政モニタリング調査

### 《回答ご記入上の注意》

1. 宛名の方ご本人の回答をご記入ください。
2. 調査票や返信用封筒（切手不要）にお名前を書いていただく必要はありません。
3. 回答は回答欄の番号に○印を、また、（            ）内は具体的にお書きください。
4. この調査票は両面印刷になっています。記入漏れのないようご注意ください。
5. 答えにくい質問にはお答えいただかなくても結構です。可能な範囲内で回答していただければ幸いです。
6. 回答のご記入が済みましたら、記入漏れがないかをご確認の上、9月5日（月）までに同封筒にてご投函ください。

### 〈お問い合わせ先〉

吹田市 市民部 市民総務室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号

直通電話 06-6384-1378

F A X 06-6385-8300



吹田市地域一覧表

		地 域 名					千里ニュー タウン・万 博・阪大地域
		J R以南 地域	片山・岸部 地域	豊津・江坂・ 南吹田地域	千里山・佐井寺 地域	山田・千里丘 地域	
町 名	あ	1. 朝日町 2. 内本町	23. 朝日が丘 町	36. 泉町 37. 江坂町 1～4丁目 38. 江の木町	48. 江坂町5丁目	67. 青葉丘北 68. 青葉丘南	86. 青山台
	か	3. 川岸町 4. 川園町 5. 寿町	24. 片山町 25. 上山手町 26. 岸部北 27. 岸部中 28. 岸部南	39. 金田町	49. 春日	69. 檜切山	87. 上山田
	さ	6. 幸町 7. 昭和町 8. 吹東町 9. 末広町 10. 清和園町	29. 芝田町		50. 佐井寺 51. 佐井寺南が丘 52. 五月が丘北 53. 五月が丘西 54. 五月が丘東 55. 五月が丘南 56. 千里山霧が丘 57. 千里山高塚 58. 千里山竹園 59. 千里山月が丘 60. 千里山西 61. 千里山虹が丘 62. 千里山東 63. 千里山星が丘 64. 千里山松が丘	70. 清水 71. 尺谷 72. 新芦屋上 73. 新芦屋下 74. 千里丘上 75. 千里丘北 76. 千里丘下 77. 千里丘中 78. 千里丘西	88. 佐竹台 89. 千里万 博公園
	た	11. 高城町 12. 高浜町	30. 天道町 31. 出口町	40. 垂水町 41. 豊津町	65. 竹谷町		90. 高野台 91. 竹見台 92. 津雲台
	な	13. 中の島町 14. 西御旅町	32. 西の庄町			79. 長野西 80. 長野東	
	は	15. 東御旅町 16. 日の出町 17. 平松町	33. 原町 34. 藤が丘町	42. 広芝町 43. 穂波町			93. 藤白台 94. 古江台
	ま	18. 南正雀 19. 南清和園 町 20. 南高浜町 21. 目俵町 22. 元町		44. 南金田 45. 南吹田 1～2丁目 46. 南吹田 3～5丁目	66. 円山町		95. 桃山台
	や		35. 山手町	47. 芳野町		81. 山田市場 82. 山田北 83. 山田西 84. 山田東 85. 山田南	96. 山田丘

注) 江坂町は1～4丁目と5丁目地域が異なります。南吹田1～2丁目と3～5丁目は別番号です。

最初に、あなたがお住まいの地域についておたずねします。

問1. あなたは、現在どこにお住まいですか。前ページの一覧表を参照し、お住まいの町の番号を次の記入欄に記入してください。なお、南吹田1～2丁目と3～5丁目、江坂町1～4丁目と5丁目は、それぞれ別の番号が割り当てられています。ご注意ください。

お住まいの町の番号	
-----------	--

問2. あなたのお住まいの地域はどこですか。前ページの一覧表を参照し、次の中からお答えください。(1つだけ○印) なお、江坂町1～4丁目と5丁目では地域が異なりますので、ご注意ください。 無回答 0.9%

1. JR以南地域	<u>9.2%</u>	2. 片山・岸部地域	<u>15.2%</u>
3. 豊津・江坂・南吹田地域	<u>15.9%</u>	4. 千里山・佐井寺地域	<u>16.8%</u>
5. 山田・千里丘地域	<u>22.7%</u>	6. 千里ニュータウン・万博・阪大地域	<u>19.3%</u>

問3. あなたのお住まいの小学校区はどこですか。(1つだけ○印) 無回答 8.4%

1. 吹田第一小	<u>2.4%</u>	2. 吹田第二小	<u>2.1%</u>
3. 吹田第三小	<u>3.0%</u>	4. 吹田東小	<u>2.3%</u>
5. 吹田南小	<u>2.8%</u>	6. 吹田第六小	<u>1.3%</u>
7. 千里第一小	<u>3.5%</u>	8. 千里第二小	<u>3.4%</u>
9. 千里第三小	<u>3.6%</u>	10. 千里新田小	<u>2.6%</u>
11. 佐井寺小	<u>1.8%</u>	12. 東佐井寺小 (五月が丘地区)	<u>2.8%</u>
13. 岸部第一小	<u>1.9%</u>	14. 岸部第二小	<u>1.8%</u>
15. 豊津第一小	<u>5.0%</u>	16. 豊津第二小	<u>2.6%</u>
17. 江坂大池小	<u>1.3%</u>	18. 山手小	<u>2.3%</u>
19. 片山小	<u>3.8%</u>	20. 山田第一小	<u>2.0%</u>
21. 山田第二小 (千里丘地区)	<u>2.8%</u>	22. 山田第三小	<u>2.0%</u>
23. 山田第五小	<u>1.3%</u>	24. 東山田小	<u>4.0%</u>
25. 南山田小	<u>3.8%</u>	26. 西山田小	<u>2.7%</u>
27. 北山田小	<u>2.3%</u>	28. 佐竹台小	<u>1.9%</u>
29. 高野台小	<u>1.8%</u>	30. 津雲台小	<u>2.4%</u>
31. 古江台小	<u>2.5%</u>	32. 藤白台小	<u>3.9%</u>
33. 青山台小	<u>2.1%</u>	34. 桃山台小	<u>2.8%</u>
35. 千里たけみ小 (竹見台地区)	<u>2.3%</u>	36. 千里丘北小	<u>0.8%</u>



## I. 地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について

問8. あなたは、地球温暖化についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。

(1つだけ○印) 無回答 0.5%

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1. 知っており、重要な問題だと思う    | 88.7% |
| 2. 知っているが、重要な問題だと思わない | 5.0%  |
| 3. あまりよく知らない          | 5.7%  |
| 4. 全く知らない             | 0.1%  |

問9. あなたは、生物多様性についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。

(1つだけ○印) 無回答 1.1%

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1. 知っており、重要な問題だと思う    | 36.6% |
| 2. 知っているが、重要な問題だと思わない | 5.6%  |
| 3. あまりよく知らない          | 47.6% |
| 4. 全く知らない             | 9.1%  |

問10. あなたは、ご家庭に太陽光パネルを設置する予定はありますか。(1つだけ○印)

無回答 0.4%

- |               |       |          |      |           |      |
|---------------|-------|----------|------|-----------|------|
| 1. すでに設置済みである | 3.3%  | 2. 予定がある | 0.3% | 3. 検討中である | 2.8% |
| 4. 予定はない      | 86.8% | 5. わからない | 6.3% |           |      |

問11. あなたは、ご家庭にエネファームを導入する予定はありますか。(1つだけ○印)

無回答 1.3%

- |               |       |          |       |           |      |
|---------------|-------|----------|-------|-----------|------|
| 1. すでに導入済みである | 2.9%  | 2. 予定がある | 0.1%  | 3. 検討中である | 2.5% |
| 4. 予定はない      | 77.8% | 5. わからない | 15.4% |           |      |

問12. 電力の小売が全面自由化されました。電力の契約先を変更する予定はありますか。(1つだけ○印)

無回答 0.6%

- |               |       |          |       |           |       |
|---------------|-------|----------|-------|-----------|-------|
| 1. すでに変更済みである | 6.6%  | 2. 予定がある | 1.5%  | 3. 検討中である | 14.1% |
| 4. 予定はない      | 58.1% | 5. わからない | 19.0% |           |       |

問13. 電力の契約先を変更する場合、どのような基準で電力会社を選択しますか(選択しましたか)。(1つだけ○印)

無回答 6.8%

- |                |       |              |       |
|----------------|-------|--------------|-------|
| 1. 環境への配慮      | 8.5%  | 2. 料金の安さ     | 44.8% |
| 3. 料金プランの豊富さ   | 12.8% | 4. 電力会社のイメージ | 5.4%  |
| 5. その他(具体的に: ) | 5.3%  |              |       |
| 6. わからない       | 16.5% |              |       |

問14. あなたは、ご家庭の冷蔵庫をいつ購入しましたか。(1つだけ○印) 無回答 0.1%

- |         |       |              |       |          |       |
|---------|-------|--------------|-------|----------|-------|
| 1. 3年未満 | 17.6% | 2. 3年以上10年未満 | 54.6% | 3. 10年以上 | 27.7% |
|---------|-------|--------------|-------|----------|-------|

問15. あなたは、ご家庭のテレビをいつ購入しましたか。(1つだけ○印) 無回答 0.9%

- |         |       |              |       |          |      |
|---------|-------|--------------|-------|----------|------|
| 1. 3年未満 | 16.6% | 2. 3年以上10年未満 | 74.1% | 3. 10年以上 | 8.4% |
|---------|-------|--------------|-------|----------|------|

問16. あなたは、ご家庭でどのような省エネ行動を行っていますか。(いくつでも○印)

**無回答 2.3%**

1. 照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている	<u>64.6%</u>
2. 電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	<u>40.7%</u>
3. 冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	<u>41.4%</u>
4. エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	<u>72.2%</u>
5. カーテンやすだれを活用している	<u>54.5%</u>
6. 家族で間隔を空けずに入浴するようにしている	<u>21.2%</u>
7. シャワーには止水ボタン付きの節水ヘッドをつけている	<u>13.7%</u>
8. その他(具体的に: )	<u>4.0%</u>

問17. あなたはエコドライブをご存知ですか。また、実践していますか。(1つだけ○印)

**無回答 4.9%**

1. 知っており、実践している	<u>30.3%</u>
2. 知っているが、実践していない	<u>27.8%</u>
3. 知らない	<u>36.9%</u>

## II. 大型複雑ごみの電話申込み制による収集、及び雑紙の分別について

問18. 大型複雑ごみ等の粗大ごみの電話申込み制による収集について、どのようにお考えですか。(1つだけ○印) **無回答 1.8%**

1. 賛成である	<u>20.0%</u>
2. 収集の効率化やごみの減量のためにはやむをえない	<u>43.4%</u>
3. どちらかというところと反対である	<u>14.6%</u>
4. 反対である(理由を具体的にお書きください) ( )	<u>3.6%</u>
5. わからない	<u>16.6%</u>

問19. 台所や部屋のごみ箱からでるごみ(燃焼ごみ)の中に、資源化できる紙類が約30パーセントも混ざっています。次にあげるものを資源ごみとして分別していますか。(それぞれ1つずつ○印)

	無回答	分別している	気が付いたら分別している	燃焼ごみに混ぜて廃棄している	わからない
①ティッシュペーパーの箱	<u>2.1%</u>	<u>32.2%</u>	<u>9.8%</u>	<u>54.6%</u>	<u>1.4%</u>
②ダイレクトメール	<u>4.2%</u>	<u>30.6%</u>	<u>9.0%</u>	<u>52.3%</u>	<u>3.9%</u>
③お菓子や菓の外箱	<u>2.3%</u>	<u>30.5%</u>	<u>9.4%</u>	<u>56.1%</u>	<u>1.8%</u>
④紙袋	<u>2.6%</u>	<u>38.6%</u>	<u>11.3%</u>	<u>44.9%</u>	<u>2.7%</u>
⑤1cm四方以上の紙切れ	<u>2.8%</u>	<u>11.2%</u>	<u>9.5%</u>	<u>73.9%</u>	<u>2.7%</u>

### Ⅲ. 窓口等での手続きの効率化について

問20. パソコンやスマートフォンなどを使って、インターネットでできるとよいと思う手続きは何ですか。(最も望むもの1つだけに○印) 無回答 3.6%

1. 市が開催する講座やイベント等の申込・予約	<u>24.1%</u>
2. 施設の利用申込・予約	<u>26.6%</u>
3. 税や保険料のクレジット収納	<u>16.3%</u>
4. その他(具体的に: )	<u>5.9%</u>
5. わからない	<u>29.9%</u>

問21. マイナンバーカードでできるとよいと思う手続きは何ですか。(最も望むもの1つだけに○印) 無回答 4.9%

1. コンビニエンスストア等で住民票や税証明の発行	<u>28.6%</u>
2. インターネットによる各種行政手続き(個人を証明する必要があるもの)	<u>19.0%</u>
3. 印鑑登録証や図書館カードとしての多目的利用	<u>12.4%</u>
4. わからない	<u>37.8%</u>

問21-1. 問21の選択肢以外でできると良いと思う手続きがあれば記載してください。

問22. 市民個人ごとにその人にあつた情報が個別に提供されるなら(プッシュ型と呼ばれる情報提供形態のこと)、どのような情報がほしいですか。(最も望むもの2つに○印)  
無回答 5.6%

1. 給付金等の支給対象・特別控除等の対象であることの通知	<u>55.2%</u>
2. 世帯構成や年齢・性別に合った市が開催するイベント等の案内	<u>14.8%</u>
3. 予防接種など、世代別等で国や自治体が義務付けていることの通知	<u>41.9%</u>
4. 税金や保険料の支払いに関する通知	<u>32.8%</u>
5. わからない	<u>11.7%</u>

問22-1. 問22の選択肢以外にほしいと思う情報があれば記載してください。

#### IV. ITの利用状況について

問23. あなたがインターネットにあるサービスで今後さらなる充実を望むものはどれですか。  
(最も望むもの2つに○印) 無回答 4.1%

1. SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE等による連絡・コミュニケーション手段)	9.1%
2. 情報発信 (ブログやWebサイト運営等による情報提供手段)	6.1%
3. 情報収集	24.5%
4. 電子メール	2.8%
5. 予約や申請等の手続き	30.7%
6. エンターテインメント (音楽・動画など)	7.2%
7. ショッピング (出品含む)	8.2%
8. ネットバンキング	3.5%
9. 高齢者向け見守りサービス	22.0%
10. 子ども向け見守りサービス	14.8%
11. その他 (具体的に: )	2.2%
12. 特にない	17.5%
13. わからない	9.5%

#### V. 市の情報化を優先すべき分野について

問24. 市の情報化を進めていくにあたり、市役所業務のどの分野を優先して進めるべきだと思いますか。(優先すべきと思う2つに○印) 無回答 1.7%

1. 市民生活分野 (窓口サービス、地域活動、情報共有、防犯など)	35.5%
2. 健康・医療分野 (健康、医療、保険、介護など)	54.1%
3. 福祉・子育て分野 (生活福祉、障がい者支援、子育て支援など)	32.6%
4. 教育分野 (学校教育、生涯学習、ITモラルなど)	12.4%
5. 防災・消防分野 (防災、消防など)	20.7%
6. ライフライン分野 (上水道、下水道など)	5.8%
7. 環境分野 (環境保全など)	4.8%
8. 都市計画・建設分野 (都市計画、道路、施設管理など)	7.8%
9. 産業観光分野 (産業・観光振興、まちおこし、就労支援など)	6.1%
10. その他の分野 (広報、総務など内部管理関係)	1.0%
11. わからない	5.9%

## VI. 文化・芸術活動について

問25. あなたが、特に関心のある芸術・文化の分野はどれですか。(2つまで○印)

**無回答 1.7%**

1. 音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、オペラなど）	<u>50.2%</u>
2. ダンス（バレエ、舞踊など）	<u>4.8%</u>
3. 伝統芸能（能、狂言、歌舞伎、文楽、民謡・詩吟・俳句・短歌など）	<u>9.9%</u>
4. 映画（邦画、洋画、アニメなど）	<u>48.4%</u>
5. 美術（絵画、彫刻、陶芸、書など）	<u>29.1%</u>
6. その他（具体的に： )	<u>3.6%</u>
7. 関心がない	<u>12.9%</u>

問26. あなたは、問25であげた芸術・文化への関心を満たすことができますか。

(1つだけ○印) **無回答 4.7%**

1. 満たされている	<u>7.0%</u>	2. ある程度満たされている	<u>42.2%</u>
3. あまり満たされていない	<u>24.4%</u>	4. 満たされていない	<u>10.1%</u>
5. わからない、関心がない	<u>11.6%</u>		

問27. 芸術・文化への関心を満たすうえで、最も問題となるのはどのようなことですか。(1

つだけ○印) **無回答 2.9%**

1. 時間的余裕がない	<u>32.1%</u>
2. 経済的余裕がない	<u>22.6%</u>
3. 文化施設が交通面で利用しにくい	<u>9.3%</u>
4. 文化施設が設備面で利用しにくい	<u>1.1%</u>
5. イベントスケジュール、チケット販売の情報が無い、どこで入手できるのかわからない	<u>8.9%</u>
6. 施設の利用方法がわからない	<u>2.3%</u>
7. 鑑賞、参加したい公演、催し等がない	<u>10.8%</u>
8. 興味がわからない	<u>5.3%</u>
9. 特になし	<u>11.6%</u>

問28. あなたが、「吹田の文化」としてイメージするものは何ですか。(いくつでも○印)

**無回答 1.8%**

1. 吹田くわい	<u>14.2%</u>	2. 市立博物館	<u>6.0%</u>
3. 吹田まつり	<u>23.7%</u>	4. 神社仏閣	<u>3.0%</u>
5. 吹田産業フェア	<u>9.4%</u>	6. 大学、研究機関	<u>17.7%</u>
7. 大阪万博（万博公園、太陽の塔）	<u>82.4%</u>	8. ガンバ大阪	<u>32.2%</u>
9. 庄屋屋敷（浜屋敷、旧西尾家住宅、旧中西家住宅など）	<u>8.2%</u>		
10. 文化会館（メイシアター）	<u>21.2%</u>		
11. アサヒビール吹田工場	<u>33.5%</u>		
12. 千里ニュータウン	<u>26.8%</u>		
13. その他（具体的に： )	<u>1.4%</u>		



問32-2. 問32で「3. 過去に利用したことがある。かつて利用していた」を選択した方にお聞きします。現在使っていない理由は何ですか。(いくつでも○印) **無回答 2.3%**

1. 生活圏がなく、通うのに不便である	<u>22.9%</u>
2. 利用したい資料がなかった	<u>21.9%</u>
3. バリアフリー等使い勝手が悪かった	<u>0.8%</u>
4. 希望するサービスがなかった	<u>4.9%</u>
5. その他(具体的に: )	<u>40.6%</u>
6. わからない	<u>12.2%</u>

〔すべての方にお聞きします〕

問33. 図書館への要望がありますか。(いくつでも○印) **無回答 3.8%**

1. 所蔵資料について	<u>22.5%</u>
2. 施設や設備について	<u>13.2%</u>
3. 開館時間やサービス内容	<u>20.2%</u>
4. 行事やお知らせについて	<u>6.3%</u>
5. 窓口対応について	<u>3.1%</u>
6. コンピュータシステムについて	<u>8.9%</u>
7. その他(具体的に: )	<u>6.2%</u>
8. 特になし	<u>45.4%</u>

## VIII. 市民自治について

問34. 吹田市では、市民との協働を進めています。「協働」とは、市民及び市が、共通の目的を実現するため、それぞれの役割と責任を自覚しながら、お互いの立場を尊重し、協力することをいいます。この「協働」という言葉について、あなたをご存知でしたか。(1つだけ○印) **無回答 1.3%**

1. 「協働」という言葉の内容を知っている	<u>14.9%</u>
2. 「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている	<u>22.5%</u>
3. 「協働」という言葉を知らない	<u>61.3%</u>

問35. 吹田市は平成19年1月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。(1つだけ○印) **無回答 1.3%**

1. 条例の内容を知っている	<u>1.8%</u>
2. 条例の内容までは知らないが、名前は知っている	<u>16.0%</u>
3. 条例の内容も名前も知らない	<u>80.9%</u>

問36. 多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思いませんか。(2つまで○印) **無回答 2.7%**

1. 公募していることを知らないから	<u>57.5%</u>
2. 何をするとところかがわからないから	<u>35.5%</u>
3. 参加できる時間帯ではないから	<u>10.7%</u>
4. 仕事などで参加する余裕がないから	<u>31.2%</u>
5. 興味がないから	<u>20.8%</u>
6. その他(具体的に: )	<u>2.8%</u>

問37. あなたは、自治会に加入していますか。(1つだけ○印) **無回答 1.4%**

※市民体育祭や地域の防災訓練に参加しているような自治会活動を行っている管理組合を含みます。

1. 加入している	<u>59.3%</u>
2. 加入していない【→問37-3へ】	<u>32.7%</u>
3. わからない【→問38へ】	<u>6.5%</u>

▶ 問37-1. 問37で自治会に「1. 加入している」を選択した方にお聞きします。あなたは、自治会の活動に満足していますか。(1つだけ○印) **無回答 0.8%**

1. 満足している	<u>12.3%</u>
2. どちらかといえば満足している	<u>45.4%</u>
3. どちらかといえば不満である	<u>10.4%</u>
4. 不満である	<u>3.5%</u>
5. わからない・なんとも言えない	<u>0.8%</u>

▶ 問37-2. 問37-1で自治会の活動に対し、「3. どちらかといえば不満である」、「4. 不満である」を選択した方にお聞きします。お差し支えなければ、その理由をご記入ください。(自由記述)

問37-3. 問37で自治会に「2. 加入していない」を選択した方にお聞きします。自治会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも○印) 無回答 2.8%

1. 近所付き合いをしたくない	<u>7.4%</u>
2. 自治会費などが高い	<u>4.8%</u>
3. 役員を引き受けたくない	<u>24.7%</u>
4. 加入の仕方がわからない(きっかけがない)	<u>19.4%</u>
5. 加入するメリットがない	<u>24.5%</u>
6. 仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	<u>29.1%</u>
7. 自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	<u>18.9%</u>
8. その他(具体的に: )	<u>19.6%</u>

[すべての方にお聞きします]

問38. あなたは、自治会の必要性を感じていますか。(1つだけ○印) 無回答 3.4%

1. 必要である	<u>25.3%</u>	2. どちらかといえば必要である	<u>39.4%</u>
3. どちらかといえば必要ではない	<u>10.5%</u>	4. 必要ではない	<u>4.3%</u>
5. わからない	<u>17.0%</u>		

問38-1. 問38で自治会が「1. 必要である」「2. どちらかといえば必要である」を選択した方にお聞きします。あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だと思うものを教えてください。(1つだけ○印)  
無回答 1.2%

1. 住民同士の親睦の場を提供してくれるから	<u>25.9%</u>
2. 住民同士の助け合いを促進してくれるから	<u>19.5%</u>
3. 近隣トラブルの解決を図ってくれるから	<u>2.1%</u>
4. 地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献しているから	<u>13.3%</u>
5. 地域の防災機能を担っているから	<u>15.0%</u>
6. 地域の防犯機能を担っているから	<u>6.5%</u>
7. 都市景観・まちなみなど地域の景観を良好に維持するための機能を担っているから	<u>2.1%</u>
8. 地域課題を解決するための話し合いの場となるから	<u>9.9%</u>
9. 地域情報が入手できるから	<u>8.0%</u>
10. その他(具体的に: )	<u>1.8%</u>
11. 特になし	<u>1.5%</u>

【すべての方にお聞きします】

問39. あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。（「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ○印）

	満足度					重要度						
	無回答	満足している	どちらかといえば満足している	普通	ある	不満である	無回答	重要である	ある	どちらかといえば重要である	今の程度で良い	どちらかといえば重要ではない
① 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働	10.4%	1.9%	7.4%	67.6%	8.9%	3.8%	14.8%	19.1%	27.2%	36.1%	2.1%	0.7%
② 市からの情報提供・公表	10.1%	3.9%	14.4%	58.6%	10.2%	2.8%	14.1%	27.0%	24.4%	33.2%	0.7%	0.6%
③ 市民参画の推進	12.3%	1.6%	6.1%	69.1%	8.7%	2.3%	16.0%	12.2%	21.8%	47.5%	2.0%	0.6%

Ⅸ. 住宅用火災警報器設置状況について

問40. あなたは、住宅用火災警報器について次のことをご存知でしたか。（1つだけ○印）

	無回答	知っていた	知らなかった
① 新築住宅には住宅用火災警報器を設置しなければならないこと	3.5%	81.8%	14.7%
② 昔に建てられた住宅にも住宅用火災警報器を設置しなければならなかったこと	3.8%	70.8%	25.4%

問41. あなたは、住宅用火災警報器の設置義務について、どのような情報源から知り得ましたか。（いくつでも○印） 無回答 3.8%

1. 市報すいた	26.4%		
2. テレビ（J：COM以外）・ラジオ番組	22.7%		
3. 新聞	20.0%	4. 自治会の回覧板	17.3%
5. 消防署からの防火訪問、パンフレット	11.8%	6. 公共施設の掲示板	4.6%
7. J：COM	1.5%		
8. 吹田市（消防）のホームページ	1.8%	9. その他（具体的に： ）	18.0%
10. 知らなかった	10.5%		

問42. 住宅用火災警報器の設置状況についてお聞かせください。(1つだけ○印) **無回答 2.1%**

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. 設置している          | <u>78.7%</u> |
| 2. 設置していない【→問42-3】 | <u>19.2%</u> |

▶ 問42-1. 問42で「1. 設置している」を選択した方にお聞きします。住宅用火災警報器の設置場所はどこですか。(いくつでも○印) **無回答 15.7%**

- |               |              |       |              |       |              |
|---------------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|
| 1. 台所         | <u>67.7%</u> | 2. 寝室 | <u>48.1%</u> | 3. 階段 | <u>12.1%</u> |
| 4. その他 (具体的に: |              | )     |              |       | <u>12.1%</u> |

▶ 問42-2. 問42で「1. 設置している」を選択した方にお聞きします。住宅用火災警報器を、どこで購入しましたか。(いくつでも○印) **無回答 5.6%**

- |               |              |             |              |
|---------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. 警備会社       | <u>6.2%</u>  | 2. 電気店      | <u>8.3%</u>  |
| 3. ガス事業者      | <u>23.2%</u> | 4. ホームセンター  | <u>6.2%</u>  |
| 5. 自治会で共同購入   | <u>13.7%</u> | 6. インターネット等 | <u>0.4%</u>  |
| 7. その他 (具体的に: |              | )           | <u>40.7%</u> |

問42-3. 問42で「2. 設置していない」を選択した方にお聞きします。住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(いくつでも○印) **無回答 3.0%**

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 設置義務化を知らなかった              | <u>26.1%</u>   |
| 2. 集合住宅で自動火災報知設備が設置されているから   | <u>26.5%</u>   |
| 3. 自分の持家でないから                | <u>17.4%</u>   |
| 4. 住宅用火災警報器の価格が高いから          | <u>13.0%</u>   |
| 5. 住宅用火災警報器がどこで購入できるかわからないから | <u>14.3%</u>   |
| 6. どの部屋に設置するかわからないから         | <u>12.6%</u>   |
| 7. 火事になることはないと思うから           | <u>6.1%</u>    |
| 8. その他 (具体的に:                | ) <u>10.0%</u> |

**【すべての方にお聞きします】**

問43. あなたは、火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験がありますか。

(1つだけ○印) **無回答 0.9%**

- |       |              |       |              |
|-------|--------------|-------|--------------|
| 1. ある | <u>26.6%</u> | 2. ない | <u>72.4%</u> |
|-------|--------------|-------|--------------|

問44. あなたは、住宅用火災警報器には定期的に点検が必要なことをご存知でしたか。

(1つだけ○印) **無回答 1.3%**

- |          |              |           |              |
|----------|--------------|-----------|--------------|
| 1. 知っていた | <u>65.5%</u> | 2. 知らなかった | <u>33.2%</u> |
|----------|--------------|-----------|--------------|

問45. 最近半年以内に、住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。(1つだけ○印)

無回答 9.0%

1. 実施した 37.5%                      2. 実施していない【→問46へ】 53.5%

→ 問45-1. 問45で「実施した」を選択された方にお聞きします。作動確認の結果は、どうでしたか。(1つだけ○印) 無回答 0.9%

1. 異常なし 97.6%                      2. 電池切れ、故障 1.6%

## X. ひきこもりについて

【すべての方にお聞きします】

問46. あなたの家族に「ひきこもり」(過去6ヶ月の間、外出していても家族以外の人とのコミュニケーションがほとんどない状態)の方がいますか。(1つだけ○印) 無回答 3.7%

1. いる 3.3%                              2. いない【→問47へ】 93.0%

↓  
【問46で「1. いる」と答えた方のみ、以下問46-1から問46-7の設問に答えて下さい。】

問46-1. その方は何歳ですか。(1つだけ○印) 無回答 10.0%

1. 20歳未満	<u>7.5%</u>	2. 20歳から24歳	<u>17.5%</u>
3. 25歳から29歳	<u>12.5%</u>	4. 30歳から34歳	<u>12.5%</u>
5. 35歳から39歳	<u>2.5%</u>	6. 40歳から49歳	<u>12.5%</u>
7. 50歳から59歳	<u>2.5%</u>	8. 60歳以上	<u>22.5%</u>

問46-2. その方の性別はどちらですか。(1つだけ○印) 無回答 7.5%

1. 男性 52.5%                              2. 女性 40.0%

問46-3. 現在の状態になってからどのくらいの期間を経過していますか。(1つだけ○印) 無回答 12.5%

1. 6か月以上1年未満	<u>15.0%</u>	2. 1年から3年未満	<u>22.5%</u>
3. 3年から5年未満	<u>15.0%</u>	4. 5年から7年未満	<u>7.5%</u>
5. 7年以上	<u>27.5%</u>		

問46-4. どのようなきっかけで現在の状態になりましたか。(主なもの1つに○印)

**無回答 10.0%**

1. 不登校 (小中学校)	<u>10.0%</u>
2. 不登校 (高校以上)	<u>2.5%</u>
3. 受験の失敗	<u>0.0%</u>
4. 就職活動がうまくいかなかった	<u>15.0%</u>
5. 職場になじめなかった	<u>7.5%</u>
6. 人間関係がうまくいかなかった	<u>22.5%</u>
7. 病気	<u>20.0%</u>
8. 障がい	<u>7.5%</u>
9. その他 (具体的に: )	<u>15.0%</u>

問46-5. 現在の状態について相談する意思がありますか。(1つだけ○印) **無回答 12.5%**

1. 現在相談している (積極的に相談したい) [→問46-6へ]	<u>22.5%</u>
2. できれば相談したい [→問46-6へ]	<u>22.5%</u>
3. あまり相談したいとは思わない [→問46-7へ]	<u>30.0%</u>
4. 相談したいとは思わない [→問46-7へ]	<u>12.5%</u>

問46-6. 問46-5で「1. 現在相談している (積極的に相談したい)」または「2. できれば相談したい」を選択した方にお聞きします。相談機関への希望はありますか。(1つだけ○印) **無回答 0.0%**

1. 無料相談できる	<u>27.8%</u>	2. 親身になって話を聞いてくれる	<u>44.4%</u>
3. 医学的な助言をくれる	<u>5.6%</u>	4. 自宅へ訪問してくれる	<u>16.7%</u>
5. その他 (具体的に: )			<u>11.1%</u>

問46-7. 問46-5で「3. あまり相談したいとは思わない」または「4. 相談したいとは思わない」を選択した方にお聞きします。相談したくない理由は何ですか。

(いくつでも○印) **無回答 5.9%**

1. 解決できないのではないかと思います	<u>47.1%</u>
2. 上手く話ができない	<u>17.6%</u>
3. 人に知られたくない	<u>23.5%</u>
4. どのような相談機関があるかわからない	<u>35.3%</u>
5. 経済的な負担が心配	<u>5.9%</u>
6. その他 (具体的に: )	<u>17.6%</u>



問52. あなたは、今、誰とお住まいですか。該当欄に、同居している方的人数をご記入ください。(あなたから見た続柄でお答えください) 配偶者については、有・無のいずれか1つだけに○印をつけてください。 **無回答 7.9%**

続柄	配偶者	祖父	祖母	父	母	兄弟	弟妹	子ども	孫	その他
人数	有 <u>68.8%</u> 無 <u>23.2%</u> <u>79.8%</u>	<u>0.4%</u>	<u>1.2%</u>	<u>9.7%</u>	<u>14.7%</u>	<u>3.9%</u>	<u>3.9%</u>	<u>51.1%</u>	<u>3.0%</u>	<u>3.5%</u>

問53. 現在、あなたと同居しているご家族は、あなたを除いて何人ですか。該当欄に数字をご記入ください。(中学生については、15歳であっても中学生欄に記入願います) **無回答 2.5%**

年齢	3歳未満	就学前	3歳以上小学生	中学生	15歳	19歳	25歳	35歳	45歳	55歳	65歳	75歳	85歳以上
	人数	<u>8.9%</u>	<u>9.7%</u>	<u>13.6%</u>	<u>7.6%</u>	<u>10.2%</u>	<u>11.8%</u>	<u>15.9%</u>	<u>25.8%</u>	<u>22.1%</u>	<u>18.2%</u>	<u>21.2%</u>	<u>11.8%</u>

問54. あなたご自身とあなたの世帯全員の年間収入の合計はどれくらいですか。それぞれについてボーナスなども含めた額をお答えください。下宿などで家計支持者と別居している方は、家計支持世帯の年間収入についてお答えください。(1つだけ○印)

【あなたご自身】 **無回答 3.9%**

1. 無収入	<u>15.5%</u>	2. 103万円未満	<u>18.0%</u>	3. 103～250万円未満	<u>20.4%</u>
4. 250～500万円未満	<u>19.8%</u>	5. 500～750万円未満	<u>11.6%</u>	6. 750～1,000万円未満	<u>4.1%</u>
7. 1,000万円以上	<u>4.0%</u>	8. わからない	<u>2.6%</u>		

【あなたの世帯全員】 **無回答 10.8%**

1. 250万円未満	<u>12.7%</u>	2. 250～500万円未満	<u>22.6%</u>	3. 500～750万円未満	<u>19.5%</u>
4. 750～1,000万円未満	<u>12.0%</u>	5. 1,000～1,500万円未満	<u>9.6%</u>	6. 1,500万円以上	<u>2.7%</u>
7. わからない	<u>10.0%</u>				

問55. あなたが今、主として住んでいる住宅の種類は何ですか。(1つだけ○印) **無回答 2.0%**

1. 持ち家 (一戸建て、タウンハウス)	<u>30.0%</u>	2. 持ち家 (マンション)	<u>35.8%</u>
3. 民間賃貸 (一戸建て)	<u>1.2%</u>	4. 民間賃貸 (マンション、アパート、文化住宅)	<u>18.8%</u>
5. 公団・公社 (賃貸)	<u>4.8%</u>	6. 府営・市営 (賃貸)	<u>5.2%</u>
7. 社宅・寮	<u>1.6%</u>		
8. その他 (具体的に: )	<u>0.7%</u>		

問56. 最後に、この調査に対してご意見・ご感想等ございましたらご記入ください。(自由記述)

以上で終わりです。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。お手数ですが、記入漏れがないかご確認の上、返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。

平成28年度（2016年度）  
吹田市市政モニタリング調査報告書

平成29年（2017年）3月

発行：吹田市 市民部 市民総務室

所在地：〒564-8550

大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL：06-6384-1378（直通）

FAX：06-6385-8300

